Owner's Guide

設置・接続編

別冊の操作・困ったときは編もご覧ください。

QUALIA 005

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この「Owner's Guide」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この「Owner's Guide」と別冊の「操作・
困ったときは編」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次　設置・接続編

別冊「操作・困ったときは編」の目次

⚠警告 安全のために

ご使用の前に、この取扱説明書「設置・接続編」と「操作・困ったときは編」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

テレビは正しく使用すれば、事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、内部には電圧の高い部分があるので、間違った使いかたをすると、火災などにより死亡など人身事故になることがあり、危険です。事故を防ぐために次の事を必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この冊子の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

お買い上げ時とその後1年に1度は「安全点検チェックリスト」に従って点検してください。
1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。（有料）
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。
また、本機の通風孔付近にほこりが付着するときがありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーサービス窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たり、こげくさいにおいがしたら**
- **テレビを見ているときや、スタンバイ状態**(画面が消えていて、メディアレシーバーのスタンバイ/オフタイマーランプ、ディスプレイの⏻POWER ON/STANDBYランプが赤く点灯中)**のときに、テレビ内部から異常な音がしたら**
- **内部に水などが入ったら**
- **内部に異物が入ったら**
- **テレビを落としたり、キャビネットを破損したりしたときは**

❶電源を切る
❷電源プラグをコンセントから抜く
❸お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告
この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意
この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災
感電
注意

行為を禁止する記号

禁止
分解禁止
ぬれ手禁止
風呂・シャワー室での使用禁止
接触禁止

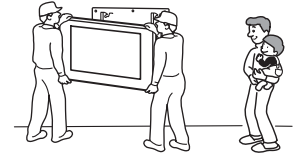
行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く
指示
アース線を接続せよ

下記の注意を守らないと**火災・感電・破裂**により**死亡**や**大けが**などの人身事故が生じます。

設置と移動

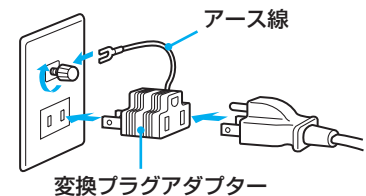
壁に取り付ける場合は、必ず専用のスタンドや壁掛けユニットを使用し、専門の業者に取り付けてもらうまた、設置の時は設置関係者以外近づかない

専門業者以外の人が壁掛けユニットを使用して設置すると、壁への取り付けがもろい場合に、本機が落下し、打撲や骨折など大けがの原因となることがあります。

本機を医療機関に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。

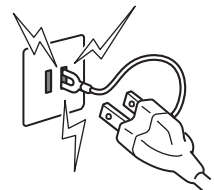
電源

アース線を必ず設置する（変換プラグアダプターを使用する場合のみ）

壁のコンセントが2芯専用の場合は、必ずアース工事を行ってから、付属の変換プラグアダプターを使用しアースへ接続してください。
感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者にご依頼ください。

アース線をつなぐ順番を必ず守る

アース線をつなぐときは、必ず電源コードをコンセントにつなぐ前に行ってください。
また、アース線をはずすときは、必ず電源コードをコンセントからはずしたあとに行ってください。

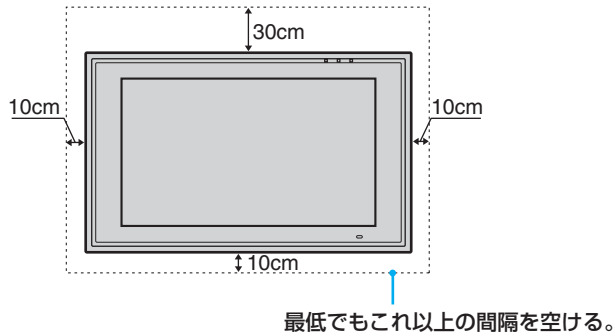
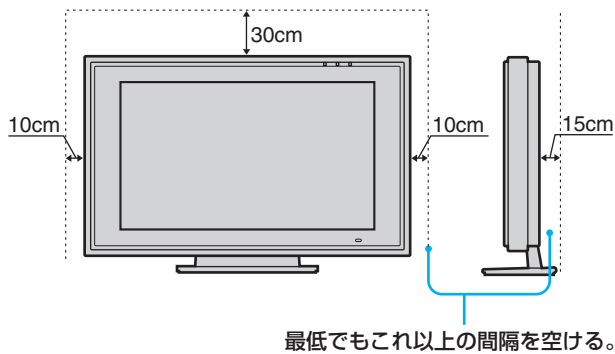
アース線の金具部分を電源コンセントにさし込まない（変換プラグアダプターを使用する場合のみ）

火災や感電の原因となることがあります。

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

設置と移動

周囲に間隔を空ける

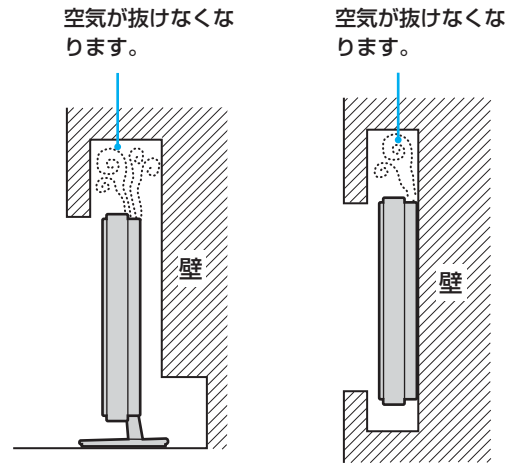
周囲に間隔を空けないで設置すると、通風孔から空気が抜けなくなり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。

壁に取り付けるとき

スタンドを使用するとき

下図のような設置はおやめください。

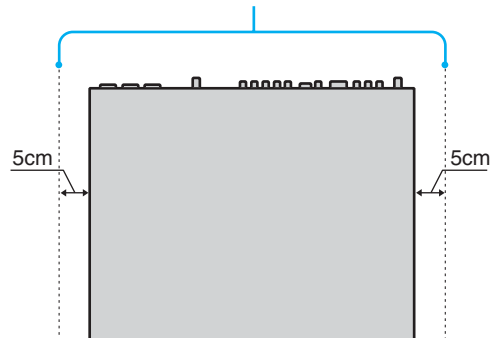
メディアレシーバー（前から見た図）

左右側面には冷却用ファンがあります。充分空気が抜けるように、正しくご使用ください。

縦置きにした場合

縦置きにした場合、上部と下部に冷却用ファンがあります。
充分空気が抜けるように、正しくご使用ください。

メディアレシーバー（上から見た図）

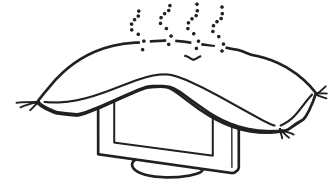
メディアレシーバー全体を密閉しないでください。密閉すると熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。特に前面、後面は開放状態にしてください。

⚠警告

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。また、空気の対流が悪くなると、壁などにホコリが付着し、汚れることがあります。風通しをよくするために、壁には埋めこまないでください。

- あお向けや横倒しで取り付けない。
- 90°回転させたり、上下逆さまに取り付けない。
- 棚や押入の中に置かない。
- じゅうたんや布団の上に置かない。
- 新聞紙やテーブルクロス、カーテンなどをかけない。

禁止

次のことを守って、スタンドや壁掛けユニットにディスプレイを設置する

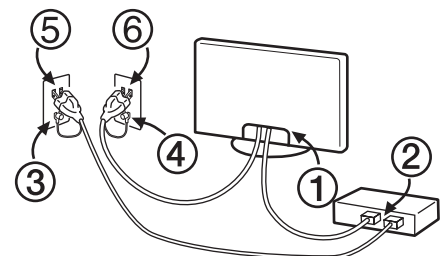
誤った取り付け方法をすると、本機が落下し、大けがをすることがあります。

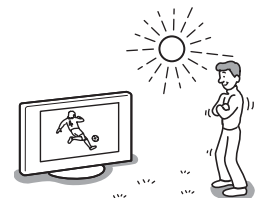
- 各スタンドの取扱説明書の取り付け方法を必ず守る。
- 転倒防止の処置を必ず行う。
- ディスプレイをテーブルトップスタンドに取り付けて台の上などに置くときは、台上でスタンドの前に8cm以上の間隔を空けて設置してください。間隔を空けないで設置すると、ディスプレイを左右に回転させたときにテーブルトップスタンドが台上からはみ出し、本機が転倒したり落下したりして、本機が破損したり、大けがをすることがあります。
- 別売りのテーブルスタンド、またはフロアスタンドをお使いください。別売りのスタンドを使わない場合は、本機が転倒したり落下したりして、本機が破損したり、大けがをすることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、ディスプレイが落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
平らで十分に強度があり、落下しない所に置いてください。

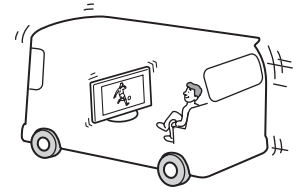
電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

コンセントに差したまま接続したりすると、感電の原因になることがあります。
他機器との接続が終わったあとに、電源コードをセット本体につないでから、壁のコンセントに差してください。（右図の順参照）

屋外で使用しない

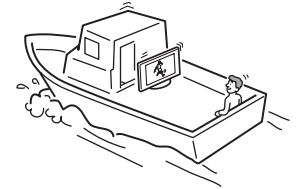
雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機が熱を持ち、故障することがあります。

警告 火災 感電 下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

乗物の中や天井に取り付けない

移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。

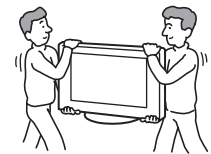
禁止

船舶の中などで使用しない

塩水をかぶり、発火や故障の原因となることがあります。

禁止

風呂場やシャワー室など、水のかかる場所で使用しない

火災や感電の原因となることがあります。

取扱説明書で指定された方法で、運搬/移動する

誤った方法で運搬したり移動したりすると、ディスプレイが落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
大型テレビは重いので、開梱や持ち運びは必ず2人以上で行ってください。
運ぶときには、衝撃を与えないようにしてください。落下や破損などにより、大けがの原因となります。

移動させるときは、電源コードとディスプレイケーブルを抜く

電源プラグやディスプレイケーブルを差し込んだまま移動させると、電源コードやディスプレイケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

ディスプレイにぶらさがらない

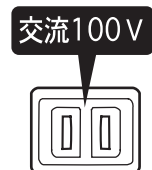
ディスプレイが壁からはずれたり、倒れたりして、ディスプレイの下敷きになり、大けがの原因となることがあります。

禁止

電源

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V（50/60Hz）以外では使用しない

たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により、火災の原因となります。
海外などで異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠警告
火災
感電

下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

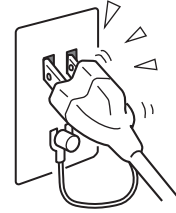
電源コードおよびディスプレイケーブルを引っ張らない

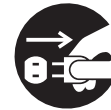
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止

ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。

禁止

ケーブルを配線するときは、電源プラグを抜く

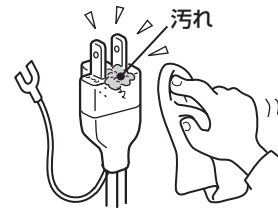
安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

プラグをコンセントから抜く

ぬれた手で電源プラグにさわらない

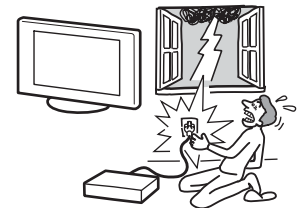
ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。

ぬれ手禁止

電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。

雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止

その他

ディスプレイの表面が割れたときは、電源プラグをコンセントから抜くまでディスプレイに触れない

電源プラグをコンセントから抜かずにディスプレイに触れると、感電の原因となることがあります。

接触禁止

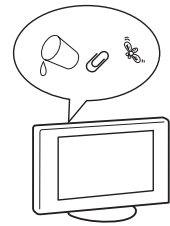
警告

下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

目や口に液晶を入れない/ガラスの破片にふれない

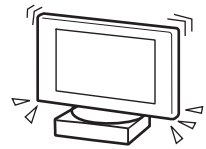
液晶パネルが破損すると、破損した部分から液晶(液状)が漏れたり、ガラスの破片が飛び散ることがあります。この液晶やガラスの破片に素手でふれたり、口に入れたりしないでください。ガラスの破片に触れるとけがをするおそれがあります。また、漏れた液晶に素手で触れると中毒やかぶれの原因となります。においを嗅ぐこともやめてください。誤って、目や口に入ったときは、すぐに水で洗い流し、医師にご相談ください。

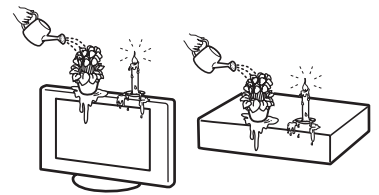
通風孔に異物を入れない

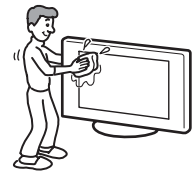
内部に金属類や燃えやすい物が入ると火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

メディアレシーバーの上に重い物をのせない

故障の原因となります。

ディスプレイやメディアレシーバーの上に水などの入った容器や火のついたローソクを置かない

水がこぼれ、内部に水が入ると火災や感電の原因となります。また、火のついたローソクが倒れて火災の原因となります。

本機を水でぬらしたりしない

感電や故障の原因となります。

変換プラグアダプターのアースキャップなどは、幼児の手の届かないところに保管する

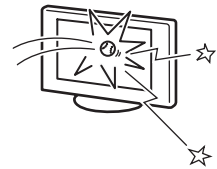
万一、誤って飲みこんだときは、窒息する恐れがありますので、ただちに医師にご相談ください。

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

ぬれた手で触れない

本機をぬれた手で触ると、感電したり、本機が故障して発煙することがあります。

ディスプレイ表面に物をぶつけない

ガラスが割れ、飛び散ったガラスにより、けがの原因となります。

設置と移動

ディスプレイがはみ出すような取り付けはしない

本機を次のような場所に設置しないでください。頭や目などをぶつけ、けがをすることがあります。

- 柱など、本機がはみ出してしまうような場所には取り付けない。
- 顔がぶつかるようなところには取り付けない。

銭湯や温泉の脱衣所に設置しない

温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機が故障したりすることがあります。

油を使用する飲食店などでは使用しない

油を含んだほこりなどが、本機に入り、故障の原因となります。

コネクターはきちんと接続する

- コネクターの内部に金属片を入れないでください。ピンとピンがショート（短絡）して、火災や故障の原因となることがあります。
- コネクターはまっすぐ差し込んで接続してください。斜めに差し込むと、発熱して、火災や故障の原因となることがあります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない

火災や感電の原因となることがあります。

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

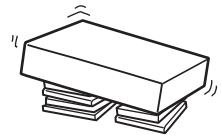
海の近くでは本機の金属が塩分で腐食し、発熱や発火を起こすことがあります

海の近くで本機を使用すると、機器寿命が短くなることがあります。

転倒防止の処置をする

転倒防止の処置をしないと、ディスプレイが倒れてけがの原因となることがあります。スタンドや床、壁などとの間に、適切な転倒防止の処置を行ってください。転倒防止の処置のしかたについては、スタンドの取扱説明書も、あわせてご覧ください。

メディアレシーバーは安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、メディアレシーバーが落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。ラックなどは、ソニー指定のもの（別売り）など、充分に強度があるものをお使いください。

メディアレシーバーの上に乗らない

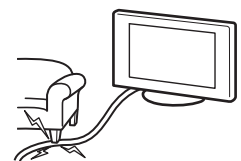
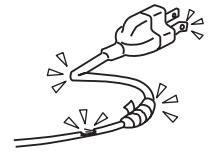
倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。特に、小さなお子様にはご注意ください。

電源

電源コードやディスプレイケーブルを傷つけない

電源コードやディスプレイケーブルを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となることがあります。
- 電源コードやディスプレイケーブルを加工したり、傷つけたりしない。
- 電源コードやディスプレイケーブルに重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 電源コードやディスプレイケーブルを熱器具に近づけない、加熱しない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- ディスプレイケーブルを抜くときは、取扱説明書の指示に従う。

万一、電源コードやディスプレイケーブルが傷んだらただちに使用を中止し、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に交換をご依頼ください。

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

お手入れの際、電源プラグを抜く

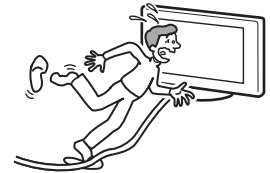
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

その他

ケーブルを足に引っ掛けないように注意する

けがをしたり、本機を破損したりすることがあります。

ディスプレイの表面に手を触れない

使用中や電源を切った直後は熱くなっていることがあります。

大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特にヘッドホンで聞くときにご注意ください。また、ヘッドホンをつけたまま眠ってしまうと危険です。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。

使用上のご注意

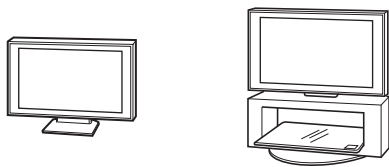
電源について

付属の電源コードをお使いください。
電源コンセントにプラグを差し込む前に、必ずアース線をアースにつないでください。電源コードを抜くときは、先にプラグを抜いてからアース線をはずしてください。

見る場所について

- 画面の縦の長さの4～7倍を目安にした場所でご覧になれば、見やすくて疲れません。
- 暗すぎる部屋は目を疲れさせるのでよくありません。適度の明るさの中でご覧ください。また、連続して長い間、画面を見ていることも目を疲れさせます。

本機を設置する場所について

電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐにプラグを抜くようにしてください。
本機を、日光が直接当たったり、暖房の熱気が直接当たる場所には設置しないでください。本機が熱を持ち、キャビネットの変形や故障の原因となります。
また、冷房の冷気も直接当たらない位置に設置してください。結露などが発生して、故障する恐れがあります。

ディスプレイ
必ず専用のスタンドや壁掛けユニットを使用してください。上部や後面、左右をふさがないように設置し、充分に通風ができるようにしてください。
メディアレシーバー
上部、底部および左右側面をふさがないように設置し、充分に通風ができるようにしてください。

音量について

- 周辺の人の迷惑とならないよう適度の音量でお楽しみください。特に、夜間での音量は小さい音でも通りやすいので、窓を閉めたりヘッドホンを使用したりして、隣近所への配慮を十分にし、生活環境を守りましょう。
- ヘッドホンをご使用のときは、耳をあまり刺激しないよう、適度な音量でお楽しみください。耳鳴りがするような場合は、音量を下げるか、使用を中止してください。

輝点・滅点について

画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（滅点）がある場合がありますが、故障ではありません。
パネルは非常に精密な技術で作られており99.99%以上の有効画素がありますが、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。

リモコン取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。リモコンを損傷するだけでなく、床などを傷つける場合があります。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

ディスプレイについて

ディスプレイの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけないでください。

ディスプレイのスクリーン面のお手入れについて

- お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 液晶の画面は特殊加工がされていますので、なるべく画面にふれないようにしてください。また画面の汚れをふきとるときは、乾いた柔らかい布でふきとってください。
- アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- 殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。

液晶画面について

- 液晶画面を太陽にむけたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
- 液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
- 寒い所でご使用になると、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
- 静止画を継続的に表示した場合、残像を生じることがありますが、時間の経過とともに元に戻ります。
- 使用中に画面やキャビネットがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

外装のお手入れについて

- 乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でカラ拭きしてください。
- アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤のような揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげるなど、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、絶対に使用しないでください。
- 布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。

廃棄するときは

一般の廃棄物と一緒にしないでください。

ごみ廃棄場で処分されるごみの中にテレビを捨てないでください。

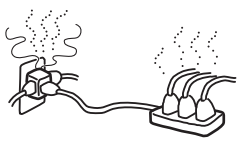
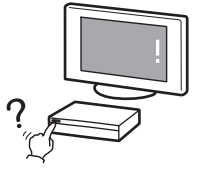
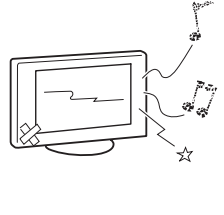
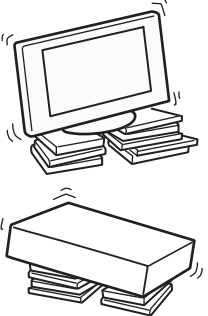
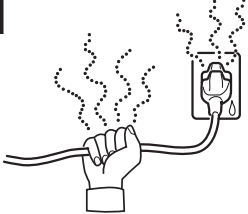
乾電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

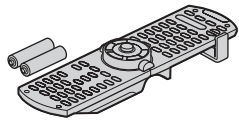
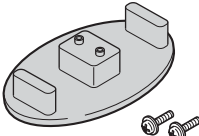
⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

⚠注意

- ＋と－の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。
- **廃棄の際は、環境を充分に配慮し地方自治体の条例または規則に従ってください。**

もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

＜液晶テレビ＞安全点検チェックリスト

安全点検項目

番号	点検項目	区分
❶	布やテーブルクロスなどで**通風孔をふさいで**いませんか	設置場所と設置方法
❷	**水気、油気、湿気、ほこりの多いところ**に置いていませんか	設置場所と設置方法
❸	**不安定な場所**に置いたり、**不安定な置きかた**をしていませんか	設置場所と設置方法
❹	電源コードやディスプレイケーブルが**物（椅子、机、台など）の下敷き**になっていませんか	電源コードとプラグ
❺	**たこ足配線**をしていませんか	電源コードとプラグ
1	電源コードを動かしたとき、**電源が入ったり切れたり**しませんか	電源コードとプラグ
2	電源コードが窮屈に**折れ曲がったり、キズがついたり**していませんか	電源コードとプラグ
3	電源コードやプラグが**異常な熱**を持っていませんか	電源コードとプラグ
4	**異常な熱や煙**が発生したり**変な臭いや音**（パチパチ）がしませんか	液晶テレビ本体
5	電源を入れても**画像や音が出ない**ことがありませんか	液晶テレビ本体
6	**画像や音が途切れたり、乱れたり**しませんか	液晶テレビ本体
7	**通風孔から水や異物**（紙・虫・クリップ・ピンなど）が入った形跡がありませんか	液晶テレビ本体
8	**故障状態のまま**使用していませんか	液晶テレビ本体

	点検結果　年／月　○良い　×悪い					処置手順
❸						×印の項目があるとき ↓ そのままお使いになりますと故障や事故の原因になることがあります。 正しく安全な設置場所や設置方法に必ず改善してください。
3						1つでも×印があるとき ↓ **すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。** ↓ お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。
6						

付属品を確かめる

箱を開けたら、付属品がそろっているか確かめてください。

付属品一覧

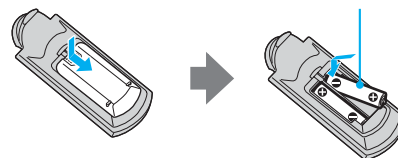
付属品
リモコン（1個）、単3形乾電池（2個）、リモコンホルダー（1個）
AVマウス（1.5m）（1本）
VHF/UHF用アンテナ接続ケーブル（2.4m）（1本）
アンテナ変換アダプター（1個）
メディアレシーバー用電源コード（ストレート型）（2.5m）（1本）
ディスプレイ用電源コード（L型）（3m）（1本）
変換プラグアダプター（2個）
ACプラグホルダー（1個）
テレホンコード（10m）（1本）
モジュラーテレホンコードカプラー（1個）
ディスプレイケーブル（3m）（1本）
縦置きスタンド（1個）、取付用ネジ（2個）

B-CAS（ビーキャス）カード
（デジタル放送用ICカード）と
B-CAS用ユーザー登録はがき台紙
操作・困ったときは編 取扱説明書
設置・接続編 取扱説明書
ソニーご相談窓口のご案内
ディスプレイ用保証書
メディアレシーバー用保証書
ご愛用者カード
製品カスタマー登録のおすすめ
（各1部）

別売りアクセサリーについて

他機との接続（☞54ページ）には、別売りアクセサリーが必要です。
本書記載の別売りアクセサリーは、2004年10月現在のものです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

リモコンに電池を入れるには

必ずイラストのように⊖極側から電池を入れてください。無理に入れたり逆に入れたりすると、ショートの原因になり、発熱することがあります。

本機を設置する・転倒防止の措置をする

ディスプレイをスタンドに設置する

ディスプレイは、必ず下記の別売りスタンドや壁掛けユニットをご使用のうえ、設置してください。

- テーブルトップスタンド
  SU-XTQ005
- フロアスタンド
  SU-XFQ005
- 壁掛けユニット
  SU-XWQ005

（すべて2004年10月現在）

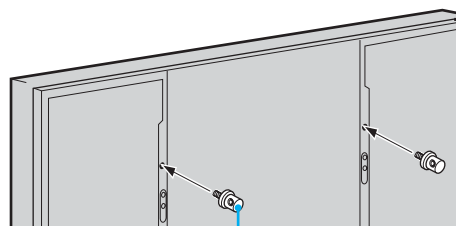
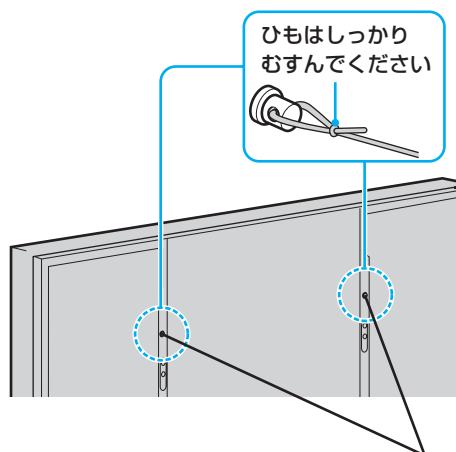
スタンドによって設置方法や設置手順が異なります。詳しくは、各スタンドや壁掛けユニットの取扱説明書をご覧になり、正しい手順で設置してください。

各スタンドおよび、壁掛けユニットの取り付けはお買い上げ店や工事店にご依頼ください。

壁からの設置距離による音質の違い

ディスプレイ後面にウーファースピーカーが内蔵されています。
ディスプレイと壁との距離によって、音（低音域）の広がりかたに違いが出る場合があります。設置後に音（低音域）の調整が必要な場合は、壁からの設置距離を調整するか、本機のウーファーレベルを調整してください（☞「操作・困ったときは編」の「音質を調整する」）。

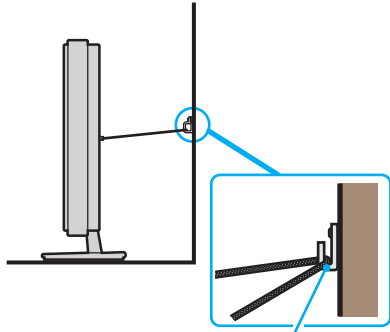
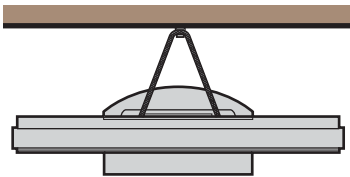
ディスプレイの転倒を防ぐには

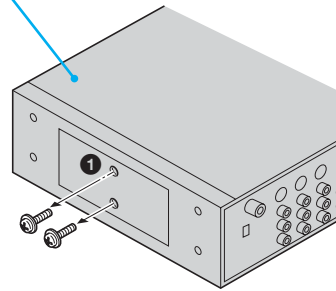
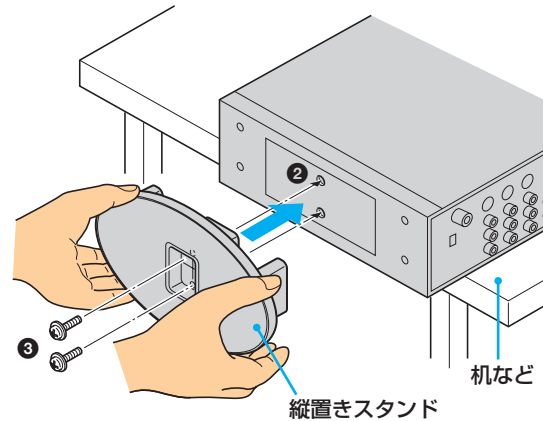
1 **後面にある2か所の穴にテーブルトップスタンドまたはフロアスタンドに付属の転倒防止部品を取り付ける。**

2 **取り付けた転倒防止部品に丈夫なひもまたはクサリなどを通す。**

次のページへつづく⇨

ご注意

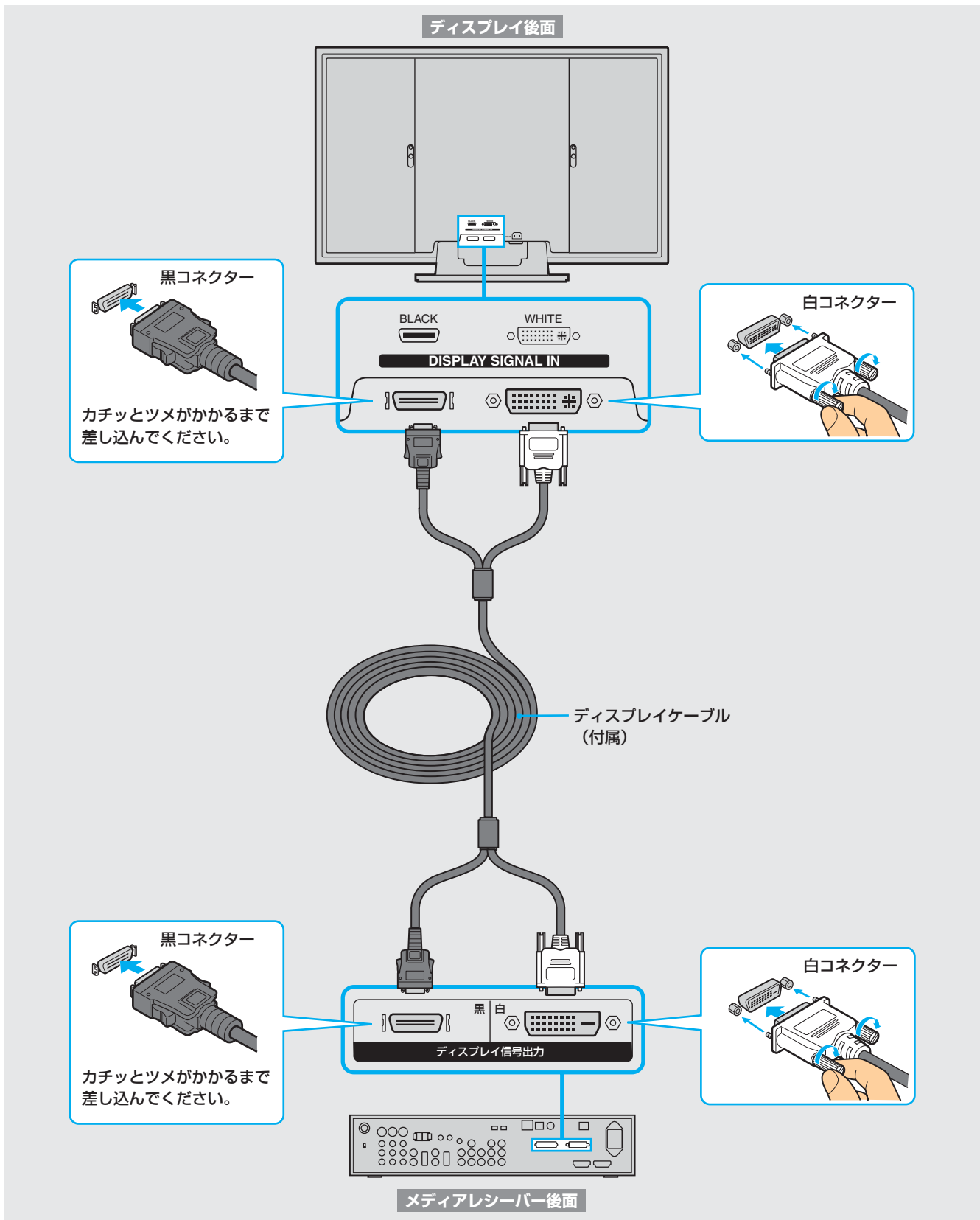
転倒防止の処置をしないと、ディスプレイが転倒し、けがの原因となることがあります。

3 壁や柱などの安定した場所に、手順2で取り付けた丈夫なひもまたはクサリなどを、しっかり固定する。

横から見たところ

上から見たところ

メディアレシーバーを縦置きするには

付属の縦置きスタンドを使います。
縦置きスタンドは、メディアレシーバーの正面右側に取り付けてください。取り付けるときは、机の端など台の上を使うと便利です。

❶ メディアレシーバーのネジをはずす。

❷ 縦置きスタンドとメディアレシーバー のネジ穴を合わせる。
❸ 付属のネジを使って、ネジ留めする。

ディスプレイとメディアレシーバーをつなぐ

コネクターのネジは、がたがでない程度に締めてください。過度の締めつけは、ネジの破損の原因となります。
ディスプレイケーブルの接続や取りはずしは、電源コードをつなぐ前に行ってください。

ちょっと一言

メディアレシーバーとディスプレイを離して設置するときは、別売りのディスプレイケーブルVMC-X10を使うと10mまで離せます。

準備の前に

ご覧になる放送によって、行う準備が異なります。
☞26ページ～48ページの準備を行うと、すべての放送を見る準備が整います。また、デジタル放送をご覧になるときは、電話回線を接続することをおすすめします。

地上アナログ放送を見たい

- 準備2：地上波アンテナをつなぐ
- 準備5：電源コードとアース線をつなぐ
- 準備6：お買い上げ時の初期設定をする
- 準備7：地上アナログ放送の設定をする
- 準備8：地上アナログ放送のチャンネル設定をする*1
- 準備9：地上アナログ放送の番組表（Gガイド）の設定をする*1

*1 準備6と準備7を行えば、設定の必要はありません。

地上デジタル放送を見たい

- 準備1：B-CASカード（デジタル放送用ICカード）を挿入する
- 準備2：地上波アンテナをつなぐ*2

*2 地上デジタルを見るときは、地上波アンテナが地上デジタルに対応している必要があります。

- 準備5：電源コードとアース線をつなぐ
- 準備6：お買い上げ時の初期設定をする
- 準備10：地上デジタル放送の設定をする*3
- 準備11：地上デジタル放送のチャンネル設定をする*3

*3 準備6を行えば、設定の必要はありません。

BSデジタル放送を見たい

110度CSデジタル放送を見たい

準備1: B-CASカード(デジタル放送用ICカード)を挿入する

準備3: 衛星アンテナをつなぐ

準備5: 電源コードとアース線をつなぐ

準備6: お買い上げ時の初期設定をする

準備12: BS・110度CS放送の設定をする*4

準備13: BS・110度CS放送のチャンネル設定をする*4

*4 準備6を行えば、設定の必要はありません。

デジタル放送のデータ放送(双方向通信など)を楽しみたい

準備4: 電話回線につなぐ*5

*5 回線につないだあとで、電話回線またはネットワーク回線の設定が必要です。

準備15: 電話回線を設定する

:「テレビの接続」(☞26 ~ 34ページ)を行います。

:「受信設定」(☞35 ~ 48ページ)を行います。

準備1

B-CAS（ビーキャス）カード（デジタル放送用ICカード）を挿入する

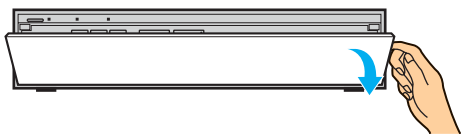
B-CAS*カード（デジタル放送用ICカード）はお客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。

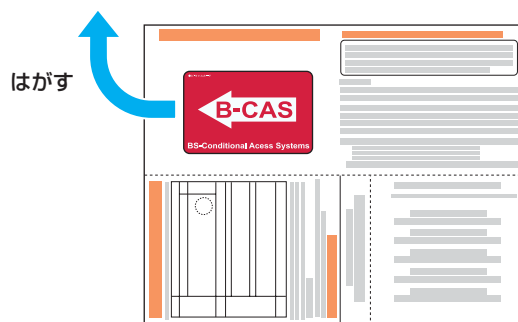
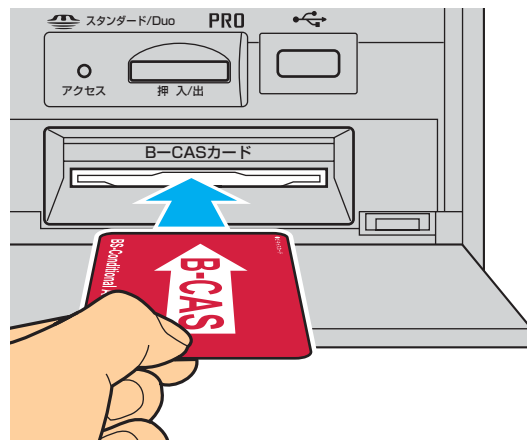
2004年4月より、番組の著作権保護のためデジタル放送は、B-CASカードを挿入していないと、スクランブルがかかって視聴することができません。
デジタル放送を視聴するときは、必ず、B-CASカードを挿入してください。

デジタル放送では、このカードを利用したCAS（限定受信システム）が採用されています。
また、有料番組やPPV番組（☞「操作・困ったときは編」の「テレビのその他の機能」→「ペイ・パー・ビュー（PPV）を見る」）を見たり、データ放送の双方向サービスを受けたりするときも、B-CASカードを使用します。

* B-CASは（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズの略称です。

次の手順は、電源を切った状態で行ってください。

1 メディアレシーバー前面のパネルを開ける。

2 同封の「ビーキャス（B-CAS）カード使用許諾契約約款」の内容をお読みになり了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。

B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）へお問い合わせください。

3 B-CASカードを奥までしっかり挿入する。

B-CASと書かれた面を上にして、
印刷された矢印の方向に挿入する。

同梱のB-CAS用ユーザー登録はがきに必要事項を記入し、投函することをおすすめします。

4 メディアレシーバー前面のパネルを閉める。

ちょっと一言

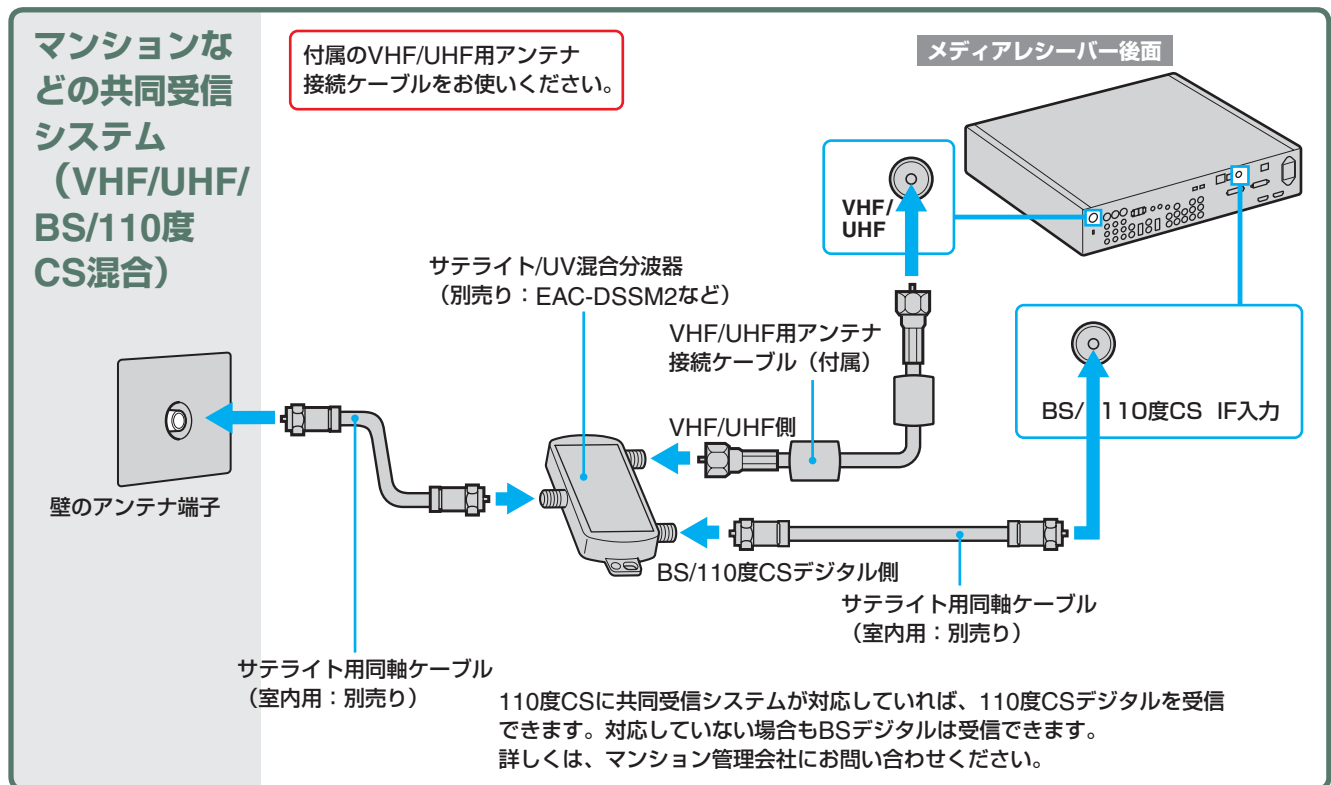
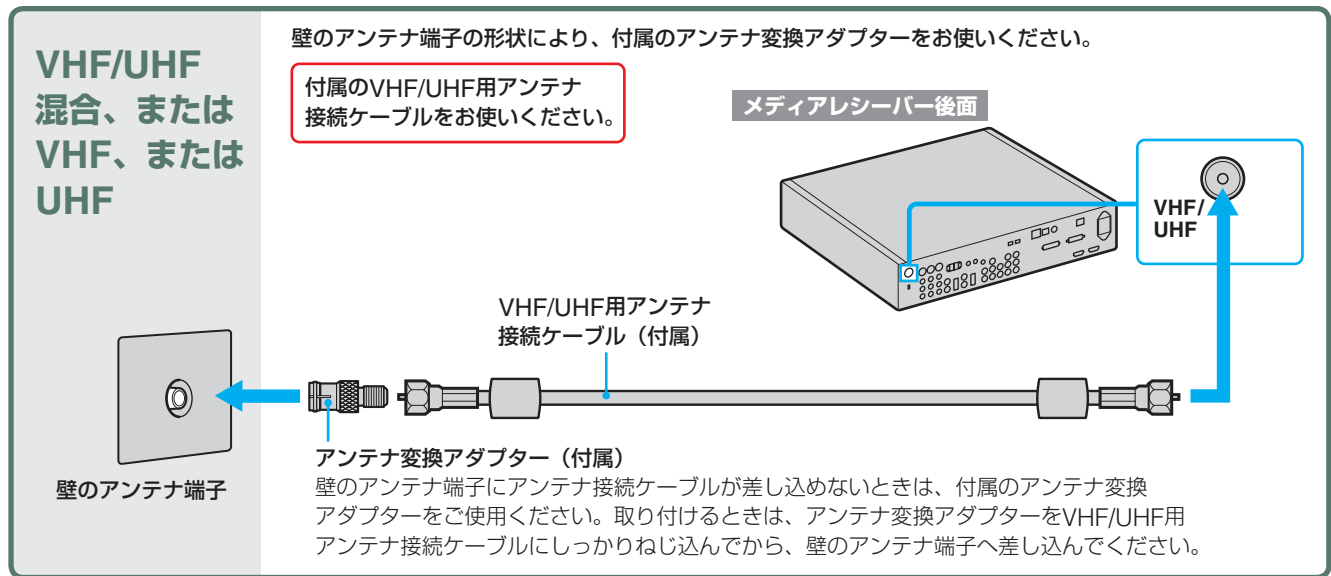
各種サービスの利用やカード交換などをスムーズに行うため、B-CASにユーザー登録することをおすすめします。

準備2 地上波アンテナをつなぐ

地上アナログまたは地上デジタルをご覧になるときは、地上波アンテナをつないでください。
地上デジタルのアンテナは、これまで使用していた地上アナログのUHF用アンテナを使用できる場合があります。ただし、地域によっては、アンテナの取り換えや方向の変更、ブースター（増幅器）の追加などが必要となることがあります。詳しくは、お買い上げ店などにご相談ください。

地上波アンテナのつなぎかたは、壁のアンテナ端子の形や使うケーブルによって異なります。下の例から最も近いものを選び、つないでください。
いずれにも当てはまらない場合は、お買い上げ店などにご相談ください。

テレビの接続

次のページへつづく⇨

きれいな画像をお楽しみいただくために

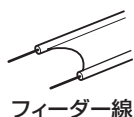
下記のようにアンテナの接続と設置を確実に行い、電波妨害を受けにくい安定した受信状態を確保してください。

- 本機後面のVHF/UHF端子への接続は、付属のVHF/UHF用アンテナ接続ケーブルを使ってください。
- アンテナ線は他の電源コードや接続ケーブルからできるだけ離してください。
- 室内アンテナは特に電波妨害を受けやすいため、使わないでください。
- 電波の送信元付近の地域では、電波が強いため近隣チャンネルなどの干渉を受けて、画面にノイズが起こることがあります。そのときは、メディアレシーバー後面のアッテネーター（減衰器）のスイッチを「入」または「切」にしてみてください。

地上デジタルのアンテナ工事について

お買い上げ店などにご相談ください。
特に、地上デジタル受信用に地上アナログ受信用とは別のアンテナを設置するときは、お買い上げ店やアンテナ工事業者とご相談の上、VHF/UHFアンテナ混合器をお使いください。

ご注意

- フィーダー線は同軸ケーブルよりも雑音電波などの影響を受けやすいため、信号が劣化します。お買い上げ店などにご相談ください。

- これまでお使いのUHF用アンテナを地上デジタル用に使用する際に、うまく映らなかったり、画面が乱れたりするときは、お買い上げ店などにご相談ください。

準備3 衛星アンテナをつなぐ

BSデジタルまたは110度CSデジタルをご覧になるときは、衛星アンテナをつないでください。
衛星アンテナをメディアレシーバーに直接つなぎます。衛星アンテナの設置には技術が必要なため、お買い上げ店などに依頼することをおすすめします。

マンションなどの共同受信システムなどVHF/UHF/BS/110度CS混合のときは、☞27ページをご覧ください。
本機の電源コードは、すべての接続が終わってからつないでください。

110度CSデジタルを受信するには

110度CSデジタルに衛星アンテナや分配器、ブースター（増幅器）、および共同受信システムが対応していれば、110度CSデジタルを受信できます。詳しくは、お買い上げ店か、マンション管理会社にお問い合わせください。

次のページにつづく ⇨

ご注意

BS/110度CS IF入力端子には、必ずサテライト用同軸ケーブルをつないでください。BS/110度CS IF入力端子からは衛星アンテナ用の電源（DC15/11V）が供給されているため、サテライト用同軸ケーブル以外のケーブルをつなぐと、ショートして火災などの原因となります。

すでにBSアナログをご覧いただいているときは

お使いの衛星アンテナの向きを変えることなく、そのままBSデジタルもBSアナログもそれぞれに対応したBSチューナーで受信できます。
ただし、一部の衛星アンテナでは、性能の劣化やデジタル化に必要な性能が確保されていないこともあります。受信状況が悪い場合は、衛星アンテナ製造元のお客様窓口や、お買い上げ店などにお問い合わせください。

マンションなどの共同受信システムのときは

壁のアンテナ端子ひとつでBSデジタル、110度CSデジタルと地上波放送を受信できる共同受信システムのときは、BSデジタル、110度CSデジタルと地上波放送を分波して接続してください。
接続のしかたについて詳しくは、「準備2：地上波アンテナをつなぐ」（☞27ページ）をご覧ください。
また、ホームメニューで「衛星アンテナ設定」を「切」にしてください（☞44ページ）。

ケーブルテレビに加入されているときは

受信契約をされているケーブルテレビ放送会社に、BSデジタルや110度CSデジタルに対応しているかを確認してください。ケーブルテレビ放送会社が対応していれば、BSデジタル、110度CSデジタルはご覧いただけます。詳しくは、ケーブルテレビ放送会社にお問い合わせください。

デジタルCS放送*を含めた共同受信システムのときは

お住まいのマンションの共同受信システムによって、壁のアンテナ端子への接続のしかたが異なります。マンション管理会社（または管理人や管理組合など）に、共同受信システム方式を確認して、その指示に従って、接続および受信方法の設定（☞44ページ）を行ってください。

* SKY PerfecTV!のことです。110度CSデジタルではありません。

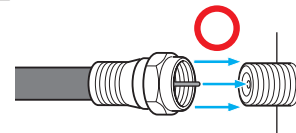
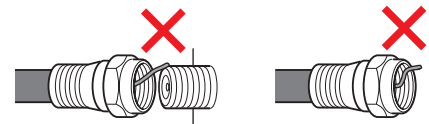
「取扱説明書をご覧いただき、BSアンテナ電源（コンバーター電源）を確認してください」という表示が出たら

メディアレシーバー前面の電源/録画予約/録画ランプが緑色に点滅して、「衛星アンテナ設定」が自動的に「切」になります。

1 **いったんメディアレシーバー本体の電源スイッチで電源を切る。**

2 **以下のことを確認する。**

- サテライト用同軸ケーブルの芯線が、BS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。

正しい

芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れないように、気をつけてください。

- サテライト用同軸ケーブルをアンテナコネクターでつないでいるときは、アンテナコネクターの芯線が、BS/110度CS IF入力端子やコネクターのまわりの金属部分に触れていないか確認してください。それでも表示が消えないときは、アンテナコネクターのふたを開けて、内部を確認してください。

3 **再び電源を入れたあと、ホームメニューで「衛星アンテナ設定」を設定する（☞44ページ）。**

ホームボタンを押して、「（設定）」→「（テレビの設定）」→「デジタル放送の設定」→「受信設定」→「BS/CS設定」→「衛星アンテナ設定」→「オート」または「入」、「切」の順に選ぶ。
「**オート**」または「**入**」：衛星アンテナを本機につないでいるとき。
「**切**」：マンションなどの共同受信システムのとき。

準備4 電話回線につなぐ

以下のようなときは、**本機を電話回線につなぐ必要があります。**お住まいの電話回線の状況に合わせて、つないでください。また、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でないときは、お買い上げ店や専門業者などにお問い合わせください。

- B-CAS（ビーキャス）カードに記憶された番組購入･契約状況などの情報を、電話回線を通じて定期的に本機から放送局へ自動送信するとき
- ペイ･パー･ビュー（PPV）契約をして、番組などを購入するとき
- データ放送を見ているときに、放送局と通信を行うとき（通信中は、メディアレシーバー前面の通信ランプが点灯します）。また、メディアレシーバー後面のLAN端子に常時接続回線をつなげば、さらに快適に楽しめます。

電話回線設定
（☞47ページ）

データ放送（アンケートなどの双方向通信）、B-CASカードの通信などで必要となります。「**準備15：電話回線を設定する**」（☞47ページ）**で必ず設定してください。**

ダイヤルアップ設定
「**壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき**」、「**ISDN回線を使ってつないでいるとき（アナログ接続）**」（☞32ページ）

または

ネットワーク設定
「ADSL/CATV/FTTH**回線などでつないでいるとき**」
（☞33ページ）

プロバイダー契約が必要

データ放送のコンテンツ*1を放送局などのサーバーからインターネット経由で楽しむときなどに必要になります。

*1 地上デジタル/BSデジタル/110度CSデジタルで運用されています。

データ放送への接続方法を設定するには

上の図のように、お使いの機器や通信環境によって、データ放送への接続方法を設定できます。
詳しくは、「**データ放送のためのネットワークを設定する**」（☞50ページ）**をご覧ください。**

次のページにつづく ⇨

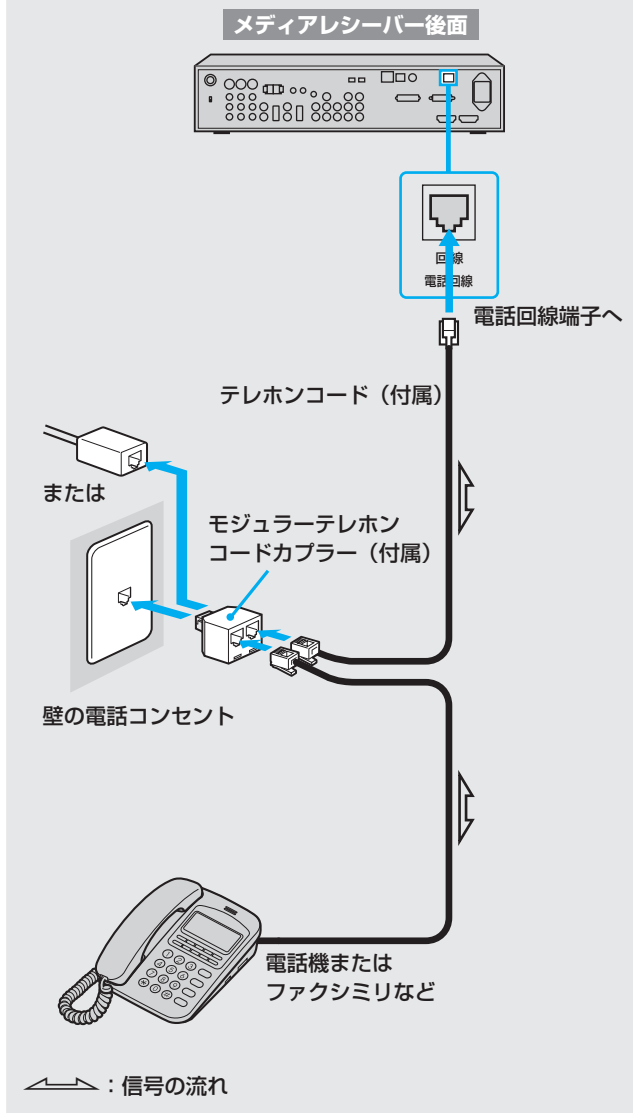
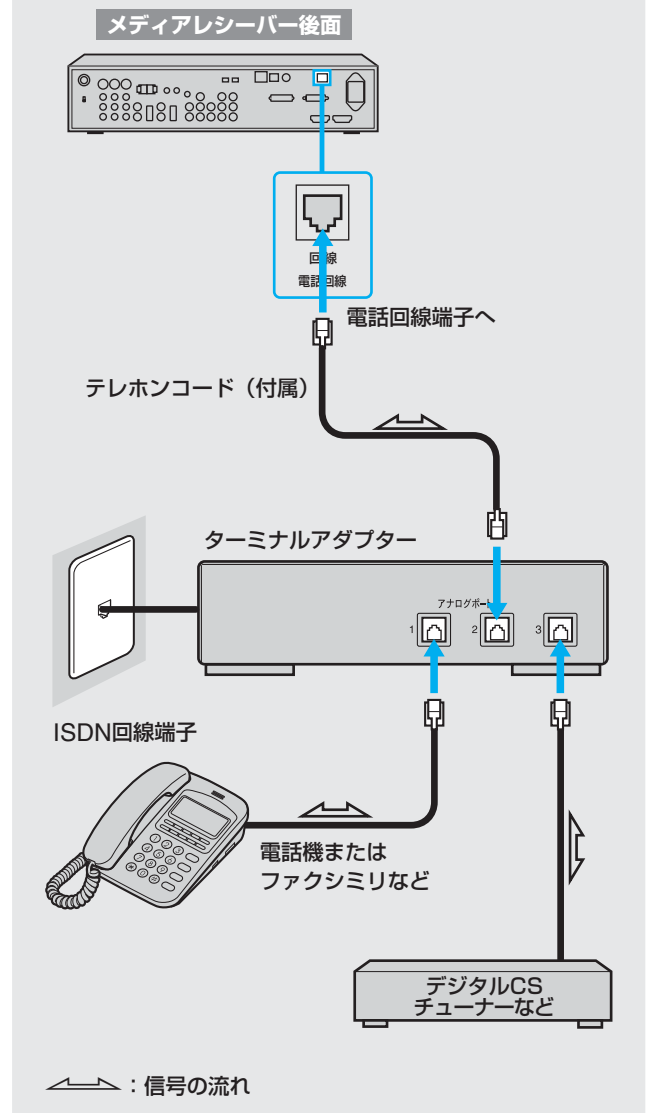
ご注意

- 次の電話回線にはつなげません。
  - 公衆電話および共同電話、地域集団電話
  - 携帯電話およびPHS、自動車電話
  - 船舶電話
  - 外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」または「9」以外の数字を付けるとき
  - ビジネスホン
- ホームテレホンのときは、壁の電話コンセントがモジュラージャック式でも専門業者による工事が必要です。

ちょっと一言

- 本機が放送局と、購入情報などを送受信しているときは、メディアレシーバー前面の通信ランプが点灯し、電話機やファクシミリなど同一回線上の通信機器は使えません。
  その際、一部の通信機器で呼び出し音が鳴ることがあります。このときは、付属のモジュラーテレホンコードカプラーのかわりに、別売りの自動転換機TL-P20C（スタンダードモデル）を使ってください。なお、パソコンなどをお使いの場合は、高速データ通信用自動転換器TL-P21（高速通信対応モデル）をご使用ください。
- BSデジタル･110度CSデジタルの放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。

準備4　電話回線につなぐ（つづき）

壁の電話コンセントから電話を直接つないでいるとき

ISDN回線を使ってつないでいるとき（アナログ接続）

ご注意

ISDN回線端子に付属のモジュラーテレホンコードカプラーをつながないでください。無理に押し込むと破損することがあります。

ちょっと一言

ターミナルアダプターにつないだ場合は、本機の電話回線を「トーン」に設定してください（☞47ページ）。

ネットワーク（LAN）ケーブルをお使いになるときは

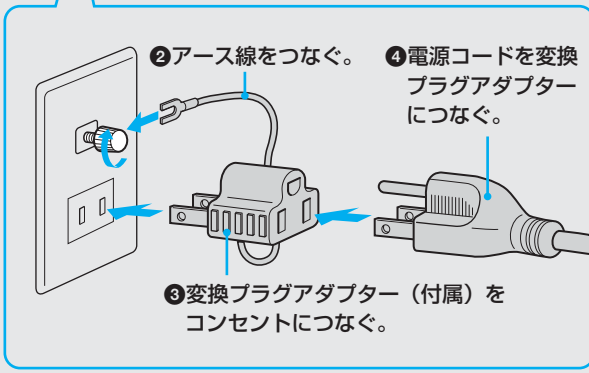
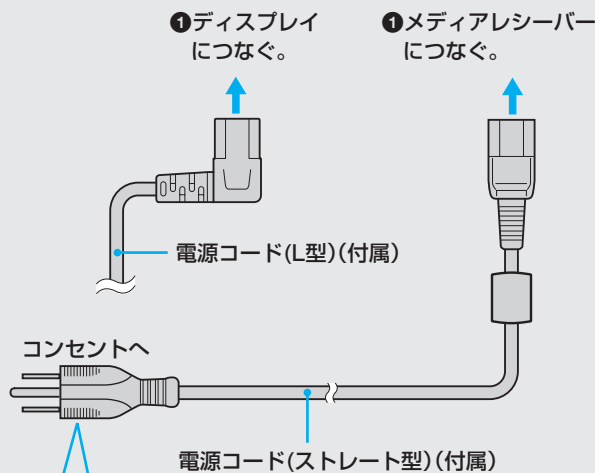
- ネットワーク（LAN）ケーブルには、ストレートケーブルとクロスケーブルの2種類があります。
  モデムやルーターなどの種類により、使用するケーブルの種類が異なります。詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。
- 100BASE-TX/10BASE-Tタイプのネットワーク（LAN）ケーブルをお使いください。
  詳しくは、モデムやルーターの取扱説明書をご覧ください。

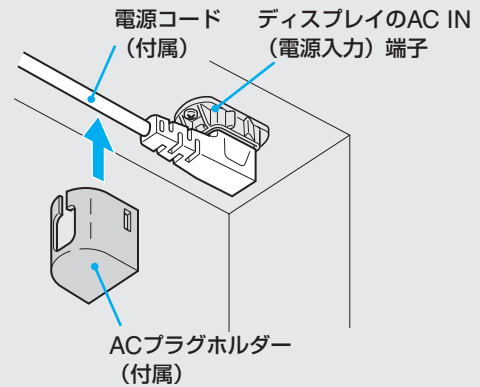
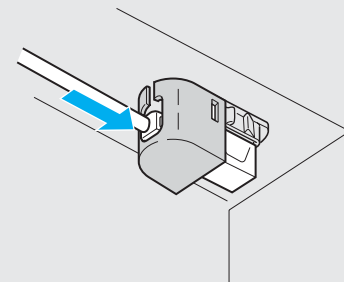
ご注意

- モデムなどについてご不明な点は、ご利用の回線事業者にお問い合わせください。
- 契約によっては、本機やパソコンなどの端末を複数台接続できないことがあります。ご利用の回線事業者へご確認ください。

準備5 電源コードとアース線をつなぐ

すべての接続が終わってから、本機の電源コードをつなぎます。先に本機につないでからコンセントにつなぎます。

電源コードをつなぐ

❶～❹の順でつないでください。

ディスプレイの電源プラグを固定する

❶ ACプラグホルダー（付属）を電源コードのコード部分にはめる。

❷ ACプラグホルダー（付属）をディスプレイに押しつけるように横にずらして、カチッと音がするまで差し込む。

電源コードをはずすときは

ACプラグホルダーの前後を押しながら横にずらしてから、電源プラグを抜いてください。

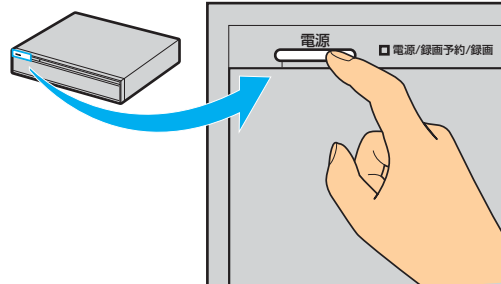
ご注意

- 変換プラグアダプター(付属)のアース端子からはずした絶縁キャップを、幼児が誤って飲み込まないように注意してください。
- 必ず、付属の電源コードをご使用ください。
- 壁のコンセントが2芯専用の場合は、必ずアース工事を行ってから、付属の変換プラグアダプターを使用して接続してください。
  感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者にご依頼ください。
- 変換プラグアダプターを使うときは、安全のため、コンセントに変換プラグアダプターを差し込む前にアース線をアースへ接続してください。
- 変換プラグアダプターをコンセントから抜くときは、アース線を最後にはずしてください。
- ビデオなどの機器をつなぐときは、すべての接続が終わってから、電源コードをコンセントにつないでください。

準備6 お買い上げ時の初期設定をする

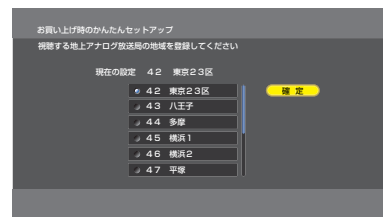
（手順1 ～ 16まで）
はじめて本機の電源を入れると、デジタル放送を受信するための初期設定画面が表示されます。
初期設定の設定項目をすべて行えば、地上、BS・110度CSデジタルのすべて放送の設定が完了します。
地上アナログを見るときは、必ず「準備7：地上アナログ放送の設定をする」（☞38ページ）も行ってください。

お買い上げ時の初期設定は、下記のボタンだけで操作できます。

1 メディアレシーバーの電源スイッチを押す。

「お買い上げ時のかんたんセットアップ」画面が表示されます。
表示されたメッセージをよくお読みになり、決定を押して手順2へ進んでください。

地上アナログ

2 地上アナログの番組表（Gガイド）を表示するために、←/↑/↓で放送局のある地域名・地域番号を選んで、決定を押す。

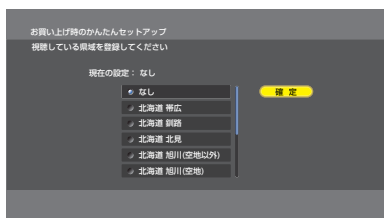
よくご覧になる地上アナログ放送局のある地域を選んでください。地域がわからないときは、「ガイドチャンネル一覧」（☞70ページ）をご覧になり、お住まいの地域の放送局をより多く含んでいる地域番号を選んでください。お住まいの地域の放送局は、新聞のテレビ欄などで確認できます。

ご注意
- 地域番号設定および「準備7：地上アナログ放送の設定をする」（☞38ページ）の「地上アナログ自動設定」をしないと、地上アナログ番組表の番組情報を取得できません。必ず両方とも設定してお使いください。
- メディアレシーバーの電源スイッチで主電源を切ったときは、番組情報の取得は行われません。

3 →で「確定」を選んで、決定を押す。

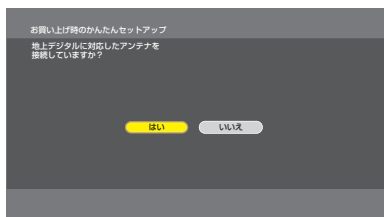
次のページにつづく ⇨

地上デジタル

4 デジタル放送をご覧になるために、←/↑/↓でお住まいの都道府県名を選んで、決定を押す。

設定した地域のチャンネルを設定できるようになります。受信できるチャンネルについて詳しくは、「地上デジタル放送・地域別チャンネル割り当て一覧表」（☞74ページ）をご覧ください。

5 →で「確定」を選んで、決定を押す。

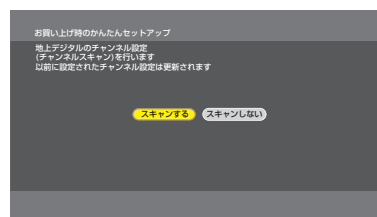
6 「はい」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

地上デジタルに対応したアンテナをつないでいないときは、「いいえ」を選んで、手順11に進んでください。

7 ↑/←/→で「UHF」または「CATV」を選んで、決定を押す。

「UHF」：UHFアンテナをつないでいるときに選びます。

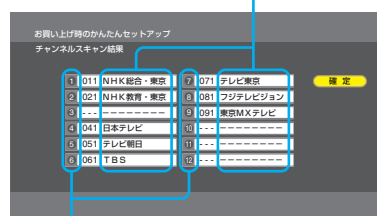
「CATV」：ケーブルテレビで地上デジタルが配信されているときに選びます。

8 ↓で「確定」を選んで、決定を押す。

9 「スキャンする」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

地上デジタルの受信できるチャンネルを自動設定します。

「スキャンしない」を選んだときは、手順11へ進んでください。

チャンネルスキャン中は、電源を切らないでください。

チャンネルスキャンが終わると、下の画面になります。

ちょっと一言

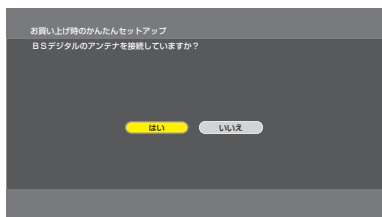
「お買い上げ時のかんたんセットアップ」終了後に地上デジタル放送の受信設定および変更を行う場合には、準備10（☞41ページ）および準備11（☞42ページ）をご覧になり、設定してください。

10 設定されたチャンネルを確認して、(決定)を押す。

BS･110度CSデジタル

11 ←/→で「はい」または「いいえ」を選んで、(決定)を押す。

「**はい**」:衛星アンテナを直接つないでいるときに選びます。
「はい」を選んだときは、衛星アンテナレベルを調整するための画面が表示されます。

「**いいえ**」:マンションなどの共同受信システムのときや、BSデジタル、110度CSデジタルを視聴しないときに選びます。
「いいえ」を選んだときは、手順14へ進みます。

12 衛星アンテナを動かして、アンテナレベルを調整する。

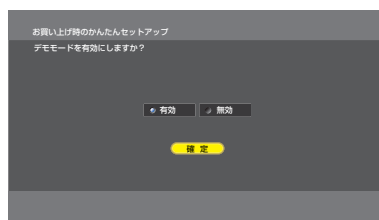
アンテナレベルができるかぎり最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整し固定します。
衛星アンテナの向きの調整について詳しくは、「衛星アンテナの向きを調整する」(☞44ページ)をご覧ください。

13 「確定」が選ばれていることを確認して、(決定)を押す。

デモモード

14 ↑/←/→で「無効」または「有効」を選んで、(決定)を押す。

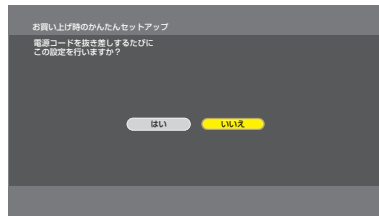
「**無効**」:デモモード*1が無効になります。
「**有効**」:デモモードが有効になります。

*1 **デモモードとは:**
本機の操作の基本となるホームメニューを使った快適な操作性と、新機能の一つであるミックスメディアのデモンストレーションです。
何も操作をしない状態が一定時間続くと、デモモードが開始されます。
デモモード中に、チャンネル切り換えなどの操作を行うと、デモモードは中断します。
「お買い上げ時のかんたんセットアップ」終了後にデモモードを変更するには、ホームボタンを押して、「(設定)」→「DEMO(デモモード)」の順に選びます。

15 ↓で「確定」を選んで、(決定)を押す。

16 「いいえ」が選ばれていることを確認して、(決定)を押す。

電源コードを抜き差ししても初期設定は行いません。
「はい」を選んだときは、電源コードを抜き差しするたびに初期設定を行います。

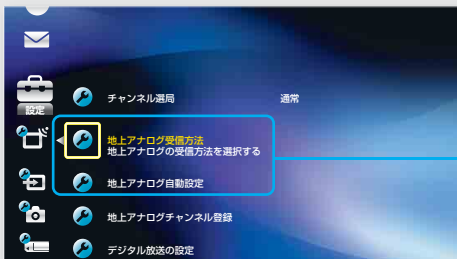
設定が終了すると、テレビ画面に戻ります。

ちょっと一言
「お買い上げ時のかんたんセットアップ」終了後にBS･110度CSデジタル放送の受信設定および変更を行う場合には、準備12(☞44ページ)および準備13(☞45ページ)をご覧になり、設定してください。

設定

準備7 地上アナログ放送の設定をする

1 を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(テレビの設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

受信方法を設定する

「地上アナログ受信方法」を選ぶ。

VHFは共通で受信できます。
UHF：地上アナログをUHFアンテナで受信します。
CATV：地上アナログをケーブルテレビで受信します。

チャンネルを設定する

「地上アナログ自動設定」を選ぶ。

受信できる地上アナログを自動的に設定します。地上アナログが放送中の時間帯に行ってください。「実行する」が選ばれていることを確認して、決定を押すと、自動的に設定が始まります。設定中は、操作を行ったり電源を切ったりしないでください。自動設定し終わると、「地上アナログチャンネル登録」画面に変わります。設定されたチャンネルを確認してください。

設定されたチャンネルを変更するときは

「準備8：地上アナログ放送のチャンネル設定をする」（☞39ページ）をご覧ください。

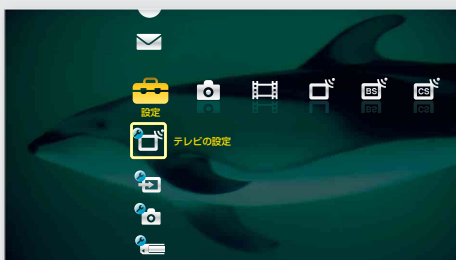
ご注意

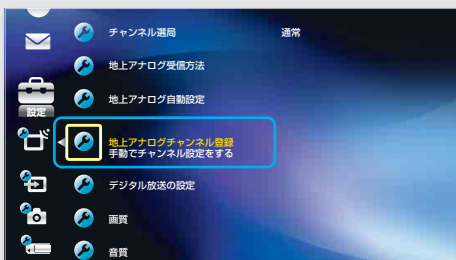
ケーブルテレビでも、チャンネルは自動設定できます。地上アナログの番組表（Gガイド）が表示されないなど、自動設定がうまく行かなかったときは、「(設定)」→「(テレビの設定)」→「地上アナログ受信方法」を「CATV」に設定してから、チャンネルを手動で設定してください。

設定

準備8 地上アナログ放送のチャンネル設定をする

「準備7:地上アナログ放送の設定をする」(☞38ページ)で自動設定したチャンネルを変更したいときに、手動でチャンネルを設定します。
「地上アナログ自動設定」画面で、チャンネルを自動設定し終わると、「地上アナログチャンネル登録」画面が自動的に表示されます。設定が必要なときは、下記を行ってください。

1 ホーム を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(テレビの設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で「地上アナログチャンネル登録」を選んで、決定を押す。

テレビの設定 / 地上アナログチャンネル登録

	受信チャンネル	表示チャンネル	ガイドチャンネル	チャンネル登録	オートステレオ設定	GR設定
1	1	1	2128	しない	切	切
2	2	2	0000	しない	切	切
3	3	3	2138	しない	切	切
4	4	4	0260	しない	切	切
5	5	5	0000	しない	切	切
6	62	62	0000	しない	切	切
7	C63	C63	0000	しない	切	切
8	4	4	0264	しない	切	切
9	5	5	0000	しない	切	切
10	62	62	0000	しない	切	切

設定項目

リモコンの数字ボタンを選んでから、設定項目を選ぶ。

5 ↑/↓で設定したいリモコンの数字ボタンを選んで、決定を押す。

6 ←/→で設定したい項目を選んで、決定を押す。

準備6(☞35ページ)の手順1～16をすべて行ったときは、このページの設定は不要です。

ワンタッチ選局できるチャンネルを変更する

「受信チャンネル」を選ぶ。

受信するチャンネルを設定できます。「－」を設定すると受信しません。

表示チャンネルを設定する

「表示チャンネル」を選ぶ。

チャンネル表示を書き換えられます。画面に出るチャンネル表示は、新聞のテレビ欄などに載っているチャンネルになっています。これを、好きなチャンネル番号などに書き換えることができます。ホームメニューにも表示チャンネルが表示されます。

ガイドチャンネルを設定する

「ガイドチャンネル」を選ぶ。

番組表(Gガイド)に表示される放送局を設定できます。
また、受信は正しくできても、放送局名が正しく表示されないときなどに、設定してください。設定するときは、「Gガイドについて」(☞69ページ)をご覧ください。

チャンネル+/－ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する

「チャンネル登録」を選ぶ。

チャンネル+/－ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更できます。
する:チャンネル+/－ボタンや番組表で選べるようになります。
しない:チャンネル+/－ボタンや番組表で選べなくなります。

ステレオ放送を自動設定する

「オートステレオ設定」を選ぶ。

VHF/UHFのステレオ放送で雑音が気になるときに、「切」を選ぶと、音声をモノラルにして、チャンネルごとに雑音を軽減できます。

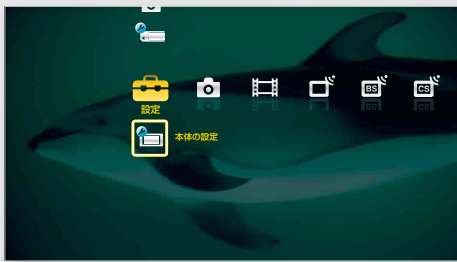
ゴーストの少ない映像にする

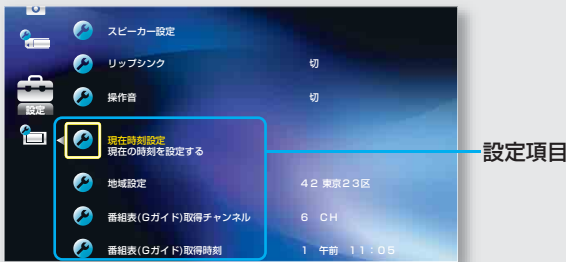
「GR設定」を選ぶ。

「入」を選ぶと、放送局から送信されるゴースト除去基準信号を感知し、建物や地形などによる電波反射で発生するゴーストを少なくするようにします。

準備9 地上アナログ放送の番組表（Gガイド）の設定をする

地上アナログの番組表（Gガイド）を表示するためには、このページの設定項目すべてを設定する必要があります。

1 ホーム を押す。

2 ←で「（設定）」を選ぶ。

3 ↑/↓で「（本体の設定）」を選んで、決定を押す。

4 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

準備6（☞35ページ）の手順1 ～ 16をすべて行ったときは、このページの設定は不要です。

現在時刻を設定する

「現在時刻設定」*1を選ぶ。

現在の「日にち」と、「時刻」を設定します。「ジャストクロック」で「入」を選ぶと、「利用チャンネル」で選ばれているチャンネルの時報を受信して、本機の内蔵時計の3分以内の誤差を自動で調整します。「利用チャンネル」はお住まいの地域のNHK教育テレビの受信チャンネルを選んでください。

↑/↓で設定したい項目を選んで決定を押し、↑/↓で設定を選んで決定を押します。

*1 本機でデジタル放送をご覧になるときは、自動で設定されます。

地域番号を設定する

「地域設定」を選ぶ。

引越しなどでお買い上げ時の初期設定で設定した地域番号を変更したいときに、地域番号を設定し直すことができます。地域番号を設定し直したときは、「地上アナログ自動設定」（☞38ページ）を行ってください。

Gガイドの情報を取得するチャンネルを設定する

「番組表（Gガイド）取得チャンネル」を選ぶ。

Gガイドの番組情報を取得するチャンネルを変更できます。ホスト局（☞70ページ）が正しく設定されているか、確認してください。

Gガイドの情報を取得する時刻を設定する

「番組表（Gガイド）取得時刻」を選ぶ。

Gガイドの番組情報を取得する時間を変更できます。
番組表の番組情報は、お住まいの地域によって取得時刻が異なります。誤った時刻を設定すると、番組情報を正しく受信できなくなりますので、放送局からのお知らせがない限り、時刻を変更しないでください。

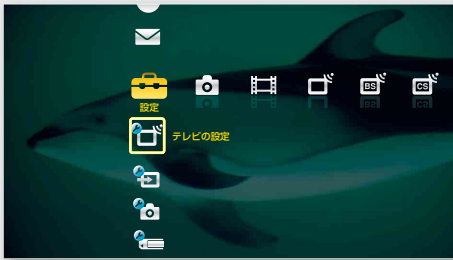
ご注意

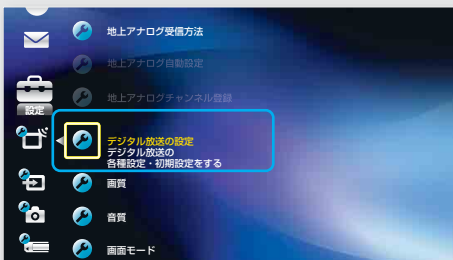
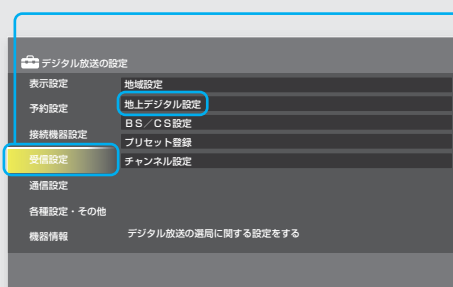
- 地上アナログの番組表（Gガイド）の情報取得には時間がかかることがあります（最大1日程度）。
- 地上アナログの番組表（Gガイド）を表示するためには、このページの設定を行った後に、「準備7：地上アナログ放送の設定をする」（☞38ページ）の「地上アナログ自動設定」を実行する必要があります。

設定

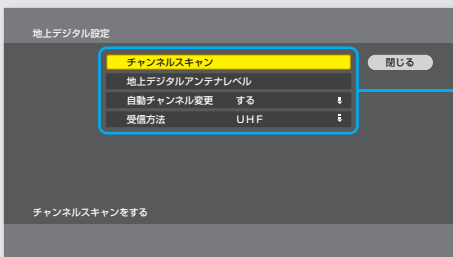
準備10 地上デジタル放送の設定をする

設定する前に、地上デジタルに切り換えてください。地上デジタルに切り換えるには、リモコンを開いて地上デジタルボタンを押します。

1 ホーム を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(テレビの設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↓で「デジタル放送の設定」を選んで、決定を押す。

「受信設定」を選んでから、「地上デジタル設定」を選ぶ。

5 ↓で「受信設定」を選んで、決定を押す。

6 ↓で「地上デジタル設定」を選んで、決定を押す。

設定項目

7 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

準備6（☞35ページ）の手順1～16をすべて行ったときは、このページの設定は不要です。

チャンネルを自動設定する

「チャンネルスキャン」を選ぶ。

初期スキャン：受信できるすべてのチャンネルをスキャンし、チャンネル番号(1)～(12)に自動的に設定します。
再スキャン：設定済みのチャンネルはそのままで、新しく受信できるチャンネルのみをスキャンして自動設定します。

地上デジタルのアンテナレベルを確認する

「地上デジタルアンテナレベル」を選ぶ。

受信中のアンテナレベルを確認できます。

受信中のアンテナレベル　最大値

放送局やチャンネルが増えたときに自動で受信できるようにする

「自動チャンネル変更」を選ぶ。

する：通常は「する」でお使いください。放送局やチャンネルが増えたときに自動で受信できるようになります。
しない：放送局やチャンネルが増えたとき、チャンネルスキャンすると受信できるようになります。

受信方法を設定する

「受信方法」を選ぶ。

UHF：地上デジタル対応のUHFアンテナをつないでいるときに選びます。
CATV：ケーブルテレビで地上デジタルが配信されているときに選びます。

ちょっと一言

「地上デジタルアンテナレベル」画面で「ビープ音」を「入」にすると、いちばん高い音程になるように音を聞きながらアンテナの向きを調整できます。

地上デジタル放送のチャンネル設定をする

デジタル放送では、地域ごとに特有の放送が行われる場合があります。お住まいの地域の放送を受信できるように、お買い上げ時の初期設定に加えて、郵便番号設定を行ってください。
設定する前に、地上デジタルに切り換えてください。

1 を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(テレビの設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↓で「デジタル放送の設定」を選んで、決定を押す。

5 ↓で「受信設定」を選んで、決定を押す。

6 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

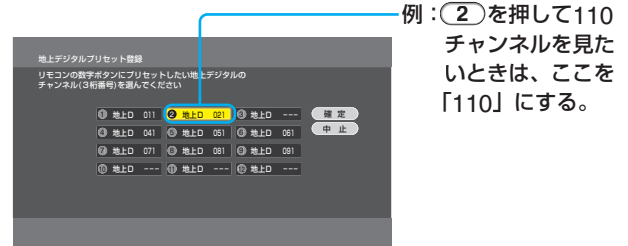
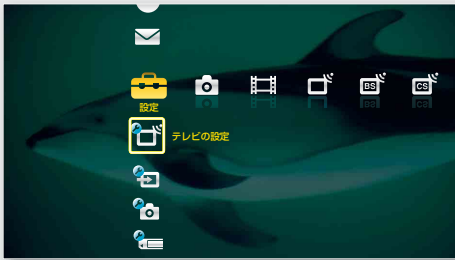
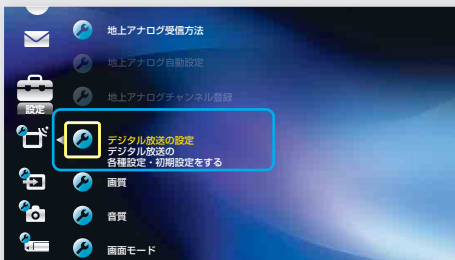
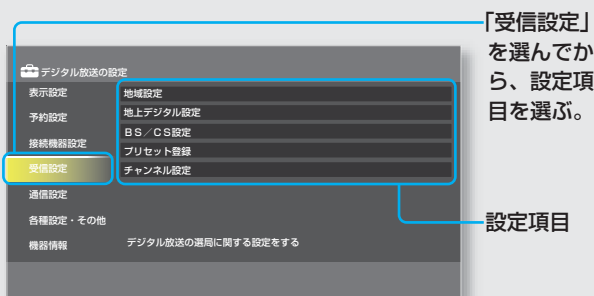
準備6（☞35ページ）の手順1 ～ 16をすべて行ったときは、このページの設定は不要です。（「地域設定」の「郵便番号設定」を除く。）

地域設定する

「地域設定」を選ぶ。

県域設定：お買い上げ時や、引越しなどでお住まいの地域が変わったときに設定します。
郵便番号設定：1～10までの数字ボタンでお住まいの地域の郵便番号3桁または7桁を入力します。

ワンタッチ選局できるチャンネルを変更する

「プリセット登録」→「地上デジタルプリセット登録」の順に選ぶ。

受信するチャンネルを設定できます。「－－－」に設定すると受信しません。また、リモコンの1～12ボタンを押して選局できるチャンネルを変更できます。↑/↓/←/→で変更したいチャンネルを選んで決定を押し、↑/↓で3桁チャンネル番号を変更します。

ご注意

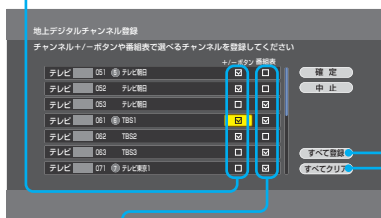
- 郵便番号を設定するときは、お住まいの地域の郵便番号を正しく入力してください。間違った郵便番号を入れると、お住まいの地域に密着した情報が受信できなかったり、お住まいでない地域の情報を誤って受信してしまいます。
- 県域設定を変更したときは、「チャンネルを自動設定する」（☞41ページ）で「初期スキャン」を行ってください。

チャンネル+/−ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する

「チャンネル設定」→「地上デジタルチャンネル登録」の順に選ぶ。

↑/↓/←/→でチェック欄を選んで決定を押すと、□に✓が付きます。✓を外すには、もう一度決定を押します。
✓を付けると、選べるようになります。

「+/−ボタン」チェック欄
✓をはずすと、チャンネル+/−ボタンでチャンネルをとばせます。

「すべて登録」
□のあるすべてのチャンネルに、✓が付く。

「番組表」チェック欄
✓をはずすと、番組表に表示されなくなります。

「すべてクリア」
すべての✓をはずす。

ご注意

「地上デジタルチャンネル登録」画面では、臨時チャンネルと非対応のチャンネルは選べません。

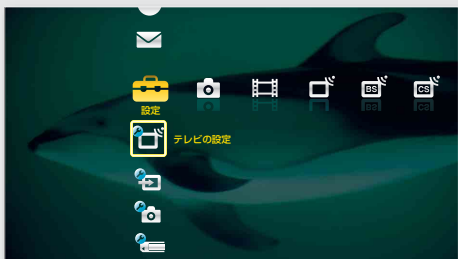
設定

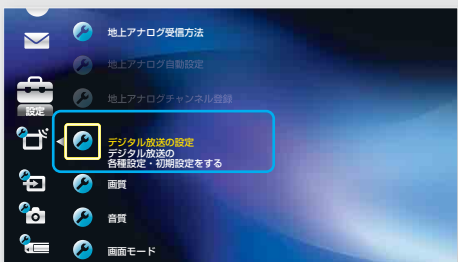
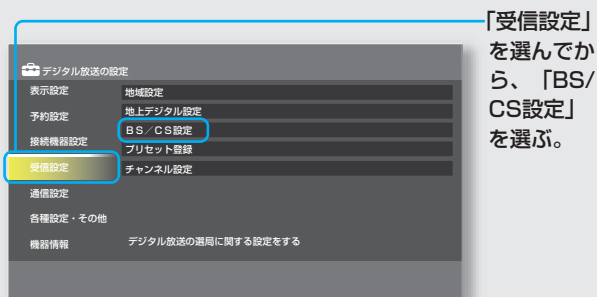
準備12 BS・110度CS放送の設定をする

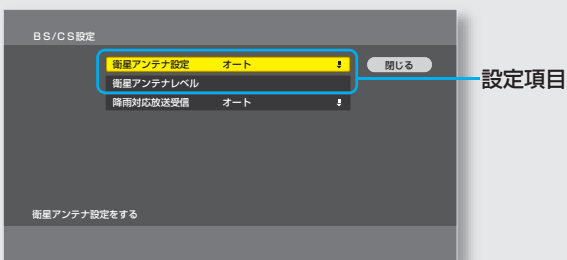
設定する前に、BSデジタルまたは110度CSデジタルに切り換えてください。

1

を押す。

2 ←で「（設定）」を選ぶ。

3 ↑/↓で「（テレビの設定）」を選んで、決定を押す。

4 ↓で「デジタル放送の設定」を選んで、決定を押す。

「受信設定」を選んでから、「BS/CS設定」を選ぶ。

5 ↓で「受信設定」を選んで、決定を押す。

6 ↓で「BS/CS設定」を選んで、決定を押す。

7 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

衛星アンテナ電源を設定する

「衛星アンテナ設定」を選ぶ。

衛星アンテナに電源を供給するかを設定します。

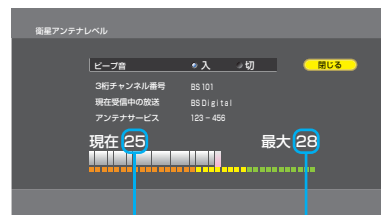
オート：本機の電源が入っているときに、本機が衛星アンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断します。本機の電源が切れているときは供給しません。

入：本機の電源が入っているときはつねに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。「オート」の設定でお使いのとき、BSデジタルが映ったり消えたりするときは「入」に設定してください。

切：電源を供給しません。マンションなどの共同受信システムのときは「切」に設定してください。

衛星アンテナの向きを調整する

「衛星アンテナレベル」を選ぶ。

アンテナレベルが、できるかぎり最大値に近くなるように、アンテナの向きを調整し固定します。

ご注意

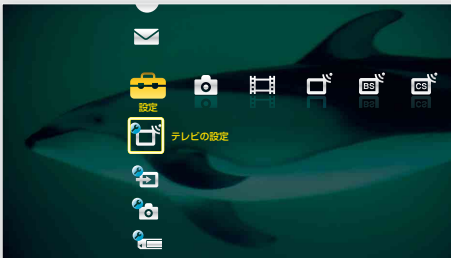
衛星アンテナの向きを調整する前に、「衛星アンテナ設定」が「オート」または「入」になっているか確認してください。「切」になっているときは、「オート」または「入」にしたあと、メディアレシーバーの電源スイッチで電源を入れ直してください。

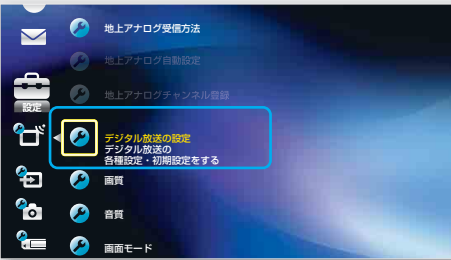
ちょっと一言

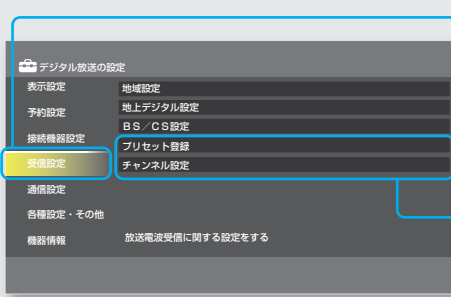
「衛星アンテナレベル」画面で「ビープ音」を「入」にすると、いちばん高い音程になるように音を聞きながらアンテナの向きを調整できます。

設定

準備13 BS・110度CS放送のチャンネル設定をする

設定する前に、BSデジタルまたは110度CSデジタルに切り換えてください。

1 を押す。

2 ←で「（設定）」を選ぶ。

3 ↑/↓で「（テレビの設定）」を選んで、決定を押す。

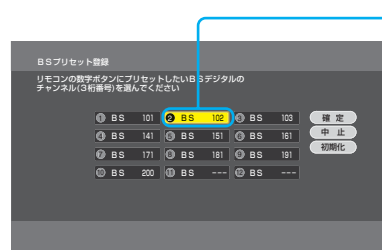
4 ↓で「デジタル放送の設定」を選んで、決定を押す。

5 ↓で「受信設定」を選んで、決定を押す。

6 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

ワンタッチ選局できるチャンネルを変更する

「プリセット登録」→「BSプリセット登録」または「CS1プリセット登録」、「CS2プリセット登録」の順に選ぶ。

受信するチャンネルを設定できます。「－－－」に設定すると受信しません。また、リモコンの1～12ボタンを押して選局できるチャンネルを変更できます。↑/↓/←/→で変更したいチャンネルを選んで決定を押し、↑/↓で3桁チャンネル番号を変更します。

「初期化」ボタンを選んで決定を押すと、BS/CS1/CS2すべての設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。

チャンネル＋/－ボタンや番組表で選べるチャンネルを変更する

「チャンネル設定」→「BSチャンネル登録」または「CS1チャンネル登録」、「CS2チャンネル登録」の順に選ぶ。

↑/↓/←/→でチェック欄を選んで決定を押すと、□に✓が付きます。✓をはずすには、もう一度決定を押します。

✓を付けると、選べるようになります。

ご注意

「チャンネル設定」で設定するときは、臨時チャンネルと非対応のチャンネルは選べません。

準備14

各放送局に視聴を申し込む

加入申し込みが必要な有料BSデジタル放送局と110度CSデジタル衛星サービス会社のカスタマーセンター（お問い合わせ先）一覧

BSデジタルの有料放送や110度CSデジタルを視聴するには、各局へ加入申し込みをして契約する必要があります。
加入申し込み方法はBSデジタル放送局や110度CSデジタル衛星サービス会社により異なります。詳しくは、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。
なお、無料放送でも登録が必要な場合があります。詳しくは、ご覧になりたい放送局へお問い合わせください。

2004年10月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BS・110度CSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号/ホームページアドレス
WOWOW*[1]	0120-580807 受付 9:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル*[2]	スター・チャンネル カスタマーセンター 03-5563-6777 受付 10:00 ～ 18:00 http://www.star-ch.co.jp/

*[1] テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。ラジオ放送（WOWOW wave：491、492ch）と独立データ放送（WOWOW navi：791、792ch）は無料放送です。
*[2] テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

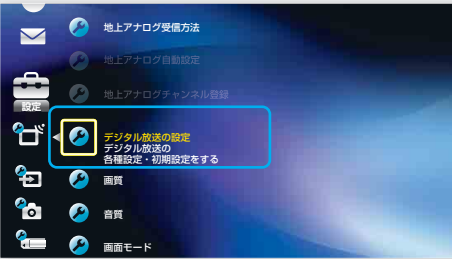
110度CSデジタル衛星サービス	お問い合わせ電話番号/ホームページアドレス
SKY PerfecTV!110（CS1・CS2）	0570-012-110 （または、045-339-0002） 受付 10:00 ～ 20:00 http://www.skyperfectv110.jp/

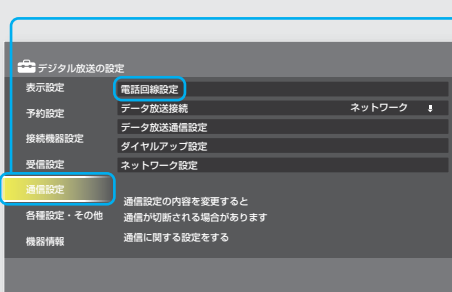
受信設定

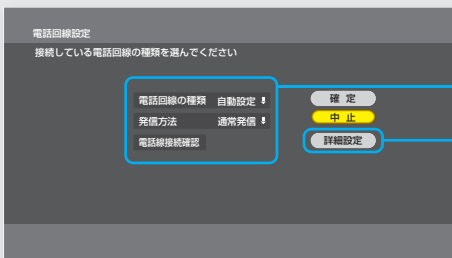
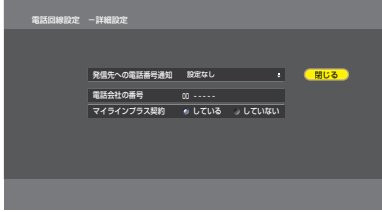
設定

準備15 電話回線を設定する

1 ホーム を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(テレビの設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↓で「デジタル放送の設定」を選んで、決定を押す。

5 ↓で「通信設定」を選んで、決定を押す。

6 ↓で「電話回線設定」を選んで、決定を押す。

7 ↑/↓/←/→で設定したい項目を選んで、決定を押す。

選ぶ項目	できること
電話回線の種類	**自動設定**:回線の種類を自動的に選びます。「自動設定」でうまく通信できないときは、「トーン」「10pps」または「20pps」を選んでください。ADSL回線を使っているときは「自動設定」を選んでください。 **トーン**:NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されているときや、ISDN回線を使っているときに選んでください。 **10pps/20pps**:NTTの料金明細書で「プッシュホン回線使用料」が請求されていないときに選んでください。
発信方法	**通常発信**:外線に電話するときに、相手の電話番号にそのままかけるときは、「通常発信」を選んでください。 **0発信/9発信**:外線に電話するときに、電話番号の頭に「0」(0発信)または「9」(9発信)を付けるときに選んでください。
電話線接続確認	電話線が正常に接続されているか確認できます。

受信設定

次のページにつづく⇨

電話回線を設定する（つづき）

選ぶ項目	できること
詳細設定	 **発信先への電話番号通知** **通知しない:** 電話番号の先頭に「184」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせない設定です。 **通知する:** 電話番号の先頭に「186」を付けます。相手先にこちらの電話番号を知らせる設定です。 **設定なし:** 電話番号の先頭に何も付けません。 **電話会社の番号:** 必要なときに設定してください。リモコンの(1)～(10)の数字ボタンで変更したい電話会社の番号の下2～5桁を入力して、(決定)を押してください。マイラインプラスの契約をしている場合は、「マイラインプラス契約」を「している」に設定してください。

受信設定

ご注意

- デジタル放送の放送局へ登録などができないときは、NTTに問い合わせて、「回線ごと非通知設定」を解除してください。
- 「電話線接続確認」は、本機と電話回線が物理的に接続されてやり取りできるかをテストするもので、テストがうまくいってもつながらないときは、再び「電話回線の種類」で「トーン」や「10pps」、「20pps」を正しく設定し直してください。
- データ放送によっては、マイラインプラスの契約どおりに通信できないことがあります。

準備完了？チェックリスト

取扱説明書の「準備1：B-CASカード（デジタル放送用ICカード）を挿入する」（☞26ページ）から「準備15：電話回線を設定する」（☞47ページ）を順番に行えば、テレビ放送を見ることができるようになります。
下記のチェックリストで、もう1度確認してください。それでもテレビが映らないときは、☞「操作・困ったときは編」の「困ったときは」をご覧ください。

テレビ放送がきちんと映るかどうかをチェック！

- ☐ 電源コードはつなぎましたか？ ☞34ページ
- ☐ メディアレシーバーの電源は入れましたか？ ☞35ページ

映像がきれいに映るかどうかをチェック！

地上アナログ放送を見たい

テレビ放送がきちんと映るかどうかをチェック！

- ☐ 地上波アンテナをつなぎましたか？ ☞27ページ

映像がきれいに映るかどうかをチェック！

- ☐ 地上アナログのチャンネルは設定しましたか？ ☞38～40ページ
- ☐ アンテナ線を他の電源コードや接続ケーブルから離していますか？ ☞27ページ

地上デジタル放送を見たい

テレビ放送がきちんと映るかどうかをチェック！

- ☐ 地上波アンテナをつなぎましたか？ ☞27ページ
- ☐ B-CASカードは入れましたか？ ☞26ページ

映像がきれいに映るかどうかをチェック！

- ☐ お使いのアンテナは地上デジタルに対応していますか？ ☞27ページ
- ☐ アンテナの受信状態は良好ですか？ ☞41ページ

BSデジタル放送・110度CSデジタル放送を見たい

テレビ放送がきちんと映るかどうかをチェック！

- ☐ B-CASカードは入れましたか？ ☞26ページ
- ☐ 放送局に視聴申し込みをしましたか？ ☞46ページ

映像がきれいに映るかどうかをチェック！

- ☐ お使いのアンテナはデジタル放送に適したアンテナですか？ ☞29ページ
- ☐ アンテナレベルは最大になっていますか？ ☞44ページ

デジタル放送のデータを楽しみたい

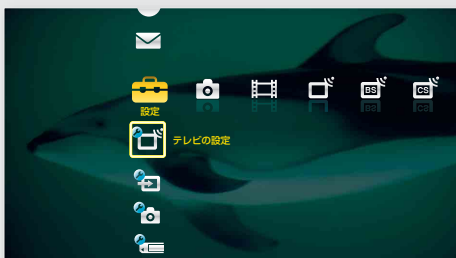
映像がきれいに映るかどうかをチェック！

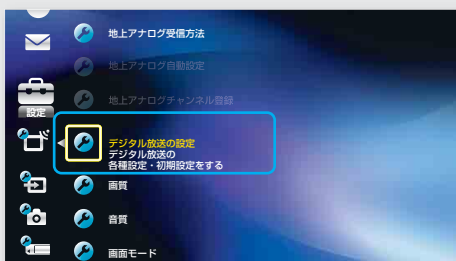
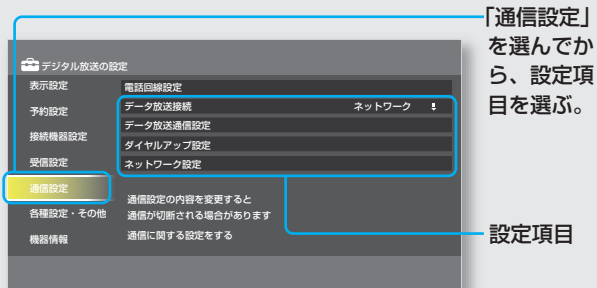
- ☐ 電話回線はつなぎましたか？ ☞31ページ
- ☐ 電話回線の設定はしましたか？ ☞47ページ

（青）：「テレビの接続」（☞26～34ページ）をご覧ください。
（緑）：「受信設定」（☞35～48ページ）をご覧ください。

設定

データ放送のためのネットワークを設定する

1 ホーム を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(テレビの設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↓で「デジタル放送の設定」を選んで、決定を押す。

5 ↓で「通信設定」を選んで、決定を押す。

6 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

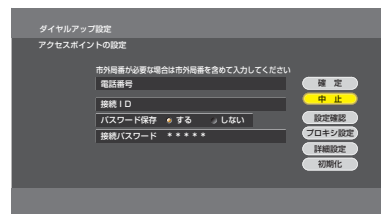
データ放送の接続方法を選ぶ

「データ放送接続」を選ぶ。

ダイヤルアップ：メディアレシーバー後面の電話回線端子でデータ放送と通信する設定です。下記の「ダイヤルアップを設定する」を行ってください。
ネットワーク：メディアレシーバー後面のLAN端子にADSLモデムやルーターをつないだときの設定です。「ネットワークを設定する」(☞51ページ)を行ってください。

ダイヤルアップを設定する

「ダイヤルアップ設定」を選ぶ。

インターネットプロバイダーからの資料などを参考に設定してください。

選ぶ項目	できること
電話番号	1～10の数字ボタンでアクセスポイントの電話番号を入力し、決定を押してください。
接続ID	ソフトウェアキーボードで接続ID名を入力してください。
パスワード保存	**する：**パスワードを保存します。「接続パスワード」欄にソフトウェアキーボードでパスワードを入力してください。 **しない：**接続のたびにパスワードを入力する必要があります。
設定確認	設定したアクセスポイントに正常に接続できるか確認します。実際に接続をしてみるので、電話料金がかかります。

ちょっと一言

- ソフトウェアキーボードを使用するときは、☞「操作・困ったときは編」の「番組表で見たい番組を探す」→「文字を入力する［ソフトウェアキーボード］」をご覧ください。
- DNSサーバーは、「ネームサーバー」、「プライマリDNSサーバー」、「プライマリネームサーバー」、「ドメインネームサーバー」ともいいます。

選ぶ項目	できること
プロキシ設定	インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときに設定します。 **プロキシサーバー使用：**インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは「する」に設定してください。 **プロキシサーバー：**ソフトウェアキーボードで、プロバイダー指定のプロキシサーバー名を入力してください。 **ポート**（1 ～ 65535）**：**1～10の数字ボタンで、プロバイダー指定のポート番号を入力してください。
詳細設定	必要に応じて詳細設定をしてください。 **無通信切断タイマー値：**通信の無い状態で何分たつと通信を切断するかを、1分～ 20分の間で設定できます。 **IPヘッダー圧縮** **する：**IPヘッダーを圧縮して転送効率を高くできます。 **しない：**IPヘッダーを圧縮しません。 **ソフトウェア圧縮** **する：**ソフトウェアによるデータを圧縮して転送効率を高くできます。 **しない：**ソフトウェアによるデータを圧縮しません。 **DNSサーバー（プライマリ）/（セカンダリ）：**プロバイダーからDNSサーバーの指定があるときは、1～10の数字ボタンで4つの枠に3桁の数値（0 ～ 255）を入力してください。
初期化	「ダイヤルアップ設定」のすべての項目をお買い上げ時の設定に戻します。

ネットワークを設定する

「ネットワーク設定」を選ぶ。

設定する項目は、状況によって異なります。インターネットプロバイダーからの資料などを参考に設定してください。

選ぶ項目	できること
IPアドレス取得方法	**DHCPを利用：**ルーターやプロバイダーのDHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）サーバー機能により、自動でネットワークの設定を割り当てます。 **固定IPアドレスを指定：**ルーターの使用状況にあわせた値やプロバイダーが指定する値があるときの設定です。手動でネットワークの設定を入力する必要があります。 ↑/↓で手動入力する項目を選んで決定を押し、1～10の数字ボタンで4つの枠に3桁の数値（0 ～ 255）を入力してください。 手動入力する項目は次のとおりです。 **IPアドレス：** **サブネットマスク：** **デフォルトゲートウェイ：** **DNSサーバー（プライマリ）/（セカンダリ）：** プロバイダーの指定の値を入力してください。
接続診断	ネットワークに正常に接続できるかの確認をします。
プロキシ設定	インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは、プロキシサーバーの設定をしてください。 **プロキシサーバー使用：**インターネットプロバイダーからプロキシサーバーの指定があるときは「する」に設定してください。 手動入力する項目は次のとおりです。 **プロキシサーバー** **ポート**（1 ～ 65535）

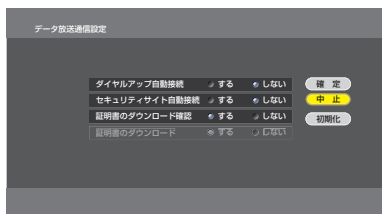
その他の設定

次のページにつづく⇨

データ放送のためのネットワークを設定する（つづき）

データ放送の通信設定をする

「データ放送通信設定」を選ぶ。

地上デジタルでデータ放送のコンテンツに入るときなどに、確認のダイアログを表示するかの設定ができます。

選ぶ項目	できること
ダイヤルアップ自動接続	**する**：放送用プロバイダーやインターネットサービスプロバイダーにダイヤルアップで接続するとき、ダイヤルアップ接続の確認ダイアログを表示しないで、自動接続します。 **しない**：ダイヤルアップ接続の確認ダイアログを表示します。
セキュリティサイト自動接続	**する**：セキュリティ保護されたサイトを表示しようとしたときや、セキュリティ保護されていないサイトへ移るとき、確認ダイアログを表示しないで、自動接続します。 **しない**：セキュリティサイト表示の確認ダイアログを表示します。
証明書のダウンロード確認	**する**：放送局から新しい証明書が発行されたとき、ダウンロードの確認ダイアログを表示します。 **しない**：ダウンロードの確認ダイアログを表示しません。
証明書のダウンロード	**する**：放送局から発行された新しい証明書を自動的にダウンロードします。 **しない**：放送局から新しい証明書が発行されても、ダウンロードしません。
初期化	データ放送の通信設定をお買い上げ時の設定に戻します。

セキュリティ証明書を見るには

1 **ホームボタンを押して、「（設定）」→「（テレビの設定）」→「デジタル放送の設定」→「機器情報」→「ルートCA証明書一覧」または「通信先証明書一覧」の順に選ぶ。**

2 **↑/↓で見たい証明書を選んで、決定を押す。**

証明書の詳細内容が表示されます。

ルートCA証明書のときは、↑/↓で「削除」を選んで決定を押すと、表示しているルートCA証明書を削除できます。また、一覧表示中に「全件削除」を選んで決定を押すと、すべてのルートCA証明書を削除できます。

ちょっと一言

- 通信先証明書はセキュリティサイトを表示しているときに見ることができます。セキュリティサイトを表示しているときは画面右下に🔒が表示されます。
- セキュリティサイトを表示中でも、証明書取得中は通信先証明書を表示できないことがあります。

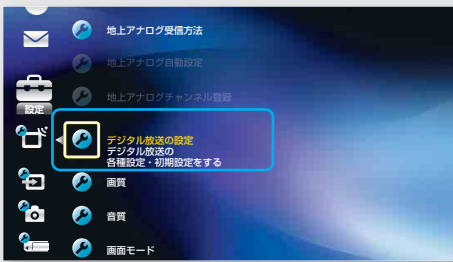
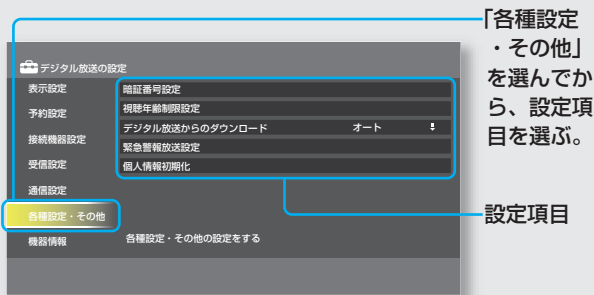
その他の設定

個人情報を設定・消去する

デジタル放送の視聴年齢制限付き番組を、暗証番号を入力しなければ視聴できないように設定できます。また、本機を廃棄したり譲渡したりするときに、個人的な情報を本機から消去できます。

1 ホーム を押す。

2 ←で「(設定)」を選ぶ。

3 ↑/↓で「(テレビの設定)」を選んで、決定を押す。

4 ↓で「デジタル放送の設定」を選んで、決定を押す。

5 ↓で「各種設定・その他」を選んで、決定を押す。

6 ↑/↓で設定したい項目を選んで、決定を押す。

暗証番号や視聴年齢制限を設定する

「暗証番号設定」を選ぶ。

暗証番号が未設定のとき：1～10までの数字ボタンで4桁の暗証番号を入力できます。暗証番号を間違えたときは←で戻り、入力し直してください。

暗証番号が設定済みのとき：暗証番号を変更できます。1～10までの数字ボタンで変更前の暗証番号を入力してから、新しい暗証番号を入力してください。

「視聴年齢制限設定」を選ぶ。

最初に暗証番号入力画面が表示されます。上の手順で設定した暗証番号を入力してください。

視聴するための年齢を設定しない：視聴年齢制限付き番組でも暗証番号を入力しないで、見ることができます。

視聴するための年齢を設定する：「年齢制限」に設定した年齢より上の視聴年齢制限付き番組をご覧になるときに、暗証番号の入力が必要になります。例えば15才以下に視聴させたくない番組のときは、「15才～」に設定してください。

年齢制限：4才～ 19才で設定できます。
すべての成人向け番組の視聴を制限するときは、「4才～」などの低い年齢に設定してください。

個人情報を消去する

「個人情報初期化」を選ぶ。

個人情報が消去され、自動的に電源が切れます。

消去できる内容

- データ放送で登録した個人情報やポイントなど
- 暗証番号･パスワードなどの登録情報
- 予約設定の情報
- 予約やペイ･パー･ビューなどの履歴情報
- メール
- 登録したブックマーク
- 登録発呼の登録･履歴情報
- 地上デジタルのチャンネル設定

ご注意

- **設定した暗証番号は、忘れないようにしてください。**視聴年齢制限付き番組を見るときに入力が必要です。
- 個人情報は項目ごとに消去することはできません。1度消去すると、すべての個人情報が消去されます。

ちょっと一言

設定した暗証番号を忘れてしまったときは、「個人情報を消去する」を行って、新しく設定し直すことができます。ただし、個人情報を消去すると、すべての個人情報が消去されてしまうので、ご注意ください。

本機で再生するための接続

接続する機器にHDMI出力端子がありますか？

いいえ ▶

はい ▼

メディアレシーバー後面

HDMI1、2入力端子へ

HDMIケーブル

HDMI出力端子へ

⟹：映像・音声信号の流れ

この接続を推奨する映像機器

デジタルハイビジョン対応機器や高画質録画·再生可能機器。

- **DVDプレーヤーなど**

接続する機器にD映像出力端子がありますか？

いいえ ▶

はい ▼

この接続を推奨する映像機器

デジタルハイビジョン対応機器や高画質録画·再生可能機器。

- **ブルーレイディスクレコーダー**
- **DVDプレーヤーなど**

本機はD4映像入力に対応しています。接続する機器のD映像出力も「D4」に設定してお使いください。接続する機器がD4映像出力に対応していない場合は、Dに続く数字の大きい方に設定してください（例：「D3」と「D1」に対応しているときは「D3」に設定する）。詳しくは、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

- HDMIケーブルはHDMIロゴがついているものをお使いください。
- HDMIケーブルでつないだ機器の映像がきれいに映らなかったり、音が出ないときは、つないだ機器側の設定を確認してください。

本機につないだ機器から、本機で映像と音声を再生するための接続です。接続する機器の映像出力端子によって接続のしかたが異なります。

接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

この接続を推奨する映像機器

デジタルハイビジョン対応機器や高画質録画·再生可能機器。

- **DVDプレーヤーなど**

この接続を推奨する映像機器

- **ビデオデッキ**
- **チャンネルサーバー**
- **DVDプレーヤー**
- **デジタルCSチューナー（SKY PerfecTV!）など**

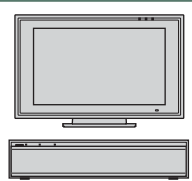
録画するための接続

本機と録画機器をつなげば、**デジタル放送を本機で録画予約できます。**地上アナログは、録画予約できません。

録画制限や著作権については、☞「操作・困ったときは編」の「録画制限と著作権保護について」をご覧ください。

お手持ちの録画機器がシンクロ録画機能に対応しているときは…

シンクロ録画機能で録画予約する

お手持ちの録画機器がシンクロ録画機能に対応していれば、本機でデジタル放送を録画予約して、アナログ録画できます。

シンクロ録画とは、本機で録画予約した信号が、録画機器の入力端子に入力されると、録画機器側で自動で録画を開始する機能です。

シンクロ録画機能があるDVDレコーダーやビデオデッキなどの録画機器の入力端子と、メディアレシーバーのデジタル放送/ビデオ出力端子をつないでください。

シンクロ録画に設定するには

ホームボタンを押して、「（設定）」→「（テレビの設定）」→「デジタル放送の設定」→「予約設定」→「録画方法」→「シンクロ録画」の順に選び、「シンクロ録画の開始時間設定」を設定する。

詳しくは、「録画予約をするための設定をする」（☞60ページ）をご覧ください。

ソニー製DVDレコーダー（スゴ録）は、シンクロ録画に対応しています。
RDR-HX10/RDR-HX8/RDR-HX6/RDR-GX7/RDR-GX5/RDR-VD60（2004年10月現在）

❶ テレビの録画予約が始まり、信号が出力される。

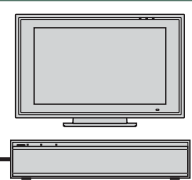
❷ 録画予約した信号が、録画機器に入力される。

❸ 録画機器が自動的に録画を開始する。

映像・音声コード（別売り）でつなぐ（☞58ページ）

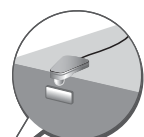
シンクロ録画機能がある録画機器

録画機器がシンクロ録画に対応しているかは、録画機器側の取扱説明書をご覧ください。

お手持ちの録画機器にシンクロ録画機能がないときは…

AVマウスを使って録画予約する

お手持ちの録画機器にシンクロ録画機能がなくても、AVマウスを使って、本機でデジタル放送を録画予約して、アナログ録画できます。

付属のAVマウスを使うと、本機で録画予約した情報を使って、録画機器をコントロールできるので、録画機器側で予約設定しなくてもよいので便利です。

AVマウスをメディアレシーバーにつないで録画機器に取り付けてください。

ご注意

AVマウスの接続テストがうまくいかなかったときや、AVマウスを使えないときは、AVマウスをつながないでください。

AVマウスに設定するには

ホームボタンを押して、「（設定）」→「（テレビの設定）」→「デジタル放送の設定」→「予約設定」→「録画方法」→「AVマウス」の順に選ぶ。

また、AVマウスの設定（☞61ページ）を行ってください。

❶ テレビの録画予約が始まり、リモコン信号が出力される。

❷ リモコン信号が、AVマウスから録画機器に送信される。

❸ 録画機器が自動的に録画を開始する。

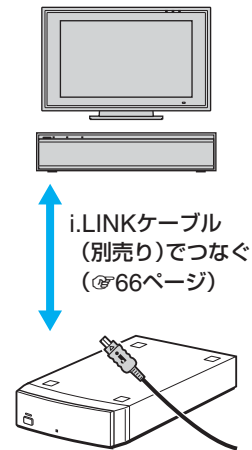
お手持ちの録画機器が本機のi.LINK録画機能に対応しているときは...

i.LINK機器で録画予約する	お手持ちの録画機器がi.LINK対応機器であれば、本機でデジタル放送を録画予約して、デジタル録画できます。

本機とハードディスクレコーダーやブルーレイディスクレコーダー、D-VHSビデオをi.LINKでつないで、デジタル放送を高画質･高音質でデジタル録画できます。

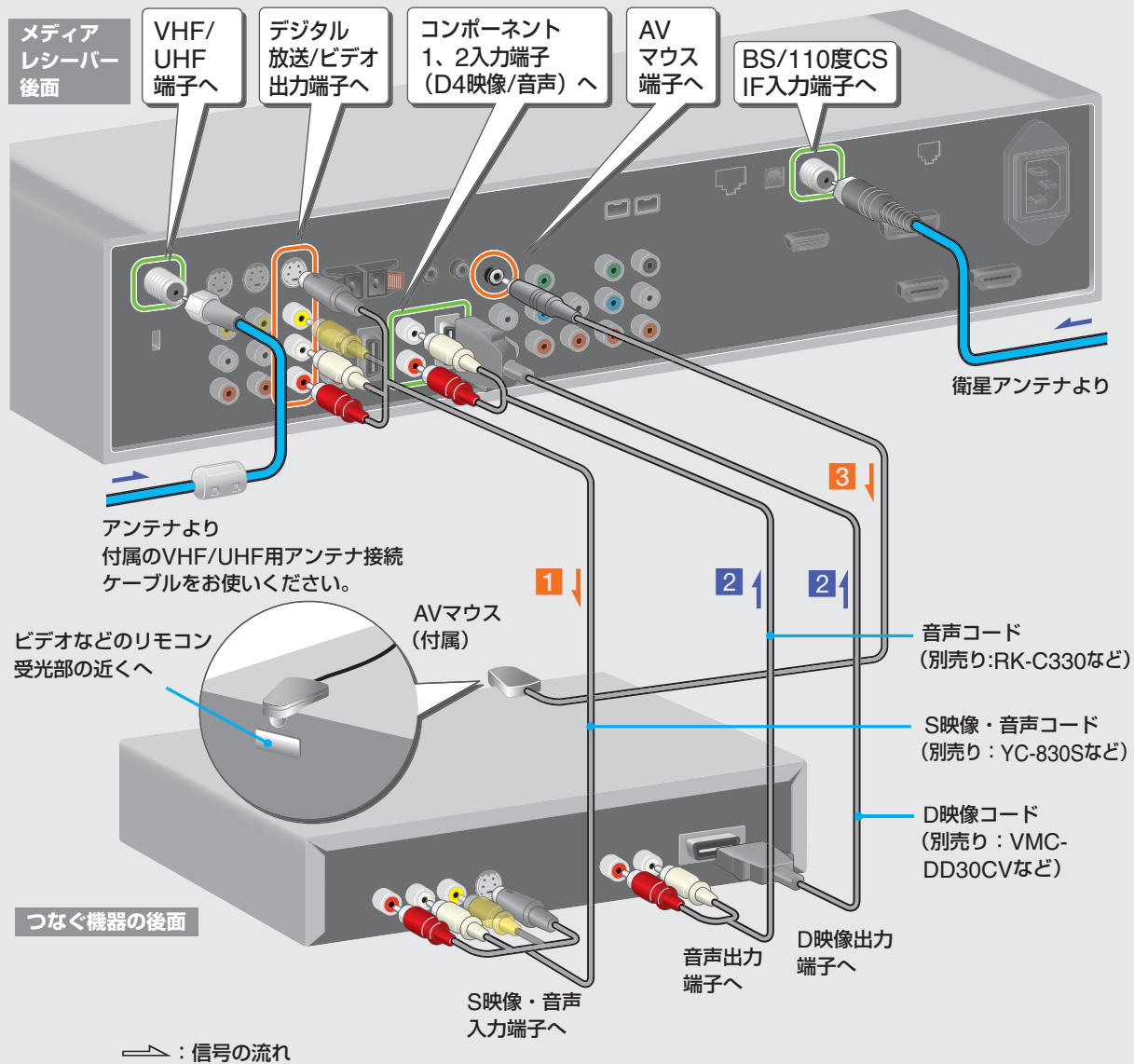
本機のi.LINK対応機種（2004年10月現在推奨機種）

- ソニー製のデジタルレコーディングドライブVRP-T1/VRP-T3/VRP-T5など
- ソニー製のブルーレイディスクレコーダー BDZ-S77（ソフトウェアアップグレードが必要です）
- 日本ビクター製デジタルハイビジョンビデオHM-DHX2/HM-DHS1/HM-DHX1/HM-DH35000（生産完了品）

i.LINKについて詳しくは、☞「操作･困ったときは編」をご覧ください。

次のページにつづく⇨

録画するための接続（つづき）

つなぐ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

本機の映像を録画するには

この接続を推奨する映像機器

- ビデオデッキ
- ブルーレイディスクレコーダー
- DVDレコーダー
- ハードディスクレコーダー

など

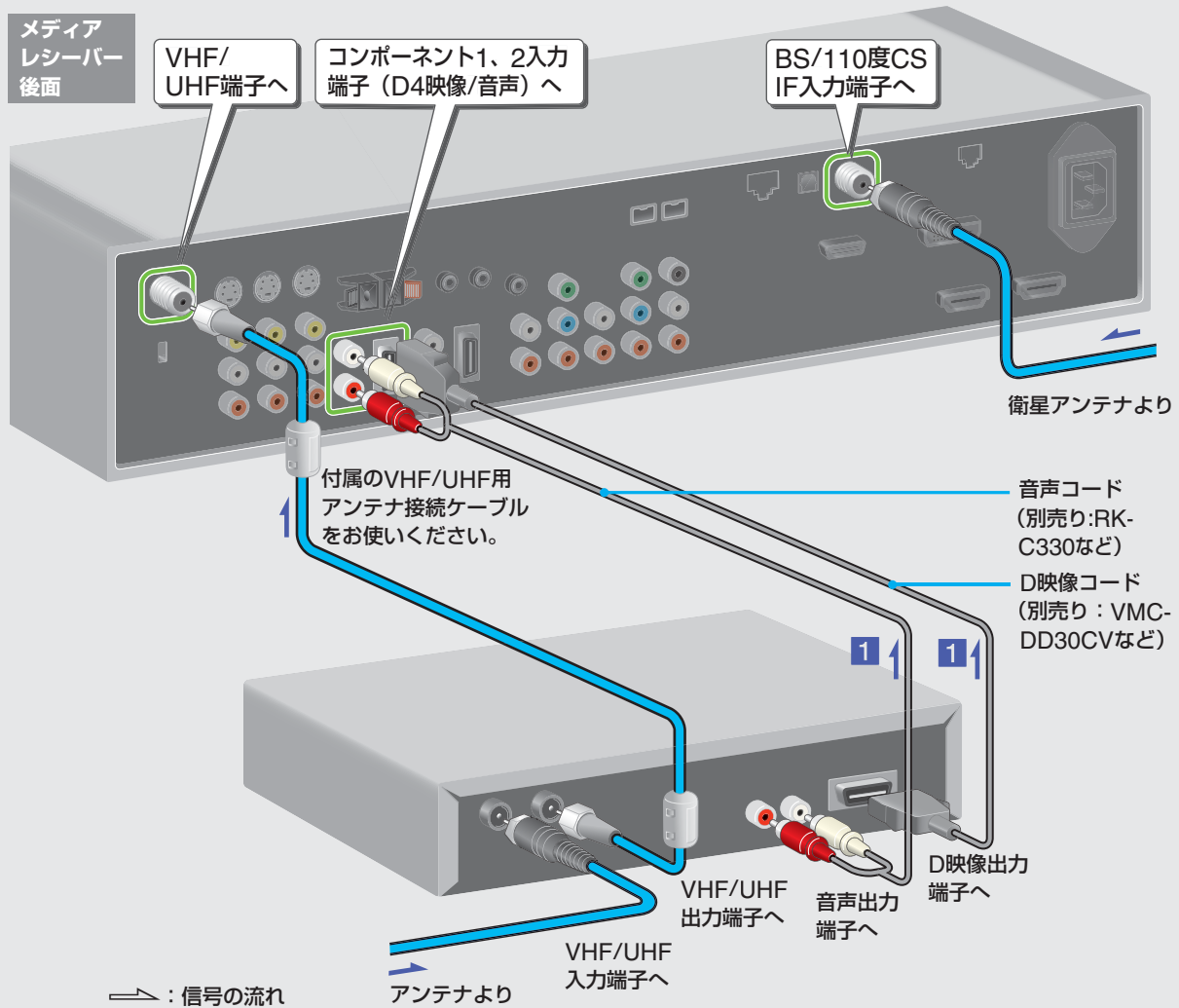
1 本機の映像を録画するための接続
デジタル放送のテレビ放送を録画（☞「操作·困ったときは編」の「録画予約する」）するための接続。

2 本機で再生するための接続
D映像端子がない録画機器のときは、「本機で再生するための接続」（☞54ページ）をご覧ください。

3 AVマウスを使ってデジタル放送を録画予約するための接続
デジタル放送のテレビ放送を、本機と連動して録画予約できます。AVマウスの設定も行ってください（☞61ページ）。シンクロ録画機能を使って録画予約するときはつながないでください。

つなぐ機器のチューナーを使って録画するためには

VHF/UHF出力端子がない録画機器のときは
別売りのアンテナ分配器で、本機と録画機器の両方にアンテナをつなぎます。

BS/CSデジタルチューナー内蔵の録画機器のときは
別売りのサテライト分配器で、本機と録画機器の両方に衛星アンテナをつなぎます。

この接続を推奨する映像機器

チューナーを内蔵している録画機器

1 本機で再生するための接続
D映像端子がない録画機器のときは、「本機で再生するための接続」（☞54ページ）をご覧ください。

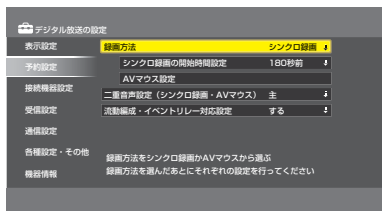
次のページにつづく ⇨

ご注意

衛星アンテナからビデオを経由して本機のBS/110度CS IF入力端子につながないでください。110度CSデジタルを受信できないことがあります。

録画するための接続（つづき）

録画予約をするための設定をする

ホームボタンを押して、「(設定)」→「(テレビの設定)」→「デジタル放送の設定」→「予約設定」の順に選ぶ。

選ぶ項目	できること
録画方法	**シンクロ録画**：本機後面のデジタル放送/ビデオ出力端子にシンクロ録画に対応した録画機器をつないでいるときに選びます。 シンクロ録画とは、外部入力端子に信号が入力されると自動的に録画を開始する機能です。 **AVマウス**：AVマウスをつないで録画予約するときに選びます。
シンクロ録画の開始時間設定	「録画方法」で「シンクロ録画」を選んだときに設定します。 録画機器によっては外部入力に信号が入力されてから録画開始までに時間がかかることがあるため、録画開始時刻よりも早く信号入力を始めるように設定できます。 「**30秒前**」/「**60秒前**」/「**90秒前**」/「**120秒前**」/「**180秒前**」/「**240秒前**」
AVマウス設定	「録画方法」で「AVマウス」を選んだときに設定します。「AVマウスを設定する」（☞61ページ）をご覧ください。
二重音声設定（シンクロ録画・AVマウス）	メディアレシーバー後面のデジタル放送/ビデオ出力端子から出力される音声はここで選んだ音声に固定されます。設定を変更しないかぎり、すべての二重音声番組が選んだ音声で録画されます。

選ぶ項目	できること
流動編成・イベントリレー対応設定	**する**：予約した番組に次のような変更があったとき、放送局が送信する放映時刻情報を本機が検知して、その変更に合わせて予約が実行されるように設定できます。 ● 開始時刻がくり下がったとき 例：野球の延長などで開始時刻がくり下がったとき ● 放送中に中断や割込みがあったとき ● 放送時間内に終わらず、引き続き他のチャンネルで放送するとき（イベントリレー） **しない**：番組編成に変更があったときは、予約が取り消されることがあります。

ご注意

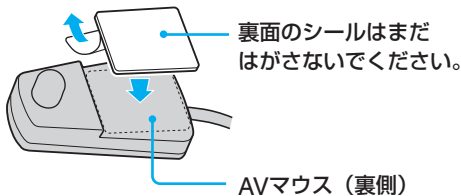
- 次のようなときは、流動編成に対応しません。
  - 放送局が放映時刻情報を送信しない番組のとき
  - 予約した番組が予定より早く始まったとき（早まった時間は、録画されません。）
- 「録画方法」で「シンクロ録画」を選ぶと、シンクロ録画予約中のみデジタル放送/ビデオ出力端子から映像/音声が出力されます。

AVマウスを設定する

AVマウスから発信される信号を、お手持ちのビデオやDVDレコーダー、ハードディスクレコーダーなどのリモコンコードに合わせて設定します。

1 AVマウスを準備する。

1 AVマウスに付属のシールを貼る。

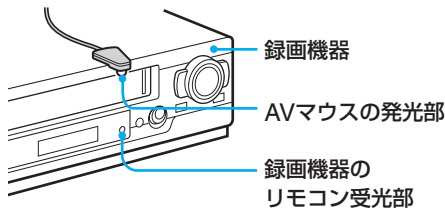
AVマウスに付属のシールのかわりに、市販の両面テープも使えます。

2 AVマウスをメディアレシーバー後面のAVマウス端子につなぐ。

接続のしかたについて詳しくは、☞58ページをご覧ください。

3 AVマウスの取り付け予定位置を決める。

録画機器の取扱説明書で録画機器のリモコン受光部位置を確認し、受光部の真上にAVマウスを置きます。

ご注意

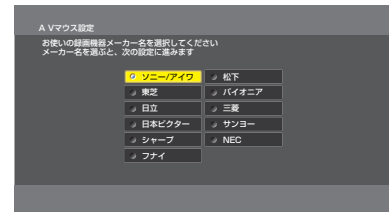
- AVマウス裏面のシールは、まだはがさないでください。
- 取り付け位置によっては、動作しにくい録画機器があります。できるだけ受光部に近い位置に取り付けてください。

4 録画機器の電源を切っておく。

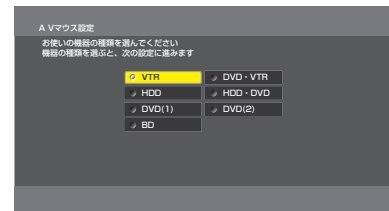
2 リモコンコードを設定する。

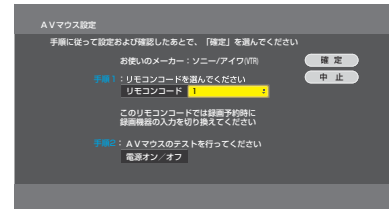
1 ホームボタンを押して、「🧰(設定)」→「📺(テレビの設定)」→「デジタル放送の設定」→「予約設定」→「AVマウス設定」の順に選ぶ。

「AVマウス設定」画面が表示されます。

2 ↑/↓/←/→でお使いの録画機器のメーカー名を選んで、(決定)を押す。

「ソニー/アイワ」または「松下」、「東芝」、「日本ビクター」以外のメーカーを選んだときは、手順2-4に進んでください。

3 ↑/↓/←/→でお使いの録画機器の種類（☞63ページ）を選んで、(決定)を押す。

例:「ソニー /アイワ」を選んだとき

4 ←で「リモコンコード」欄を選んで、(決定)を押す。

例: ソニー製のビデオを選んだとき

次のページにつづく ⇨

ご注意

次のときはAVマウスは使えません。お手持ちの録画機器の予約機能を使って録画予約してください（☞「操作·困ったときは編」の「録画予約する」）。

－ ビデオ一体型テレビ（テレビデオやビデオコンボなど）のとき
－ AVマウスのリモコンコードで録画機器が操作できないとき（メーカーによっては、本機で操作できないリモコン信号が採用されているためです。）
－ 電源スイッチが入/切の2つの状態切換でなく、入/スタンバイ/切など3つの状態切換になる録画機器のとき

録画するための接続（つづき）

5 ↑/↓でリモコンコードを選んで、決定を押す。

「ソニー(VTR)」を登録するときと、「ソニー/アイワ」以外のメーカーの録画機器を登録するときは、手順4に進んでください。

3 録画機器の入力を設定する。

手順2-2で「ソニー/アイワ」を選び、手順2-3で「HDD」または「HDD･DVD」、「DVD(1)」、「BD」を選んだときのみ設定します。

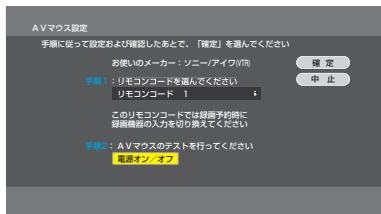
1 ↑/↓で「入力」を選んで、決定を押す。

2 ↑/↓で「入力1」～「入力3」*1のいずれかを選んで、決定を押す。

本機をつないだ入力を選んでください。録画予約開始時に自動的に入力も切り換わります。

*1 手順2-3で「HDD･DVD」または「BD」を選んだときは、「入力3」は表示されません。

4 動作テストをする。

1 ↑/↓で「電源オン／オフ」を選んで、決定を押す。

AVマウスの動作テストが始まります。録画機器の電源が自動的に入れば、テストは完了です。手順4-3に進んでください。電源が入らないときは、手順1-3でAVマウスの位置を再確認してから、もう1度手順4-1を行ってください。

2 ビデオにリモコンコードが2個以上あるときは、手順2-4～4-1をくり返して、録画機器を操作できるまで、リモコンコードの設定を変えてテストする。

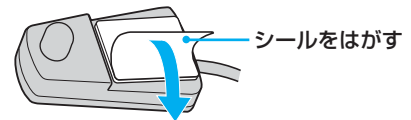
3 「電源オン／オフ」が選ばれていることを確認して、決定を押す。

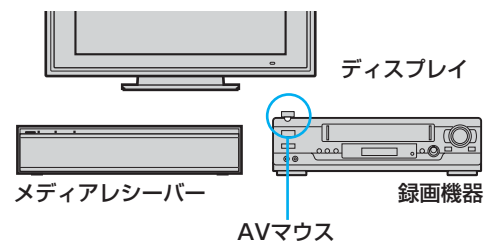
録画機器の電源が切れます。

4 →で「確定」を選んで、決定を押す。

5 戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。

5 AVマウスを固定する。

1 動作テストが終わったら、AVマウスの裏面のシールをはがす。

2 手順1-3で決めた取り付け予定位置にAVマウスを固定する。

無料番組などで録画予約できる(☞「操作･困ったときは編」の「録画予約する」)ことを、もう1度確かめてから、使うことをおすすめします。

ちょっと一言

AVマウスが録画機器に届かないときは、別売りの接続コード RK-G131(3m)で延長してください。

ご注意

- リモコンの受光感度の低い録画機器によっては、AVマウスでの録画予約(☞「操作･困ったときは編」の「録画予約する」)がうまくいかないことがあります。その場合には、AVマウスの取付位置を変えてみてください。
- お使いの録画機器によってはリモコンコードが設定できないことがあります。

録画機器の種類

手順2-3で選ぶ録画機器の種類は以下のものがあります。

お手持ちの録画機器	項目
ビデオ	VTR
DVD一体型ビデオ	DVD・VTR*1
ハードディスクレコーダー	HDD*1
ハードディスクレコーダー･DVDレコーダー複合機*2、DVDレコーダー	HDD・DVD DVD(1)*1 DVD(2)*1
ブルーレイディスクレコーダー	BD*1

*1 手順2-2で「ソニー/アイワ」を選んだときのみ表示されます。
*2 ソニー製HDD搭載DVDレコーダー(スゴ録)をAVマウスで設定するときは、「DVD(1)」を選んでください。
RDR-HX10/RDR-HX8/RDR-HX6(2004年10月現在)

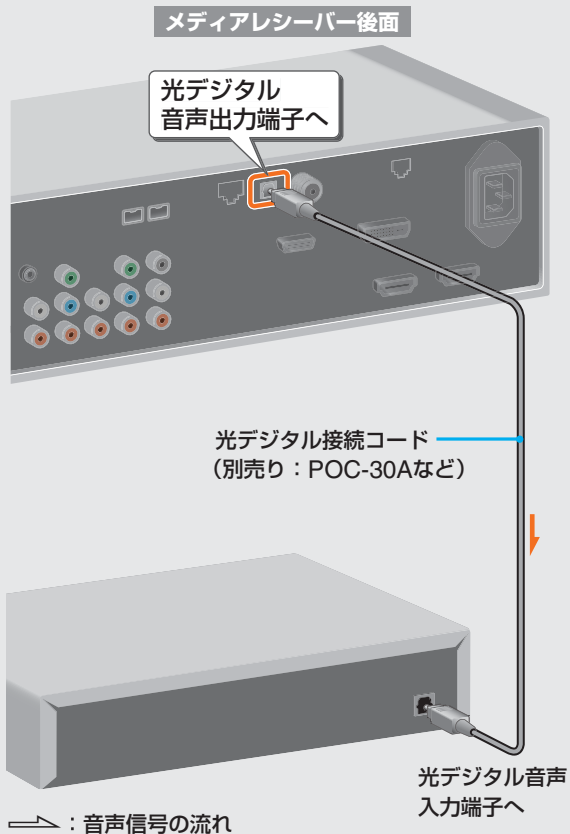
録画予約の前に行っておくこと

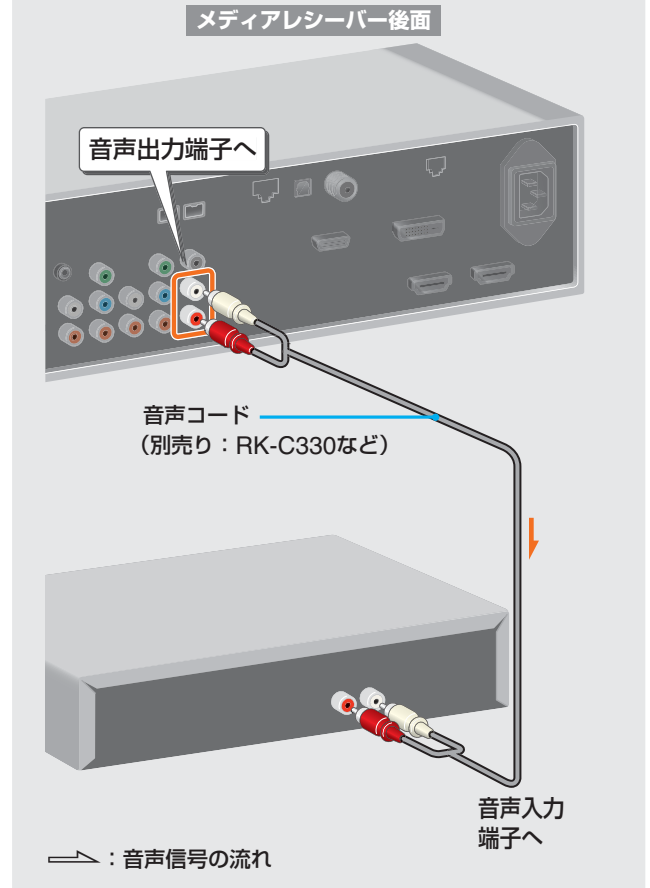
- 手順3の設定ができない機器は、録画機器側で「入力」をあらかじめ切り換えておいてください。
- 録画機器の電源は切っておいてください。
- 複合機のときは、DVDまたはHDDのうち、録画したい方を録画機器側で選んでおいてください。

オーディオ機器をつなぐ

光デジタル入力対応のオーディオ機器をつなぐとき

光デジタル音声入力端子を持つAVアンプや、**サンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキ**などをつなぎます。
センタースピーカーのかわりに本機のスピーカーでセンター音声を聞くときは「スピーカーシステムをつなぐ」(☞65ページ)を行ってください。

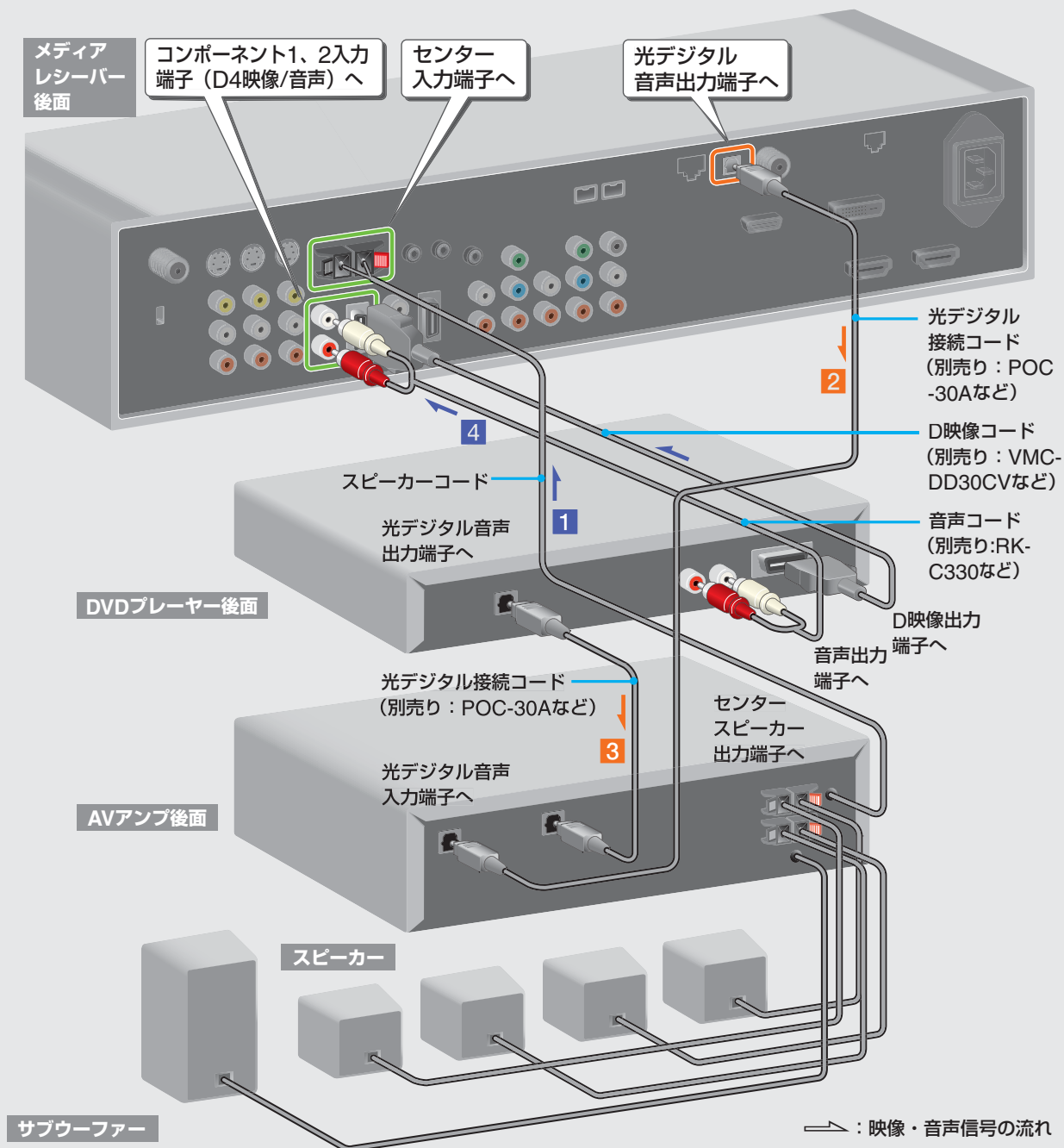
つなぐオーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

その他のオーディオ機器(2ch入力対応)をつなぐとき

オーディオ機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ご注意

- 「PCM」に設定されているときは、二重音声番組では、「二重音声設定(シンクロ録画･AVマウス)」(☞60ページ)で設定した音声が出力されます。
- 第2音声など音声信号が複数ある番組の録画実行中は、i.LINKでデジタル録画予約したとき(☞「操作･困ったときは編」の「録画予約する」)は、第1音声が出力されます。
  AVマウスで録画予約したとき(☞「操作･困ったときは編」の「録画予約する」)は、予約時に設定した音声が出力されます。
- メディアレシーバー前面のヘッドホン端子にヘッドホンをつなぐと、音声出力端子からの音声信号が出力されなくなります。2画面で「ヘッドホンモード2」にしているときはスピーカーから聞こえている音声が出力されます。音声出力端子にカセットデッキなど録音機器をつないでいるときは、ご注意ください。ヘッドホンモードについて詳しくは、☞「操作･困ったときは編」の「2画面で楽しむ」をご覧ください。

スピーカーシステムをつなぐ

TVセンタースピーカーにAVアンプをつなぐ

AVアンプのセンタースピーカー出力を、本機のセンター入力端子につないで、本機のスピーカーでセンター音声を楽しむための接続です。

1. AVアンプから出力されるセンター音声を本機のスピーカーで聞くための接続。
2. 放送の音声をAVアンプに入力するための接続。
3. DVDプレーヤーなどの音声をAVアンプに入力するための接続。
4. DVDプレーヤーなどの音声を本機で聞くための接続。
   この接続をしないと、TVセンタースピーカーを使わないときに、本機のスピーカーから音声が聞こえなくなります。

本機とDVDプレーヤーなどの接続について詳しくは、「本機で再生するための接続」（☞54ページ）をご覧ください。

ご注意

- 必ずAVアンプの電源を切った状態でつないでください。
- センター入力端子に180W（6Ω）以上は入力しないでください。
- AAC対応のAVアンプのときは、デジタル放送の音声を5.1chで楽しめます。

i.LINK(アイリンク)機器をつなぐ

接続対象機器

ハードディスクレコーダー

2004年10月現在推奨機種
デジタル レコーディング ハードディスクドライブVRP-T1/VRP-T3/VRP-T5など

D-VHS

2004年10月現在推奨機種

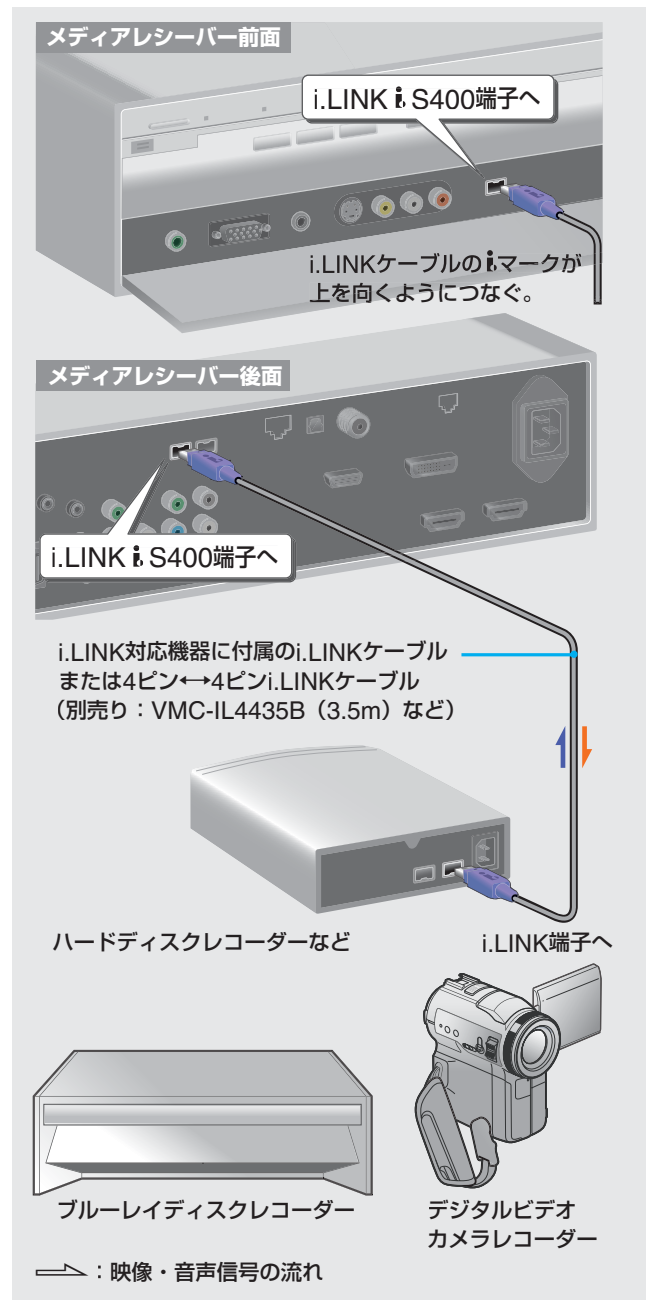
- 日本ビクター製デジタルハイビジョンビデオ HM-DHX2、HM-DHX1、HM-DHS1
- 日本ビクター製デジタルハイビジョンビデオ HM-DH35000(生産完了品)

  この製品に関するお問い合わせ
  日本ビクター株式会社
  お客様ご相談センター
  TEL. 0120-282-817(フリーダイヤル)
  携帯電話やPHSなどから
  東京:TEL. 03-5684-9311
  大阪:TEL. 06-6765-4161
  受付時間:月～金曜日 9:00 ～ 17:00(祝祭日を除く)

デジタルビデオカメラレコーダー

- ソニー製のMICROMV方式デジタルビデオカメラレコーダー
- ソニー製DV方式デジタルビデオカメラレコーダー
- ソニー製DVデッキ
- HDV規格対応デジタルビデオカメラレコーダー

ブルーレイディスクレコーダー

- ソニー製ブルーレイディスクレコーダーBDZ-S77(ソフトウェアアップグレードが必要です。)

ご注意

- ソニー製D-VHSビデオデッキSLD-DC1は、本機のi.LINK操作パネルで操作できますが、デジタルハイビジョン信号HDは録画できません。
- ソニー製デジタルビデオカメラレコーダー DCR-VX1000はお使いになれません。
- 接続対象機器以外の機器の動作は保証していません。
- i.LINK端子からは、受信中のデジタル放送のデジタル信号が出力されます。(地上アナログや本機につないだビデオやDVDの映像などは出力されません。)

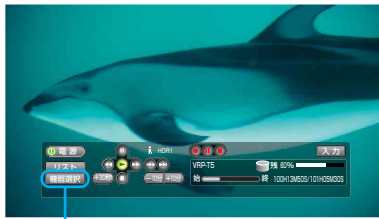
i.LINK対応機器の設定をする

本機にi.LINK機器をつなぐと、機器の情報を認識し接続機器のリストに、自動的に最大62台まで記録されます。また、i.LINK機器のLINCを一時的に解除することもできます。

1 **ホームボタンを押して、「(外部入力)」を選び、i.LINK機器のいずれかを選んで、決定を押す。**

i.LINK操作パネルが表示されます。

2 **↑/↓/←/→で「機器選択」ボタンを選んで、決定を押す。**

「接続機器選択」画面が表示されます。

機器選択ボタン

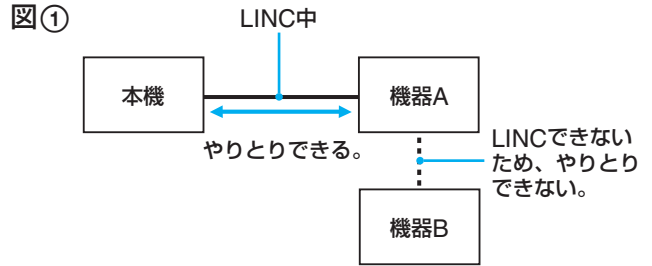
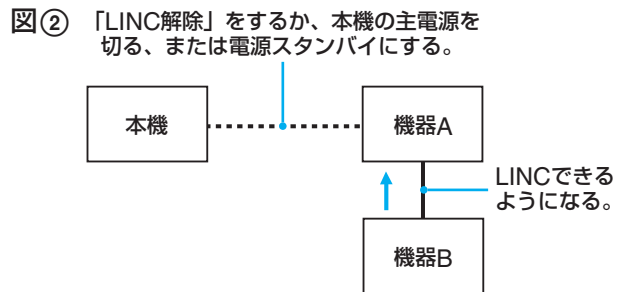
A **i.LINK対応機器の登録状況**
- ：現在LINC中のi.LINK対応機器
- ：録画予約されているi.LINK対応機器

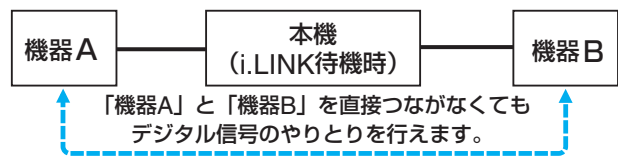
B **i.LINK対応機器の登録名/メーカー名/製品名**
i.LINK対応機器の登録名とは、つないだ機器の登録名として、本機が決めた名前です。接続機器の右の数字は、同じHDRやD-VHS、BD、CAM、OTHERの中で何番目につないだ機器かを示します。HDR、D-VHS、BD、CAM、OTHERの順に表示します。

C **「LINC解除」ボタン**
LINC中のi.LINK対応機器をいったん解除します(右記)。

D **「閉じる」ボタン**
「接続機器選択」画面を閉じます。

LINC解除について

下の図①で、本機とLINC中の「機器A」は、本機とだけデジタル信号のやりとりができます。

「機器B」が「機器A」とやりとりする(図②)ためには、本機と「機器A」間のLINCを解除する必要があります。

電源スタンバイ時に本機を中継してデジタル信号のやりとりをするには［i.LINK待機設定］

本機の電源スタンバイ時(メディアレシーバー前面のスタンバイ/オフタイマーランプが赤色に点灯)でも、デジタル信号のやりとりを行えるように設定できます。

1 **ホームボタンを押して、「(設定)」→「(テレビの設定)」→「デジタル放送の設定」→「接続機器設定」→「i.LINK待機設定」の順に選ぶ。**

2 **↑/↓で「する」を選んで、決定を押す。**

する： 本機が電源スタンバイ時でも、本機を中継してデジタル信号をやりとりできます。「しない」設定よりも、電源スタンバイ時の消費電力が上がります。

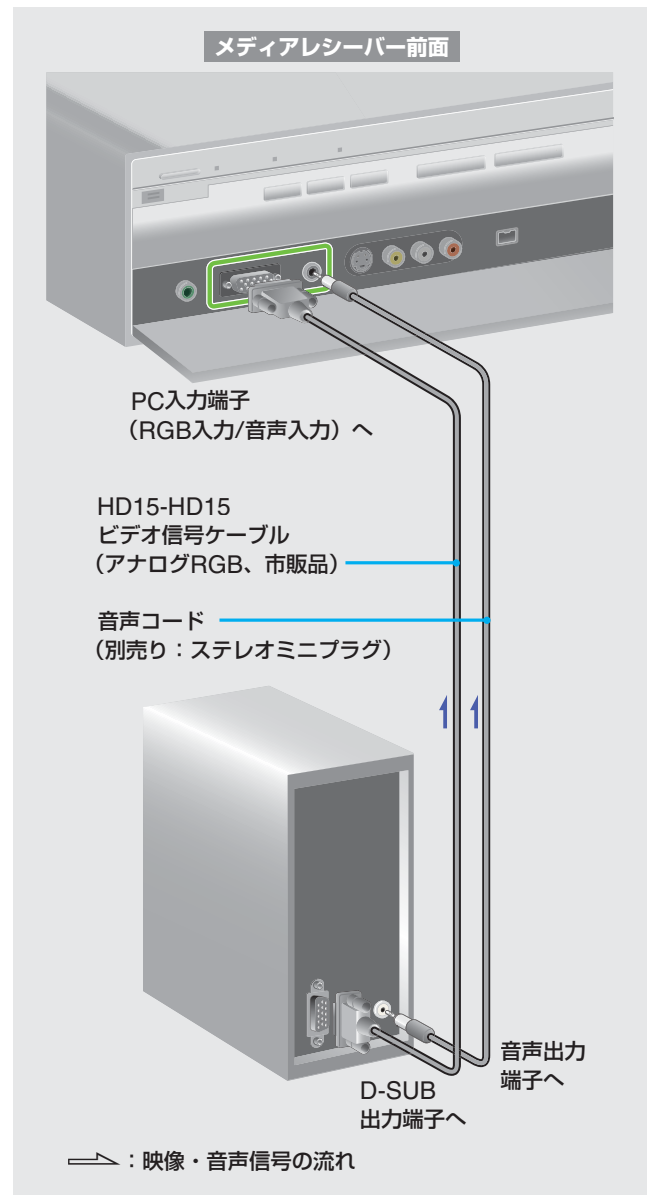
しない： 本機が電源スタンバイ時は、本機を中継してデジタル信号をやりとりできません。

3 **戻るボタンをくり返し押して、設定画面を消す。**

パーソナルコンピューターをつなぐ

本機を別売りのビデオ信号ケーブルでパソコンにつなぐと、本機の大画面にパソコンの画面を映し出すことができます。また、別売りの音声コードをつなぐと、本機のスピーカーでパソコンの音声を楽しめます。

Macintoshコンピューターにつなぐときは

コンピューターの出力端子につなぎます。また、必要に応じて市販のアダプターをお使いください。アダプターは、先にコンピューターに差し込んでから、ビデオ信号ケーブルにつなぎます。

Gガイドについて

Gガイドシステムについて

本機の番組表機能にはGガイドシステムを採用しています。Gガイドシステムでは、特定の放送局（ホスト局）が地上波テレビ放送を利用して番組表データを配信します。本機は番組表データを1日数回受信し、テレビ画面に表示します。
ホスト局からの放送を受信できる地域にお住まいの場合は、設定を行うだけで、この番組情報サービスを無料にてご利用いただけます。Gガイドの番組情報を利用しているときにGGマークが表示されます。

Gガイドシステムのサービス提供について

Gガイドシステムのサービスは（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドが主体となって提供されています。番組表データを配信する（株）インタラクティブ・プログラム・ガイドと放送局（ホスト局）の都合により、データが送信されない場合があります。

Gガイドのサービス地域について

Gガイドシステムを利用した番組表データは、次の放送局より送信されています（2004年10月予定）。

- 北海道地域—北海道放送（HBC）
- 東北地域—青森テレビ（ATV）、秋田テレビ（AKT）、岩手放送（IBC）、テレビユー山形（TUY）、東北放送（TBC）、テレビユー福島（TUF）
- 関東地域—東京放送（TBS）
- 中部地域—新潟放送（BSN）、信越放送（SBC）、静岡放送（SBS）、中部日本放送（CBC）、テレビ山梨（UTY）、チューリップテレビ（TUT）、北陸放送（MRO）、福井テレビ（FTB）
- 近畿地域—毎日放送（MBS）
- 中国・四国地域—山陽放送（RSK）、中国放送（RCC）、テレビ山口（TYS）、山陰放送（BSS）、あいテレビ（ITV）、テレビ高知（KUTV）
- 九州・沖縄地域— RKB毎日放送（RKB）、長崎放送（NBC）、大分放送（OBS）、熊本放送（RKK）、宮崎放送（MRT）、南日本放送（MBC）、琉球放送（RBC）

次のページにつづく ⇨

ご注意

- お住まいの地域や電波状況によっては、ご利用いただけない場合があります。
- 当社はGガイドシステムを利用した番組表のサービス内容に関与していません。

ガイドチャンネル一覧

Gガイド地域番号・放送局表

「•」の付いている放送局(ホスト局)から番組表のデータが送信されています(2004年10月予定)。

表の中の文字の見かた

現在お住まいの地域

札幌(江別) 001

地域番号
「準備6:お買い上げ時の初期設定をする」の手順2(☞35ページ)で選択する番号

例: 本機を3チャンネルにすると、NHK総合(識別番号336)が映る

0336 → 3 (NHK総合)

放送局名

ガイドチャンネル
Gガイドのための放送局の識別番号

受信チャンネル
画面に映るチャンネル(一般的に「チャンネル」と呼ばれているのはこの表示チャンネルです)

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと受信チャンネル(放送局名は略称を使用しています)	
北海道	札幌(江別)	001	0336→3 (NHK総合) 0257→1 (HBC)• 0291→35 (HTB) 0273→17 (TVh)	0346→12 (NHK教育) 0261→5 (STV) 0283→27 (UHB)
	小樽	002	0336→11 (NHK総合) 0257→9 (HBC)• 0291→4 (HTB) 0273→24 (TVh)	0346→2 (NHK教育) 0261→7 (STV) 0283→26 (UHB)
	旭川	003	0336→9 (NHK総合) 0257→11 (HBC)• 0291→39 (HTB) 0273→33 (TVh)	0346→2 (NHK教育) 0261→7 (STV) 0283→37 (UHB)
	名寄	004	0336→4 (NHK総合) 0257→10 (HBC)• 0291→24 (HTB) 0273→33 (TVh)	0346→12 (NHK教育) 0261→6 (STV) 0283→26 (UHB)
	稚内	005	0336→28 (NHK総合) 0257→10 (HBC)• 0291→24 (HTB) 0273→33 (TVh)	0346→30 (NHK教育) 0261→22 (STV) 0283→26 (UHB)
	室蘭	006	0336→9 (NHK総合) 0257→11 (HBC)• 0291→39 (HTB) 0273→29 (TVh)	0346→2 (NHK教育) 0261→7 (STV) 0283→37 (UHB)
	苫小牧	007	0336→51 (NHK総合) 0257→55 (HBC)• 0291→61 (HTB) 0273→47 (TVh)	0346→49 (NHK教育) 0261→57 (STV) 0283→53 (UHB)
	函館	008	0336→4 (NHK総合) 0257→6 (HBC)• 0291→35 (HTB) 0273→21 (TVh)	0346→10 (NHK教育) 0261→12 (STV) 0283→27 (UHB)
	帯広	009	0336→4 (NHK総合) 0257→6 (HBC)• 0291→34 (HTB)	0346→12 (NHK教育) 0261→10 (STV) 0283→32 (UHB)
	釧路	010	0336→9 (NHK総合) 0257→11 (HBC)• 0291→39 (HTB) 0273→29 (TVh)	0346→2 (NHK教育) 0261→7 (STV) 0283→41 (UHB)
	網走	011	0336→3 (NHK総合) 0257→1 (HBC)• 0291→35 (HTB)	0346→12 (NHK教育) 0261→5 (STV) 0283→27 (UHB)
	北見	012	0336→9 (NHK総合) 0257→53 (HBC)• 0291→61 (HTB)	0346→2 (NHK教育) 0261→7 (STV) 0283→59 (UHB)
青森	青森(弘前)	013	0592→3 (NHK総合) 0513→1 (青森放送) 0290→34 (青森朝日)	0602→5 (NHK教育) 0294→38 (青森テレビ)•
	八戸	014	0592→9 (NHK総合) 0513→11 (青森放送) 0290→31 (青森朝日)	0602→7 (NHK教育) 0294→33 (青森テレビ)•
	むつ	015	0592→4 (NHK総合) 0513→10 (青森放送) 0290→56 (青森朝日)	0602→12 (NHK教育) 0294→58 (青森テレビ)•
岩手	盛岡	016	0848→4 (NHK総合) 0262→6 (IBC)• 0289→33 (めんこい)	0858→8 (NHK教育) 0547→35 (テレビ岩手) 0276→31 (IAT)
	釜石	017	0848→2 (NHK総合) 0262→10 (IBC)• 0289→60 (めんこい)	0858→12 (NHK教育) 0547→58 (テレビ岩手) 0276→62 (IAT)
	二戸	018	0848→5 (NHK総合) 0262→2 (IBC)• 0289→29 (めんこい)	0858→12 (NHK教育) 0547→37 (テレビ岩手) 0276→27 (IAT)
宮城	仙台	019	1104→3 (NHK総合) 0769→1 (TBC)• 0546→34 (宮城テレビ)	1114→5 (NHK教育) 0268→12 (仙台放送) 0288→32 (東日本放送)
	石巻	020	1104→51 (NHK総合) 0769→59 (TBC)• 0546→55 (宮城テレビ)	1114→49 (NHK教育) 0268→57 (仙台放送) 0288→61 (東日本放送)
	気仙沼	021	1104→2 (NHK総合) 0769→4 (TBC)• 0546→37 (宮城テレビ)	1114→10 (NHK教育) 0268→6 (仙台放送) 0288→43 (東日本放送)
秋田	秋田	022	1360→9 (NHK総合) 0267→11 (秋田放送) 0287→31 (秋田朝日)	1370→2 (NHK教育) 0293→37 (秋田テレビ)•
	大館	023	1360→4 (NHK総合) 0267→6 (秋田放送) 0287→59 (秋田朝日)	1370→8 (NHK教育) 0293→57 (秋田テレビ)•
	大曲	024	1360→45 (NHK総合) 0267→47 (秋田放送) 0287→41 (秋田朝日)	1370→43 (NHK教育) 0293→51 (秋田テレビ)•
山形	山形	025	1616→8 (NHK総合) 0266→10 (山形放送) 0292→36 (TUY)•	1626→4 (NHK教育) 0550→38 (山形テレビ) 0286→30 (SAY)
	鶴岡(酒田)	026	1616→3 (NHK総合) 0266→1 (山形放送) 0292→22 (TUY)•	1626→6 (NHK教育) 0550→39 (山形テレビ) 0286→24 (SAY)
	米沢	027	1616→52 (NHK総合) 0266→54 (山形放送) 0292→56 (TUY)•	1626→50 (NHK教育) 0550→58 (山形テレビ) 0286→60 (SAY)
福島	福島(郡山)	028	1872→9 (NHK総合) 0523→11 (福島テレビ) 0803→35 (福島放送)	1882→2 (NHK教育) 0545→33 (福島中央テレビ) 0543→31 (TUF)•
	いわき	029	1872→4 (NHK総合) 0523→8 (福島テレビ) 0803→60 (福島放送)	1882→10 (NHK教育) 0545→58 (福島中央テレビ) 0543→62 (TUF)•
	会津若松	030	1872→1 (NHK総合) 0523→6 (福島テレビ) 0803→41 (福島放送)	1882→3 (NHK教育) 0545→37 (福島中央テレビ) 0543→47 (TUF)•
茨城	水戸	031	2128→44 (NHK総合) 0260→42 (日本テレビ) 0264→38 (フジテレビ) 0524→32 (テレビ東京) 0270→14 (MXテレビ)	2138→46 (NHK教育) 0518→40 (TBS)• 0522→36 (テレビ朝日) 0302→39 (ちばテレビ)
	日立	032	2128→52 (NHK総合) 0260→54 (日本テレビ) 0264→58 (フジテレビ) 0524→62 (テレビ東京) 0270→14 (MXテレビ)	2138→50 (NHK教育) 0518→56 (TBS)• 0522→60 (テレビ朝日) 0302→39 (ちばテレビ)
栃木	宇都宮	033	2128→29 (NHK総合) 0260→25 (日本テレビ) 0264→21 (フジテレビ) 0524→17 (テレビ東京) 270→14 (MXテレビ)	2138→27 (NHK教育) 0518→23 (TBS)• 0522→19 (テレビ朝日) 0535→31 (とちぎテレビ)
	矢板	034	2128→51 (NHK総合) 0260→53 (日本テレビ) 0264→57 (フジテレビ) 0524→61 (テレビ東京) 0270→14 (MXテレビ)	2138→49 (NHK教育) 0518→55 (TBS)• 0522→59 (テレビ朝日) 0535→31 (とちぎテレビ)

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
群馬	前橋（伊勢崎·高崎）	035	2128→52（NHK総合） 0260→54（日本テレビ） 0264→58（フジテレビ） 0524→62（テレビ東京） 0806→38（テレビ埼玉）	2138→50（NHK教育） 0518→56（TBS）● 0522→60（テレビ朝日） 0270→14（MXテレビ） 0304→48（群馬テレビ）
	桐生	036	2128→43（NHK総合） 0260→39（日本テレビ） 0264→35（フジテレビ） 0304→41（群馬テレビ） 0270→14（MXテレビ）	2138→45（NHK教育） 0518→37（TBS）● 0522→33（テレビ朝日） 0524→31（テレビ東京） 0806→38（テレビ埼玉）
埼玉	さいたま	037	2128→1（NHK総合） 0260→4（日本テレビ） 0264→8（フジテレビ） 0524→12（テレビ東京） 0270→14（MXテレビ）	2138→3（NHK教育） 0518→6（TBS）● 0522→10（テレビ朝日） 0806→38（テレビ埼玉）
	熊谷	038	2128→33（NHK総合） 0260→25（日本テレビ） 0264→21（フジテレビ） 0524→17（テレビ東京）	2138→35（NHK教育） 0518→23（TBS）● 0522→19（テレビ朝日） 0806→28（テレビ埼玉）
	秩父	039	2128→51（NHK総合） 0260→53（日本テレビ） 0264→57（フジテレビ） 0524→61（テレビ東京）	2138→49（NHK教育） 0518→55（TBS）● 0522→59（テレビ朝日） 0806→47（テレビ埼玉）
千葉	千葉	040	2128→1（NHK総合） 0260→4（日本テレビ） 0264→8（フジテレビ） 0524→12（テレビ東京） 0298→42（TVK）	2138→3（NHK教育） 0518→6（TBS）● 0522→10（テレビ朝日） 0302→46（ちばテレビ） 0270→14（MXテレビ）
	銚子	041	2128→51（NHK総合） 0260→53（日本テレビ） 0264→57（フジテレビ） 0524→61（テレビ東京） 0298→42（TVK）	2138→49（NHK教育） 0518→55（TBS）● 0522→59（テレビ朝日） 0302→39（ちばテレビ）
東京	23区	042	2128→1（NHK総合） 0260→4（日本テレビ） 0264→8（フジテレビ） 0524→12（テレビ東京） 0298→42（TVK） 0270→14（MXテレビ）	2138→3（NHK教育） 0518→6（TBS）● 0522→10（テレビ朝日） 0302→46（ちばテレビ） 0806→38（テレビ埼玉）
	八王子	043	2128→51（NHK総合） 0260→53（日本テレビ） 0264→57（フジテレビ） 0524→61（テレビ東京） 0298→42（TVK） 0270→14（MXテレビ）	2138→49（NHK教育） 0518→55（TBS）● 0522→59（テレビ朝日） 0302→46（ちばテレビ） 0806→38（テレビ埼玉）
	多摩	044	2128→30（NHK総合） 0260→26（日本テレビ） 0264→22（フジテレビ） 0524→18（テレビ東京） 0298→42（TVK） 0270→28（MXテレビ）	2138→32（NHK教育） 0518→24（TBS）● 0522→20（テレビ朝日） 0302→46（ちばテレビ） 0806→38（テレビ埼玉）
神奈川	横浜1*1	045	2128→52（NHK総合） 0260→54（日本テレビ） 0264→58（フジテレビ） 0524→62（テレビ東京） 0270→14（MXテレビ）	2138→50（NHK教育） 0518→56（TBS）● 0522→60（テレビ朝日） 0298→48（TVK）
	横浜2*1	046	2128→1（NHK総合） 0260→4（日本テレビ） 0264→8（フジテレビ） 0524→12（テレビ東京） 0270→14（MXテレビ）	2138→3（NHK教育） 0518→6（TBS）● 0522→10（テレビ朝日） 0298→42（TVK）
	平塚（茅ヶ崎）	047	2128→33（NHK総合） 0260→35（日本テレビ） 0264→39（フジテレビ） 0524→43（テレビ東京） 0270→14（MXテレビ）	2138→29（NHK教育） 0518→37（TBS）● 0522→41（テレビ朝日） 0298→31（TVK）
	秦野	048	2128→47（NHK総合） 0260→51（日本テレビ） 0264→55（フジテレビ） 0524→59（テレビ東京） 0270→14（MXテレビ）	2138→49（NHK教育） 0518→53（TBS）● 0522→57（テレビ朝日） 0298→61（TVK）
	小田原	049	2128→52（NHK総合） 0260→54（日本テレビ） 0264→58（フジテレビ） 0524→62（テレビ東京） 0270→14（MXテレビ）	2138→50（NHK教育） 0518→56（TBS）● 0522→60（テレビ朝日） 0298→46（TVK）
山梨	甲府	050	2896→1（NHK総合） 0773→5（山梨放送）	2906→3（NHK教育） 0549→37（UTY）●
長野	長野1*2	051	2640→44（NHK総合） 0779→48（SBC）● 0542→40（テレビ信州）	2650→46（NHK教育） 1062→42（長野放送） 0532→50（長野朝日）
	長野2*2	052	2640→2（NHK総合） 0779→11（SBC）● 0542→30（テレビ信州）	2650→9（NHK教育） 1062→38（長野放送） 0532→20（長野朝日）
	松本	053	2640→44（NHK総合） 0542→48（テレビ信州） 1062→42（長野放送）	2650→46（NHK教育） 0779→40（SBC）● 0532→50（長野朝日）
	飯田	054	2640→4（NHK総合） 0779→6（SBC）● 0542→42（テレビ信州）	2650→3（NHK教育） 1062→40（長野放送） 0532→44（長野朝日）
	岡谷·諏訪	055	2640→4（NHK総合） 0542→59（テレビ信州） 1062→47（長野放送）	2650→8（NHK教育） 0779→6（SBC）● 0532→61（長野朝日）
新潟	新潟（長岡）	056	2384→8（NHK総合） 0517→5（BSN）● 0285→29（テレビ新潟）	2394→12（NHK教育） 1059→35（新潟総合テレビ） 0277→21（テレビ21）
	上越	057	2384→3（NHK総合） 0517→10（BSN）● 0285→27（テレビ新潟）	2394→1（NHK教育） 1059→33（新潟総合テレビ） 0277→37（テレビ21）
富山	富山	058	3152→3（NHK総合） 1025→1（北日本放送） 0544→32（チューリップ）●	3162→10（NHK教育） 0802→34（富山テレビ）
	高岡	059	3152→48（NHK総合） 1025→50（北日本放送） 0544→42（チューリップ）●	3162→46（NHK教育） 0802→44（富山テレビ）
石川	金沢（小松）	060	3408→4（NHK総合） 0774→6（北陸放送）● 0801→33（テレビ金沢）	3418→8（NHK教育） 0805→37（石川テレビ） 0281→25（北陸朝日）
	七尾	061	3408→9（NHK総合） 0774→11（北陸放送）● 0801→57（テレビ金沢）	3418→5（NHK教育） 0805→55（石川テレビ） 0281→59（北陸朝日）
福井	福井	062	3664→9（NHK総合） 1035→11（福井放送）	3674→3（NHK教育） 0295→39（福井テレビ）●
	敦賀	063	3664→6（NHK総合） 1035→8（福井放送）	3674→12（NHK教育） 0295→38（福井テレビ）●
岐阜	岐阜（大垣）	064	4176→39（NHK総合） 1029→5（CBC）● 1547→11（メ～テレ） 1061→37（岐阜放送） 1313→33（三重テレビ）	4186→9（NHK教育） 1281→1（東海テレビ） 1571→35（中京テレビ） 0537→25（テレビ愛知）
	高山	065	4176→4（NHK総合） 1029→6（CBC）● 1547→12（メ～テレ） 1061→38（岐阜放送） 1313→33（三重テレビ）	4186→2（NHK教育） 1281→8（東海テレビ） 1571→26（中京テレビ） 0537→25（テレビ愛知）
	中津川	066	4176→4（NHK総合） 1029→8（CBC）● 1547→6（メ～テレ） 1061→28（岐阜放送） 1313→33（三重テレビ）	4186→12（NHK教育） 1281→10（東海テレビ） 1571→26（中京テレビ） 0537→25（テレビ愛知）
静岡	静岡（清水·焼津）	067	3920→9（NHK総合） 1291→11（静岡放送）● 1057→33（静岡朝日テレビ）	3930→2（NHK教育） 1315→35（テレビ静岡） 0799→31（静岡第一）
	浜松	068	3920→4（NHK総合） 1291→6（静岡放送）● 1057→28（静岡朝日テレビ）	3930→8（NHK教育） 1315→34（テレビ静岡） 0799→30（静岡第一）
	富士（富士宮）	069	3920→52（NHK総合） 1291→41（静岡放送）● 1057→29（静岡朝日テレビ）	3930→54（NHK教育） 1315→39（テレビ静岡） 0799→27（静岡第一）
	三島·沼津	070	3920→53（NHK総合） 1291→55（静岡放送）● 1057→57（静岡朝日テレビ）	3930→51（NHK教育） 1315→59（テレビ静岡） 0799→61（静岡第一）
	島田	071	3920→1（NHK総合） 1291→5（静岡放送）● 1057→50（静岡朝日テレビ）	3930→3（NHK教育） 1315→58（テレビ静岡） 0799→48（静岡第一）
	藤枝	072	3920→42（NHK総合） 1291→40（静岡放送）● 1057→26（静岡朝日テレビ）	3930→44（NHK教育） 1315→38（テレビ静岡） 0799→24（静岡第一）

*1 NHK総合を52チャンネルでご覧の方は「横浜1」を、それ以外の方は「横浜2」を選んでください。どちらかわからない方は「横浜2」を選び、受信状態を確認してください。正しく受信できないときは、「横浜1」を選び直してください。

*2 NHK総合を44チャンネルでご覧の方は「長野1」を、それ以外の方は「長野2」を選んでください。どちらかわからない方は「長野2」を選び、受信状態を確認してください。正しく受信できないときは、「長野1」を選び直してください。

次のページにつづく ⇨

Gガイドについて(つづき)

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと受信チャンネル(放送局名は略称を使用しています)	
愛知	名古屋	073	4176→3 (NHK総合) 1029→5 (CBC)● 1547→11 (メ〜テレ) 0537→25 (テレビ愛知) 1061→37 (岐阜放送)	4186→9 (NHK教育) 1281→1 (東海テレビ) 1571→35 (中京テレビ) 1313→33 (三重テレビ)
	豊橋(豊川)	074	4176→54 (NHK総合) 1029→62 (CBC)● 1547→60 (メ〜テレ) 0537→52 (テレビ愛知) 1061→37 (岐阜放送)	4186→50 (NHK教育) 1281→56 (東海テレビ) 1571→58 (中京テレビ) 1313→33 (三重テレビ)
	豊田	075	4176→53 (NHK総合) 1029→55 (CBC)● 1547→61 (メ〜テレ) 0537→49 (テレビ愛知) 1061→37 (岐阜放送)	4186→51 (NHK教育) 1281→57 (東海テレビ) 1571→59 (中京テレビ) 1313→33 (三重テレビ)
三重	津	076	4176→31 (NHK総合) 1029→5 (CBC)● 1547→11 (メ〜テレ) 1313→33 (三重テレビ)	4186→9 (NHK教育) 1281→1 (東海テレビ) 1571→35 (中京テレビ) 0537→25 (テレビ愛知)
	伊勢	077	4176→53 (NHK総合) 1029→55 (CBC)● 1547→61 (メ〜テレ) 1313→59 (三重テレビ)	4186→49 (NHK教育) 1281→57 (東海テレビ) 1571→47 (中京テレビ) 0537→25 (テレビ愛知)
	名張	078	4176→52 (NHK総合) 1029→60 (CBC)● 1547→56 (メ〜テレ) 1313→58 (三重テレビ)	4186→50 (NHK教育) 1281→62 (東海テレビ) 1571→54 (中京テレビ) 0537→25 (テレビ愛知)
滋賀	大津	079	4432→28 (NHK総合) 0516→36 (毎日放送)● 0520→40 (関西テレビ) 0798→30 (びわ湖放送)	4442→46 (NHK教育) 1030→38 (朝日放送) 0778→42 (読売テレビ) 1058→34 (京都テレビ)
	彦根	080	4432→52 (NHK総合) 0516→54 (毎日放送)● 0520→60 (関西テレビ) 0798→56 (びわ湖放送)	4442→50 (NHK教育) 1030→58 (朝日放送) 0778→62 (読売テレビ) 1058→34 (京都テレビ)
京都	京都(宇治)	081	4432→2 (NHK総合) 0516→4 (毎日放送)● 0520→8 (関西テレビ) 1058→34 (京都テレビ) 0548→36 (サンテレビ)	4442→12 (NHK教育) 1030→6 (朝日放送) 0778→10 (読売テレビ) 0275→19 (テレビ大阪)
	舞鶴	082	4432→51 (NHK総合) 0516→53 (毎日放送)● 0520→59 (関西テレビ) 1058→57 (京都テレビ) 0548→36 (サンテレビ)	4442→49 (NHK教育) 1030→55 (朝日放送) 0778→61 (読売テレビ) 0275→19 (テレビ大阪)
	福知山	083	4432→50 (NHK総合) 0516→54 (毎日放送)● 0520→60 (関西テレビ) 1058→56 (京都テレビ) 0548→36 (サンテレビ)	4442→52 (NHK教育) 1030→58 (朝日放送) 0778→62 (読売テレビ) 0275→19 (テレビ大阪)
大阪	大阪	084	4432→2 (NHK総合) 0516→4 (毎日放送)● 0520→8 (関西テレビ) 0275→19 (テレビ大阪) 0548→36 (サンテレビ)	4442→12 (NHK教育) 1030→6 (朝日放送) 0778→10 (読売テレビ) 1058→34 (京都テレビ)
兵庫	神戸	085	4432→28 (NHK総合) 0516→18 (毎日放送)● 0520→22 (関西テレビ) 0548→36 (サンテレビ)	4442→26 (NHK教育) 1030→20 (朝日放送) 0778→24 (読売テレビ) 0275→19 (テレビ大阪)
	神戸灘	086	4432→52 (NHK総合) 0516→54 (毎日放送)● 0520→58 (関西テレビ) 0548→62 (サンテレビ)	4442→50 (NHK教育) 1030→56 (朝日放送) 0778→60 (読売テレビ) 0275→19 (テレビ大阪)
	川西	087	4432→29 (NHK総合) 0516→35 (毎日放送)● 0520→39 (関西テレビ) 0548→33 (サンテレビ)	4442→31 (NHK教育) 1030→37 (朝日放送) 0778→41 (読売テレビ) 0275→19 (テレビ大阪)
	三木	088	4432→44 (NHK総合) 0516→34 (毎日放送)● 0520→40 (関西テレビ) 0548→36 (サンテレビ)	4442→46 (NHK教育) 1030→38 (朝日放送) 0778→42 (読売テレビ) 0275→19 (テレビ大阪)
	姫路	089	4432→50 (NHK総合) 0516→54 (毎日放送)● 0520→60 (関西テレビ) 0548→56 (サンテレビ)	4442→52 (NHK教育) 1030→58 (朝日放送) 0778→62 (読売テレビ) 0275→19 (テレビ大阪)
	明石(加古川)	090	4432→51 (NHK総合) 0516→53 (毎日放送)● 0520→59 (関西テレビ) 0548→55 (サンテレビ)	4442→49 (NHK教育) 1030→57 (朝日放送) 0778→61 (読売テレビ) 0275→19 (テレビ大阪)
奈良	奈良	091	4432→51 (NHK総合) 0516→4 (毎日放送)● 0520→8 (関西テレビ) 0311→55 (奈良テレビ) 1058→34 (京都テレビ)	4442→12 (NHK教育) 1030→6 (朝日放送) 0778→10 (読売テレビ) 0548→36 (サンテレビ) 0275→19 (テレビ大阪)
	五條	092	4432→43 (NHK総合) 0516→33 (毎日放送)● 0520→37 (関西テレビ) 0311→41 (奈良テレビ) 1058→34 (京都テレビ)	4442→45 (NHK教育) 1030→35 (朝日放送) 0778→39 (読売テレビ) 0548→36 (サンテレビ) 0275→19 (テレビ大阪)
和歌山	和歌山	093	4432→32 (NHK総合) 0516→42 (毎日放送)● 0520→46 (関西テレビ) 1054→30 (テレビ和歌山)	4442→26 (NHK教育) 1030→44 (朝日放送) 0778→48 (読売テレビ)
	海南・田辺	094	4432→50 (NHK総合) 0516→54 (毎日放送)● 0520→60 (関西テレビ) 1054→56 (テレビ和歌山)	4442→52 (NHK教育) 1030→58 (朝日放送) 0778→62 (読売テレビ)
鳥取	鳥取	095	4688→3 (NHK総合) 1537→1 (日本海テレビ) 1314→24 (山陰中央)	4698→4 (NHK教育) 1034→22 (BSS)●
島根	松江	096	4944→6 (NHK総合) 1034→10 (BSS)● 1537→30 (日本海テレビ)	4954→12 (NHK教育) 1314→34 (山陰中央)
	浜田	097	4944→2 (NHK総合) 1034→5 (BSS)● 1537→54 (日本海テレビ)	4954→9 (NHK教育) 1314→58 (山陰中央)
岡山	岡山(倉敷)	098	5200→5 (NHK総合) 1803→11 (RSK)● 0279→23 (テレビせとうち) 1569→25 (KSB)	5210→3 (NHK教育) 1827→35 (OHK) 0265→9 (西日本放送)
	津山	099	5200→2 (NHK総合) 1803→7 (RSK)● 0279→56 (テレビせとうち) 1569→62 (KSB)	5210→12 (NHK教育) 1827→60 (OHK) 0265→58 (西日本放送)
	笠岡	100	5200→2 (NHK総合) 1803→6 (RSK)● 0279→19 (テレビせとうち) 1569→21 (KSB)	5210→4 (NHK教育) 1827→60 (OHK) 0265→17 (西日本放送)
広島	広島	101	5456→3 (NHK総合) 0772→4 (RCC)● 2083→35 (広島ホーム)	5466→7 (NHK教育) 0780→12 (広島テレビ) 1055→31 (TSS)
	福山	102	5456→5 (NHK総合) 0772→7 (RCC)● 2083→57 (広島ホーム)	5466→3 (NHK教育) 0780→11 (広島テレビ) 1055→54 (TSS)
	尾道	103	5456→1 (NHK総合) 0772→10 (RCC)● 2083→24 (広島ホーム)	5466→7 (NHK教育) 0780→12 (広島テレビ) 1055→26 (TSS)
	呉	104	5456→11 (NHK総合) 0772→9 (RCC)● 2083→24 (広島ホーム)	5466→1 (NHK教育) 0780→5 (広島テレビ) 1055→26 (TSS)
山口	山口(徳山・防府)	105	5712→9 (NHK総合) 2059→11 (山口放送) 0284→28 (山口朝日)	5722→1 (NHK教育) 1318→38 (テレビ山口)●
	下関	106	5712→39 (NHK総合) 2059→4 (山口放送) 0284→21 (山口朝日)	5722→41 (NHK教育) 1318→33 (テレビ山口)●
	宇部	107	5712→16 (NHK総合) 2059→18 (山口放送) 0284→31 (山口朝日)	5722→14 (NHK教育) 1318→20 (テレビ山口)●
	岩国	108	5712→9 (NHK総合) 2059→11 (山口放送) 0284→28 (山口朝日)	5722→1 (NHK教育) 1318→22 (テレビ山口)●
徳島	徳島	109	5968→3 (NHK総合) 1793→1 (四国放送) 1030→6 (朝日放送)	5978→38 (NHK教育) 0516→4 (毎日放送)● 0520→8 (関西テレビ)
香川	高松	110	6224→37 (NHK総合) 1569→33 (KSB) 1803→29 (RSK)● 0279→19 (テレビせとうち)	6234→39 (NHK教育) 0265→41 (西日本放送) 1827→31 (OHK)
	丸亀	111	6224→44 (NHK総合) 1569→42 (KSB) 1803→18 (RSK)● 0279→16 (テレビせとうち)	6234→40 (NHK教育) 0265→20 (西日本放送) 1827→22 (OHK)

その他

都道府県	地域名	地域番号	Gガイドで予約できる放送局のガイドチャンネルと受信チャンネル（放送局名は略称を使用しています）	
愛媛	松山	112	6480→6 （NHK総合） 1290→10 （南海放送） 0541→29 （あいテレビ）●	6490→2 （NHK教育） 1317→37 （テレビ愛媛） 0793→25 （愛媛朝日）
	新居浜	113	6480→2 （NHK総合） 1290→6 （南海放送） 0541→27 （あいテレビ）●	6490→4 （NHK教育） 1317→36 （テレビ愛媛） 0793→14 （愛媛朝日）
	今治	114	6480→32 （NHK総合） 1290→34 （南海放送） 0541→27 （あいテレビ）●	6490→30 （NHK教育） 1317→36 （テレビ愛媛） 0793→17 （愛媛朝日）
	宇和島	115	6480→6 （NHK総合） 1290→10 （南海放送） 0541→34 （あいテレビ）●	6490→1 （NHK教育） 1317→32 （テレビ愛媛） 0793→16 （愛媛朝日）
高知	高知	116	6736→4 （NHK総合） 0776→8 （高知放送） 0296→40 （KSS）	6746→6 （NHK教育） 1574→38 （KUTV）●
福岡	福岡	117	6992→3 （NHK総合） 1028→4 （RKB毎日）● 0521→9 （TNC） 0531→19 （TVQ）	7002→6 （NHK教育） 2049→1 （KBC） 1573→37 （FBS）
	久留米	118	6992→46 （NHK総合） 1028→48 （RKB毎日）● 0521→60 （TNC） 0531→14 （TVQ）	7002→54 （NHK教育） 2049→57 （KBC） 1573→52 （FBS）
	大牟田	119	6992→53 （NHK総合） 1028→61 （RKB毎日）● 0521→55 （TNC） 0531→19 （TVQ）	7002→50 （NHK教育） 2049→58 （KBC） 1573→43 （FBS）
	北九州	120	6992→6 （NHK総合） 1028→8 （RKB毎日）● 0521→10 （TNC） 0531→23 （TVQ）	7002→12 （NHK教育） 2049→2 （KBC） 1573→35 （FBS）
	行橋	121	6992→49 （NHK総合） 1028→60 （RKB毎日）● 0521→54 （TNC） 0531→19 （TVQ）	7002→46 （NHK教育） 2049→57 （KBC） 1573→43 （FBS）
佐賀	佐賀	122	7760→38 （NHK総合） 0804→36 （STS） 1573→52 （FBS） 1028→48 （RKB毎日）●	7770→40 （NHK教育） 2315→11 （熊本放送）● 0531→14 （TVQ） 2049→57 （KBC）
長崎	長崎	123	7248→3 （NHK総合） 1285→5 （NBC）● 0539→27 （長崎文化）	7258→1 （NHK教育） 1829→37 （テレビ長崎） 1049→25 （長崎国際）
	佐世保	124	7248→8 （NHK総合） 1285→10 （NBC）● 0539→31 （長崎文化）	7258→2 （NHK教育） 1829→35 （テレビ長崎） 1049→17 （長崎国際）
	諫早	125	7248→47 （NHK総合） 1285→49 （NBC）● 0539→24 （長崎文化）	7258→45 （NHK教育） 1829→42 （テレビ長崎） 1049→20 （長崎国際）
熊本	熊本 （八代）	126	7504→9 （NHK総合） 2315→11 （熊本放送）● 0278→22 （KKT）	7514→2 （NHK教育） 1570→34 （TKU） 0528→16 （熊本朝日）
大分	大分 （別府）	127	8016→3 （NHK総合） 1541→5 （OBS）● 0280→24 （OAB）	8026→12 （NHK教育） 1060→36 （TOS）
	中津	128	8016→48 （NHK総合） 1541→51 （OBS）● 0280→17 （OAB）	8026→45 （NHK教育） 1060→37 （TOS）
宮崎	宮崎 （都城）	129	8272→8 （NHK総合） 1546→10 （宮崎放送）●	8282→12 （NHK教育） 2339→35 （テレビ宮崎）
	延岡	130	8272→4 （NHK総合） 1546→6 （宮崎放送）●	8282→2 （NHK教育） 2339→39 （テレビ宮崎）
鹿児島	鹿児島	131	8528→3 （NHK総合） 2305→1 （MBC）● 0800→32 （鹿児島放送）	8538→5 （NHK教育） 1830→38 （KTS） 1310→30 （鹿児島読売）
	阿久根	132	8528→8 （NHK総合） 2305→10 （MBC）● 0800→23 （鹿児島放送）	8538→12 （NHK教育） 1830→35 （KTS） 1310→17 （鹿児島読売）
	鹿屋	133	8528→4 （NHK総合） 2305→6 （MBC）● 0800→31 （鹿児島放送）	8538→2 （NHK教育） 1830→33 （KTS） 1310→25 （鹿児島読売）
沖縄	沖縄	134	8784→2 （NHK総合） 1802→10 （RBC）● 0540→28 （QAB）	8794→12 （NHK教育） 1032→8 （OTV）

地上デジタル放送・地域別チャンネル割り当て一覧表

リモコンの(1)～(12)の数字ボタンに割り当てられる地上デジタルの放送局は下記のとおりです(2004年10月現在は放送を開始していない放送局もあります)。
「準備6:お買い上げ時の初期設定をする」(☞35ページ)を行うと、各数字ボタンに放送局が自動的に割り当てられます。引越しや新しく放送局が開設されるなどでチャンネルを割り当て直したいときは、「準備10:地上デジタル放送の設定をする」(☞41ページ)をご覧になり、チャンネルスキャンをやり直してください。また、各都道府県名の欄にない放送局を受信できる場合もあります。このときは数字ボタンに空きがあれば、その放送局を自動的に任意の番号として割り当てます。

都道府県名	放送局名	数字ボタン
北海道(帯広)	NHK総合·帯広	③
	NHK教育·帯広	②
	HBC帯広	①
	STV帯広	⑤
	HTB帯広	⑥
	UHB帯広	⑧
	TVH帯広	⑦
北海道(釧路)	NHK総合·釧路	③
	NHK教育·釧路	②
	HBC釧路	①
	STV釧路	⑤
	HTB釧路	⑥
	UHB釧路	⑧
	TVH釧路	⑦
北海道(北見)	NHK総合·北見	③
	NHK教育·北見	②
	HBC北見	①
	STV北見	⑤
	HTB北見	⑥
	UHB北見	⑧
	TVH北見	⑦
北海道(旭川)	NHK総合·旭川	③
	NHK教育·旭川	②
	HBC旭川	①
	STV旭川	⑤
	HTB旭川	⑥
	UHB旭川	⑧
	TVH旭川	⑦
北海道(札幌)	NHK総合·札幌	③
	NHK教育·札幌	②
	HBC札幌	①
	STV札幌	⑤
	HTB札幌	⑥
	UHB札幌	⑧
	TVH札幌	⑦
北海道(函館)	NHK総合·函館	③
	NHK教育·函館	②
	HBC函館	①
	STV函館	⑤
	HTB函館	⑥
	UHB函館	⑧
	TVH函館	⑦
北海道(室蘭)	NHK総合·室蘭	③
	NHK教育·室蘭	②
	HBC室蘭	①
	STV室蘭	⑤
	HTB室蘭	⑥
	UHB室蘭	⑧
	TVH室蘭	⑦

都道府県名	放送局名	数字ボタン
青森	NHK総合·青森	③
	NHK教育·青森	②
	RAB青森放送	①
	ATV青森テレビ	⑥
	青森朝日放送	⑤
岩手	NHK総合·盛岡	①
	NHK教育·盛岡	②
	IBCテレビ	⑥
	テレビ岩手	④
	めんこいテレビ	⑧
	岩手朝日テレビ	⑤
宮城	NHK総合·仙台	③
	NHK教育·仙台	②
	TBCテレビ	①
	仙台放送	⑧
	ミヤギテレビ	④
	KHB東日本放送	⑤
秋田	NHK総合·秋田	①
	NHK教育·秋田	②
	ABS秋田放送	④
	AKT秋田テレビ	⑧
	AAB秋田朝日放送	⑤
山形	NHK総合·山形	①
	NHK教育·山形	②
	YBC山形放送	④
	YTS山形テレビ	⑤
	テレビユー山形	⑥
	さくらんぼテレビ	⑧
福島	NHK総合·福島	①
	NHK教育·福島	②
	福島テレビ	⑧
	福島中央テレビ	④
	KFB福島放送	⑤
	テレビユー福島	⑥
茨城	NHK総合·水戸	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	放送大学	⑫
栃木	NHK総合·東京	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	とちぎテレビ	③
	放送大学	⑫

都道府県名	放送局名	数字ボタン
群馬	NHK総合·東京	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	群馬テレビ	③
	放送大学	⑫
埼玉	NHK総合·東京	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	テレビ埼玉	③
	放送大学	⑫
千葉	NHK総合·東京	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	ちばテレビ	③
	放送大学	⑫
東京	NHK総合·東京	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	東京MXテレビ	⑨
	放送大学	⑫
神奈川	NHK総合·東京	①
	NHK教育·東京	②
	日本テレビ	④
	TBS	⑥
	フジテレビジョン	⑧
	テレビ朝日	⑤
	テレビ東京	⑦
	TVKテレビ	③
	放送大学	⑫
新潟	NHK総合·新潟	①
	NHK教育·新潟	②
	BSN	⑥
	NST	⑧
	TeNYテレビ新潟	④
	新潟テレビ21	⑤

都道府県名	放送局名	数字ボタン
富山	NHK総合･富山	③
	NHK教育･富山	②
	KNB北日本放送	①
	BBT富山テレビ	⑧
	チューリップテレビ	⑥
石川	NHK総合･金沢	①
	NHK教育･金沢	②
	テレビ金沢	④
	北陸朝日放送	⑤
	MRO	⑥
	石川テレビ	⑧
福井	NHK総合･福井	①
	NHK教育･福井	②
	FBCテレビ	⑦
	福井テレビ	⑧
山梨	NHK総合･甲府	①
	NHK教育･甲府	②
	YBS山梨放送	④
	UTY	⑥
長野	NHK総合･長野	①
	NHK教育･長野	②
	テレビ信州	④
	ABN長野朝日放送	⑤
	SBC信越放送	⑥
	NBS長野放送	⑧
静岡	NHK総合･静岡	①
	NHK教育･静岡	②
	SBS	⑥
	テレビ静岡	⑧
	静岡第一テレビ	④
	静岡朝日テレビ	⑤
岐阜	NHK総合･岐阜	③
	NHK教育･名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	テレビ岐阜	⑧
愛知	NHK総合･名古屋	③
	NHK教育･名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	テレビ愛知	⑩
三重	NHK総合･津	③
	NHK教育･名古屋	②
	東海テレビ	①
	CBC	⑤
	メ～テレ	⑥
	中京テレビ	④
	三重テレビ	⑦
滋賀	NHK総合･大津	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	BBCびわ湖放送	③
京都	NHK総合･京都	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	KBS京都	⑤

都道府県名	放送局名	数字ボタン
大阪	NHK総合･大阪	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	テレビ大阪	⑦
兵庫	NHK総合･神戸	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	サンテレビ	③
奈良	NHK総合･奈良	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	奈良テレビ	⑨
和歌山	NHK総合･和歌山	①
	NHK教育･大阪	②
	MBS毎日放送	④
	ABCテレビ	⑥
	関西テレビ	⑧
	よみうりテレビ	⑩
	テレビ和歌山	⑤
鳥取	NHK総合･鳥取	③
	NHK教育･鳥取	②
	山陰中央テレビ	⑧
	BSSテレビ	⑥
	日本海テレビ	①
島根	NHK総合･松江	③
	NHK教育･松江	②
	山陰中央テレビ	⑧
	BSSテレビ	⑥
	日本海テレビ	①
岡山	NHK総合･岡山	①
	NHK教育･岡山	②
	RNC西日本テレビ	④
	KSB瀬戸内海放送	⑤
	RSKテレビ	⑥
	テレビせとうち	⑦
	OHKテレビ	⑧
広島	NHK総合･広島	①
	NHK教育･広島	②
	RCCテレビ	③
	広島テレビ	④
	広島ホームテレビ	⑤
	TSS	⑧
山口	NHK総合･山口	①
	NHK教育･山口	②
	KRY山口放送	④
	TYSテレビ山口	③
	YAB山口朝日	⑤
徳島	NHK総合･徳島	③
	NHK教育･徳島	②
	四国放送	①
香川	NHK総合･高松	①
	NHK教育･高松	②
	RNC西日本テレビ	④
	KSB瀬戸内海放送	⑤
	RSKテレビ	⑥
	テレビせとうち	⑦
	OHKテレビ	⑧

都道府県名	放送局名	数字ボタン
愛媛	NHK総合･松山	①
	NHK教育･松山	②
	南海放送	④
	愛媛朝日	⑤
	あいテレビ	⑥
	テレビ愛媛	⑧
高知	NHK総合･高知	①
	NHK教育･高知	②
	高知放送	④
	テレビ高知	⑥
	さんさんテレビ	⑧
福岡	NHK総合･福岡 NHK総合･北九州	③
	NHK教育･福岡 NHK教育･北九州	②
	KBC九州朝日放送	①
	RKB毎日放送	④
	FBS福岡放送	⑤
	TVQ九州放送	⑦
	TNCテレビ西日本	⑧
佐賀	NHK総合･佐賀	①
	NHK教育･佐賀	②
	STSサガテレビ	③
長崎	NHK総合･長崎	①
	NHK教育･長崎	②
	NBC長崎放送	③
	KTNテレビ長崎	⑧
	NCC長崎文化放送	⑤
	NIB長崎国際テレビ	④
熊本	NHK総合･熊本	①
	NHK教育･熊本	②
	RKK熊本放送	③
	TKUテレビ熊本	⑧
	KKTくまもと県民	④
	KAB熊本朝日放送	⑤
大分	NHK総合･大分	①
	NHK教育･大分	②
	OBS大分放送	③
	TOSテレビ大分	④
	OAB大分朝日放送	⑤
宮崎	NHK総合･宮崎	①
	NHK教育･宮崎	②
	MRT宮崎放送	⑥
	UMK宮崎テレビ	③
鹿児島	NHK総合･鹿児島	③
	NHK教育･鹿児島	②
	MBC南日本放送	①
	KTS鹿児島テレビ	⑧
	KKB鹿児島放送	⑤
	KYT鹿児島読売テレビ	④
沖縄	NHK総合･那覇	①
	NHK教育･那覇	②
	RBCテレビ	③
	QAB琉球朝日放送	⑤
	沖縄テレビ(OTV)	⑧

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「操作･困ったときは編」の「困ったときは」の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはサービス窓口へ

お買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にある、お近くのソニーサービス窓口にご相談ください。
BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）に問い合わせてください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、カラーテレビの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーサービス窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名: KDX-40Q005
KDX-46Q005

型名について詳しくは、☞「操作･困ったときは編」の「修理に出す前に」をご覧ください。

故障の状態:できるだけくわしく
購入年月日:

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This television is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

その他

主な仕様

システム

受信方式　NTSC方式
地上デジタル放送方式
BSデジタル放送方式
110度CSデジタル放送方式

受信チャンネル　VHF 1～12チャンネル
UHF 13～62チャンネル
CATV(ケーブルテレビ放送会社との受信契約が必要)
地上アナログ:C13～C63
地上デジタル･BSデジタル･110度CSデジタル(テレビ、ラジオ、独立データ)の各チャンネル

BSデジタル･110度CSデジタル対応周波数
1022～2072 MHz

BSデジタル･110度CSデジタル対応ローカル周波数
10.678 GHz

使用スピーカー　フルレンジ 4×10cm 楕円(4)
ツイーター 2.5cm 丸(2)
ウーファー 8cm 丸(4)

音声出力　実用最大出力:
ミッドレンジ/ツイーター
25W＋25W(JEITA)
負荷インピーダンス 8Ω
ウーファー
50W(JEITA)
負荷インピーダンス 4Ω

入出力端子(ディスプレイ)

DISPLAY SIGNAL IN (WHITE)
専用コネクター

DISPLAY SIGNAL IN (BLACK)
専用コネクター

入出力端子(メディアレシーバー)

アンテナ端子　VHF/UHF、BS/110度CS IF 75Ω
F型コネクター
(コンバーター用電源出力、DC15/11V最大4W、芯線側＋、オート/入/切、メニュー切り換え)

ビデオ1～3入力端子
S2映像:
4ピンミニDIN
Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C:0.286Vp-p
(バースト信号)、75Ω
映像: ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声: ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上

コンポーネント1、2入力端子
D4映像:
D端子
Y:1Vp-p(0.3V負同期付き)
P_B/P_R、C_B/C_R:±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声: ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上

コンポーネント3、4入力端子
映像:ピンジャック
Y:1Vp-p(0.3V負同期付き)
P_B/P_R、C_B/C_R:±350mVp-p
入力インピーダンス 75Ω
音声: ピンジャック、2チャンネル、500mVrms、インピーダンス47kΩ以上

HDMI1、2入力端子
HDMI入力:
映像:デジタルRGB/
Y C_B(P_B) C_R(P_R)
音声:デジタル

メモリースティック挿入口
スタンダード/Duo兼用スロット

デジタル放送/ビデオ出力端子
S2映像:
4ピンミニDIN
Y:1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
C:0.286Vp-p
(バースト信号)、75Ω
映像: ピンジャック、1Vp-p、75Ω、不平衡、同期負
音声: ピンジャック、2チャンネル、500mVrms
インピーダンス 4.7kΩ以下テレビ放送の音声の100%変調時、またはBSデジタル放送の最大出力 －12dB時の数値です。

音声出力端子　2ch出力、ピンジャック
最大出力レベル 2.0Vrms
出力インピーダンス 5kΩ

ヘッドホン端子　ステレオミニジャック
負荷インピーダンス 16Ω以上

光デジタル音声出力端子
角型端子
AAC/PCM対応

電話回線端子　モジュラージャック、直流抵抗値 262Ω

その他

次のページにつづく⇨

主な仕様(つづき)

LAN(10/100)端子　10 BASE-T/100 BASE-TXコネクター
(ネットワークの使用環境により、接続速度に差が生じることがあります。本機は10 BASE-T/100 BASE-TXの通信速度や通信品質を保証するものではありません。)

i.LINK端子　4ピン　S400(3)

AVマウス端子　ミニジャック

コントロールS入/出力端子
ミニジャック

センター入力端子　6Ω、最大 180W、1kHz、
無歪み最大 30Vp-p

サブウーファー出力(可変)端子
ピンジャック

PC映像入力端子　D-SUB15ピン
RGB信号:0.7Vp-p、75Ω
同期信号:TTLレベル、2.2kΩ

PC音声入力端子　ステレオミニジャック 500 mVrms、
インピーダンス 47 kΩ以上

USB端子　USB Full-Speed(Max12Mbps)

アッテネータースイッチ(VHF/UHF)
入/切

ディスプレイ信号出力(白)端子
専用コネクター

ディスプレイ信号出力(黒)端子
専用コネクター

電源部・その他

モデム通信速度　56kbps

消費電力　KDX-40Q005
ディスプレイ:498W
メディアレシーバー:76W
KDX-46Q005
ディスプレイ:612W
メディアレシーバー:76W

消費電力(リモコン待機時):
KDX-40Q005、KDX-46Q005共通です。
ディスプレイ:0.5W
メディアレシーバー:0.4W
ただし、以下2つの電源スタンバイ中は、消費電力が異なります。
予約した録画の実行中/
i.LINKダビング中:44W
i.LINK待機中:13W

最大外形寸法(最大突起部分を除く)
KDX-40Q005
ディスプレイ:
110.7×64.3×13.0cm
メディアレシーバー:
43.0×9.7×35.0cm
KDX-46Q005
ディスプレイ:
123.9×71.7×13.0cm
メディアレシーバー:
43.0×9.7×35.0cm

質量　KDX-40Q005
ディスプレイ:48kg
メディアレシーバー:9.8kg
KDX-46Q005
ディスプレイ:59kg
メディアレシーバー:9.8kg

電源　AC100V、50/60Hz

付属品
- リモートコマンダー RM-J1100(1)
- リモコンホルダー(1)
- 乾電池　単3形(2)
- アンテナ接続ケーブル(2.4m)(1)
- AVマウス(1.5m)(1)
- テレホンコード(10m)(1)
- モジュラーテレホンコードカプラー(1)
- 電源コード(2.5m)(1)
- 電源コード(3m)(1)
- 変換プラグアダプター(2)
- ACプラグホルダー(1)
- 縦置きスタンド(1)
- 縦置きスタンド用取付ネジ(2)
- ディスプレイケーブル(3m)(1)
- アンテナ変換アダプター(1)
- B-CASカード(デジタル放送用ICカード)とB-CAS用ユーザー登録はがき台紙(各1)
- 操作・困ったときは編 取扱説明書(1)
- 設置・接続編 取扱説明書(1)
- ディスプレイ用保証書(1)
- メディアレシーバー用保証書(1)
- ソニーご相談窓口のご案内(1)
- ご愛用者カード(1)
- 製品カスタマー登録のおすすめ(1)

別売りアクセサリー

2004年10月現在の別売りアクセサリーです。万一、品切れや生産完了のときはご容赦ください。

テーブルトップスタンド
SU-XTQ005
フロアスタンド　SU-XFQ005
壁掛けユニット　SU-XWQ005
AVシステムラック　SU-AVHS1
接続ケーブルなど　VM-50（AVマウス）
VMC-X10（ディスプレイケーブル10m）
衛星アンテナなど

- 「JIS C 61000-3-2適合品」です。
  JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部：限度値-高調波電流発生限度値（1相当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。
- 本機は米国BBE社の所有する特許USP4638258と4482866を使用しています。
  BBEとBBEのシンボルは、BBE Sound, Inc. の登録商標です。
- 本製品の一部には、Independent JPEG Groupの研究成果を使用しています。
- i.LINKは、IEEE1394-1995とIEEE1394a-2000を 示す呼称です。i.LINKとi.LINKロゴ "" は商標です。
- TruSurround、SRSと(●)記号はSRS Labs, Inc. の商標です。
  TruSurround技術はSRS Labs, Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。
- "XMB"、"xross media bar"および""は、ソニー株式会社および株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標です。
- "Memory Stick"（"メモリースティック"）、"Memory Stick Duo"（"メモリースティック デュオ"）、"Memory Stick PRO"（"メモリースティック PRO"）およびは、ソニー株式会社の商標です。
- Gガイド、G-GUIDE、およびGガイドロゴは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.の日本国内における登録商標です。
  Gガイドは、米Gemstar-TV Guide International, Inc.のライセンスに基づいて生産しております。
  米Gemstar-TV Guide International, Inc.およびその関連会社は、Gガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、Gガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMI、HDMI、およびHigh Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing Interface LLCの商標または、登録商標です。
- 本機は電気通信事業法第50号第1項の規定に基づく技術基準適合認定モデルです。

機器名	認証番号
MBD-Q005（メディアレシーバー）	A04-0130005

- このテレビは日本国内用ですから、電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語集

五十音順

ア行

アンテナレベル（☞41、44ページ）
アンテナから入ってくる電波の強さです。天候や気温、時間帯、アンテナ接続ケーブルの長さなどによって影響を受けます。

ウーファー（☞21ページ）
低音再生専用のスピーカーユニットのことです。迫力や臨場感などを効果的に再現します。

カ行

ケーブルテレビ（CATV）
（☞30、33、36、38、41ページ）
契約者と放送局をケーブルで直接結んで番組を提供する有線放送です。地上アナログのテレビ番組や地上デジタル、BSアナログに加え、スポーツや映画の専門チャンネル、地域情報番組や文字放送などを見ることができます。

ゴースト（☞39ページ）
放送局からの電波が、テレビアンテナに届く前に、建物や地形の影響で妨害波となり、時間がズレて二重、三重に受信されることです。そのため、正しく送られてきた画像に妨害波の画像が重なって表われた、見にくい画面となります。

サ行

シンクロ録画（☞56、60ページ）
テレビから録画する番組の信号が、録画機器の入力端子に入力されると、録画機器側で自動で録画を開始する機能。

タ行

地上デジタル放送
2003年12月に一部地域で放送が開始された、地上波によるデジタル放送です。UHFの周波数帯域を利用して送信されます。
デジタル信号で大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質･高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送などがあります。

デジタルCS放送（☞30ページ）
110度CSデジタル放送ではなく、SKY PerfecTV!のことです。
通信衛星を使ったCS放送の一種です。従来のアナログCS放送とは違い、映像や音声をデジタル化することで、大量の情報を扱えます。これにより、多チャンネルの放送を高画質･高音質で楽しめます。

デジタルハイビジョン信号HD
デジタル放送の画像方式で、1125iと750pがあり、大画面になっても走査線（テレビ画面を水平に走る線）が目立たなく、35mm映画なみの臨場感あふれる高精細画質を楽しめます。

データ放送（☞31、50ページ）
放送波で情報を伝送し、ニュースや気象情報などを提供するサービス。双方向通信を使ったショッピングや視聴者参加番組などのデータ放送もある。

ハ行

光デジタル音声出力
（☞64、65、84ページ）
音声信号をデジタル形式のまま出力できるため、劣化がなく高品質の音声を楽しめます。

標準テレビ信号SD
デジタル放送の画像方式で、525pと525iがあり、525iは地上アナログと同等の画質です。

数字･アルファベット順

110度CSデジタル放送
2002年3月から始まった、110度デジタル衛星N-SAT-110によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質･高音質で楽しめます。文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。

5.1ch（チャンネル）（☞65ページ）
左フロント、右フロント、センター、左リア、右リアの5本のスピーカーとサブウーファーから、それぞれ独立した音声を出力できるサラウンド方式です。
本機の光デジタル音声出力端子に5.1ch対応のオーディオ機器をつなぐと、本機が受信した5.1chサラウンドの音声を楽しめます。

AAC（☞65ページ）
デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式です。「アドバンスド･オーディオ･コーディング（Advanced Audio Coding）」の略で、高い圧縮率で音楽CD並みの音質を実現します。

B-CASカード（デジタル放送用ICカード）（☞26ページ）
プラスチック･カードに集積回路を埋め込んだものです。チャンネルの契約、購入内容などの情報がB-CASカードに記憶されます。記憶された情報は、電話回線を通じて放送局に送信されます。

BSデジタル放送
2000年12月から始まった、放送衛星（BS）によってデジタル信号で映像や音声を流す放送のことです。大量の情報を扱えるので、多チャンネルの放送を高画質･高音質で楽しめます。くっきりはっきりした高画質のHDTV（高精細度テレビ）や、また文字や画像などのデータ放送、音楽CD並みの高音質な放送などがあります。

D端子（☞54、83ページ）

デジタルCS放送やDVDプレーヤーなどに対応したコンポーネント映像端子です。デジタルCSチューナーやDVDプレーヤーなどと、1本のケーブルで簡単に映像信号を接続できます。コンポーネント映像で接続するため、より高画質な画像を楽しめます。
D端子には対応する信号フォーマットによって、次の種類があります。
本機にはD4入力端子が付いています。
- D1端子: 525i（480i）の信号に対応
- D2端子: 525i（480i）と525p（480p）の信号に対応
- D3端子: 525i（480i）と 525p（480p）、1125i（1080i）の信号に対応
- D4端子: 525i（480i）と525p（480p）、1125i（1080i）、750p（720p）の信号に対応

iはインターレース、pはプログレッシブの略です。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

Gガイド（☞40、69ページ）

（株）インタラクティブ･プログラム･ガイドがサービス主体となり、特定の放送局の放送波を利用して番組表を送信するサービスです。
番組表のデータ送信は（株）インタラクティブ･プログラム･ガイドとデータ送信を行う放送局側で行われているため、都合によりデータが送信されない場合もあります。

HDMI（☞54、84ページ）

テレビ接続機器のデジタル映像･音声信号を直接つなぐインターフェースです。HDMI端子(DVDプレーヤー、AVアンプなど)とテレビを1本のケーブルで接続することで高画質な映像とデジタル音声を楽しめます。
対応している映像信号:
525i (480i)、525p (480p)、1125i (1080i)、750p (720p)
対応している音声信号:
リニアPCM 32kHz、44.1kHz、48kHz

ID-1方式（ビデオID-1システム）（☞82、86ページ）

ビデオ信号の一部にデジタルのID信号を加算することにより、画面の横縦比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名前です。本機はID-1方式に対応しています。ID-1方式対応のビデオカメラやビデオデッキなどを、本機のビデオ1～3入力端子につなぐと、ID-1方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

i.LINK（☞57、66、83、86ページ）

i.LINK（アイリンク）および i. はIEEE1394の親しみやすい呼称としてソニーが提案し、国内外多数の企業からご賛同いただいている商標です。
IEEE1394は電子技術者協会によって標準化された国際標準規格です。

LINC（リンク）

LINCは、Logical Interface Connection（ロジカル･インターフェース･コネクション:「論理的な接続を行う」の意）の略です。

Mbps（メガビーピーエス）

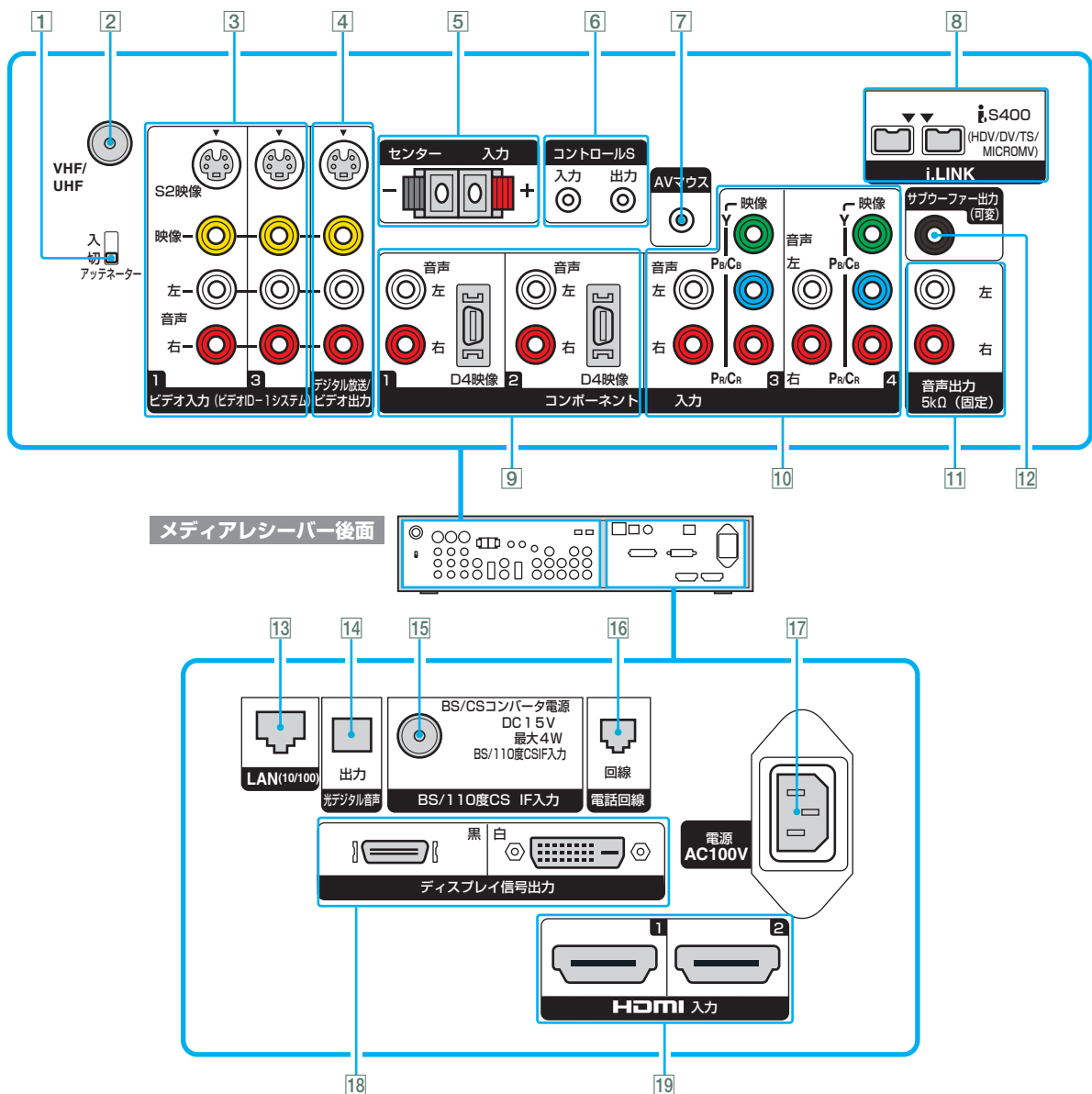
Mbps（メガビーピーエス）とは、「Mega bits per second」の略で、1秒間に通信できるデータの容量を示しています。400Mbpsでは、1秒間に400メガビットのデータを転送します。

PCM（☞64ページ）

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式です。「パルス･コード･モジュレーション(Pulse Code Modulation)」の略で、手軽にデジタル音声を楽しめます。

S2映像端子（S2方式）（☞55、82、86ページ）

S映像のC端子へ直流電圧を重畳することにより、画面の横縦比(16:9または4:3)の情報を記録するシステムの名前です。
縦長に圧縮された画像は「フル」モードに、レターボックスの映像は「ズーム」モードに自動的に戻す識別制御信号が入っています。本機はS2方式に対応しています。
S2映像出力端子が付いたビデオカメラなどを、本機のS2映像入力端子につなぐと、S2方式の画像となります。ただし、あらかじめビデオカメラなどで「ワイドTV」モードを「入」にして録画した画像に限ります。

接続端子の名前とはたらき

☞のページに詳しい説明があります。

1 アッテネーター（減衰器）スイッチ（☞28ページ）

受信している電波が強いときに、抑えるはたらきをします。
電波の送信元付近の地域などでは、電波が強すぎるため、近隣チャンネルなどの干渉を受けて、画面に縞状のノイズが起きることがあります。そのときは、アッテネーター（減衰器）スイッチを「入」にしてください。

2 VHF/UHFアンテナ端子（☞27、58、59ページ）

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルやケーブルテレビのケーブルをつなぎます。

3 ビデオ1、3入力端子（S2映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）（☞55ページ）

ビデオデッキやレーザーディスクプレーヤー、DVDプレーヤーなどのビデオ機器、およびデジタルCSチューナーなどのビデオ出力端子につなぎます。
ビデオ入力の映像は“メモリースティック”にメモした画面の保存ができます。

4 デジタル放送/ビデオ出力端子（S2映像/映像/音声）（☞58ページ）

ビデオデッキなどのビデオ入力端子につなぎます。
地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタル、ビデオ1～3入力*、AVマルチ入力の信号が出力されます。

* ただし、ビデオ1入力の信号については、ホームで「ビデオ1出力の設定」を「ビデオ1出力あり」に設定してください（☞「操作･困ったときは編」の「外部入力の設定をする」）。
ホームボタンを押して、「(設定)」→「(外部入力)」→「ビデオ1出力の設定」→「ビデオ1出力あり」の順に選ぶ。

5 センター入力端子（☞65ページ）

AVアンプのセンタースピーカー出力端子につなぎます。

6 コントロールS入力/出力端子

ソニー製機器のコントロールS端子とつなぎます。
詳しくは、☞「操作･困ったときは編」の「本機のリモコンで他機器を操作する」をご覧ください。

7 AVマウス端子（☞58ページ）

付属のAVマウスをつなぎます。

8 i.LINK S400（HDV/DV/TS/MICROMV）端子（☞66ページ）

ハードディスクレコーダーやブルーレイディスクレコーダー、D-VHSビデオなどのi.LINK対応機器とつなぎます。
デジタル信号を入出力します。詳しくは、「i.LINK（アイリンク）機器をつなぐ」（☞66ページ）をご覧ください。

9 コンポーネント1、2入力端子（D4映像/音声）（☞54、58、59、65ページ）

デジタルCSチューナーやビデオ機器などのD映像出力端子につなぎます。

音声入力端子
デジタルCSチューナーやビデオ機器などの音声出力端子につなぎます。

D端子について
デジタル放送には次のような信号フォーマットがあります。

信号フォーマット	走査線数	有効走査線数
525i（480i）	525本	480本
525p（480p）	525本	480本
1125i（1080i）	1125本	1080本
750p（720p）	750本	720本

iはインターレース：飛び越し走査、pはプログレッシブ：順次走査の略です。
（ ）内は有効走査線数で数えたときの別称です。

デジタル放送の信号フォーマットに対応するD端子の種類は次のようになっています。

D端子の種類とその対応信号フォーマット

D端子の種類	525i	525p	1125i	750p
D1端子	○	×	×	×
D2端子	○	○	×	×
D3端子	○	○	○	×
D4端子	○	○	○	○

次のページにつづく⇨

ご注意

- コンポーネント入力端子につないだ機器の映像･音声信号は出力されません（4）。
- “メモリースティック”に記録された静止画･動画は出力されません（4）。
- 字幕放送やi.LINKで録画した番組の字幕の映像信号は出力されません（4）。
- デジタル放送のラジオやデータの音声は記録できますが、画像は正しく記録されません（4）。
- i.LINKで録画したデジタル放送のラジオやデータの音声は、記録できますが、画像は正しく記録されません（4）。
- S2映像出力端子からは、デジタル放送の映像とビデオ1～3入力のS2映像入力端子につないだ機器の映像のみが出力されます（4）。
- 通常は、画面に映っている映像と音声を出力します。ただし、録画実行中は画面に映っている映像と音声には関係なく、録画しているチャンネルの映像と音声が出力されます（4）。

10 コンポーネント3、4入力端子（Y P_B/C_B P_R/C_R映像/音声）（☞55ページ）

Y P_B/C_B P_R/C_R映像入力端子
DVDプレーヤーのコンポーネントビデオ出力端子（Y P_B/C_B P_R/C_Rまたは、Y/B-Y/R-Y、Y/P_B/P_R）、またはハイビジョン機器の映像出力端子につなぎます。
音声入力端子
DVDプレーヤーまたはハイビジョン機器の音声出力端子につなぎます。

11 音声出力（5kΩ）（固定）端子（左/右）（☞64ページ）

オーディオ機器の音声入力端子につなぎます。録画予約（☞「操作・困ったときは編」の「録画予約する」）の設定に関係なく、選んでいるチャンネルや入力の音声が出力されます。

12 サブウーファー出力（可変）端子

サブウーファーの入力端子とつなぎます。

13 LAN（10/100）端子（☞33ページ）

別売りのネットワーク（LAN）ケーブルを使って、モデムやルーターにつなぎます。

14 光デジタル音声出力端子（☞64、65ページ）

AVアンプやサンプリングレートコンバーター内蔵のMDデッキなどの、光デジタル音声入力端子につなぎます。
デジタル放送のデジタル音声が出力されます。
また、地上アナログやビデオ機器などからのアナログ音声などはPCM音声（2ch）のデジタル信号に変換して出力されます。
デジタル放送の録画予約実行中は音声が固定されます。

15 BS/110度CS IF入力端子（☞27、29、58、59ページ）

衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15/11Vの直流電圧が出ています。

ご注意

VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

16 電話回線端子（☞32、33ページ）

付属のモジュラーテレホンコードカプラーを使って電話コンセントにつなぎます。また、ISDN回線をお使いのときは、ターミナルアダプターのアナログポートにつなぎます。ADSL回線をお使いのときは、スプリッターと市販のモジュラーテレホンコードカプラーを使ってつなぎます。

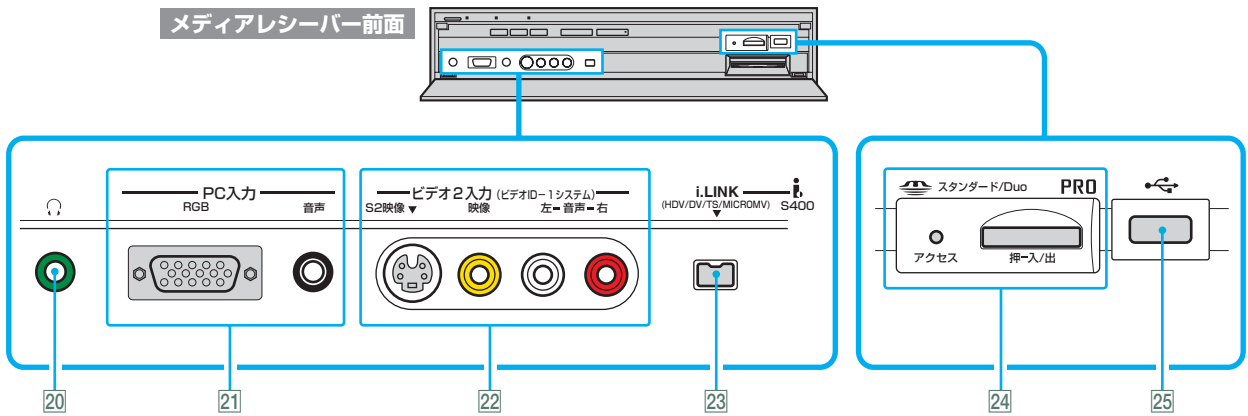
17 電源AC100V入力端子（☞34ページ）

付属の電源コードをつなぎます。

18 ディスプレイ信号出力端子（白/黒）（☞23ページ）

付属のディスプレイケーブルでディスプレイのディスプレイ信号入力端子とつなぎます。

19 HDMI1、2入力端子（☞54ページ）

DVDプレーヤーやAVアンプのHDMI出力端子につなぎます。デジタル映像・音声信号を入力します。
対応している映像信号:525i (480i)、525p (480p)、1125i (1080i)、750p (720p)
対応している音声信号:リニアPCM 32kHz、44.1kHz、48kHz

☞のページに詳しい説明があります。

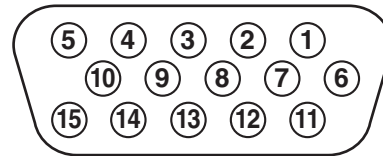
20 ヘッドホン端子

ヘッドホンをつなぎます。

21 PC入力端子（RGB入力/音声入力）（☞68ページ）

RGB入力端子

別売りのHD15-HD15ビデオ信号ケーブル（アナログRGB）を使って、パーソナルコンピューターのD-SUB出力端子につなぎます。Macintoshコンピューターにつなぐときは、必要に応じて市販のアダプターをお使いください。

端子ピン配列

ピン番号	入力信号名
1	Rビデオ信号入力
2	Gビデオ信号入力
3	Bビデオ信号入力
4	グランド
5	グランド
6	グランド
7	グランド
8	グランド
9	DDC 5V 入力
10	グランド
11	グランド
12	DDC データ
13	水平同期信号
14	垂直同期信号
15	DDCクロック

音声入力端子

別売りの音声コード（ステレオミニプラグ）を使って、パーソナルコンピューターの音声出力端子につなぎます。

次のページにつづく⇨

22 ビデオ2入力端子（S2映像/映像/音声）（ビデオID-1システム）

テレビゲームやビデオカメラレコーダーなどのビデオ出力端子につなぎます。
ビデオ入力の映像は“メモリースティック”にメモした画面の保存ができます。

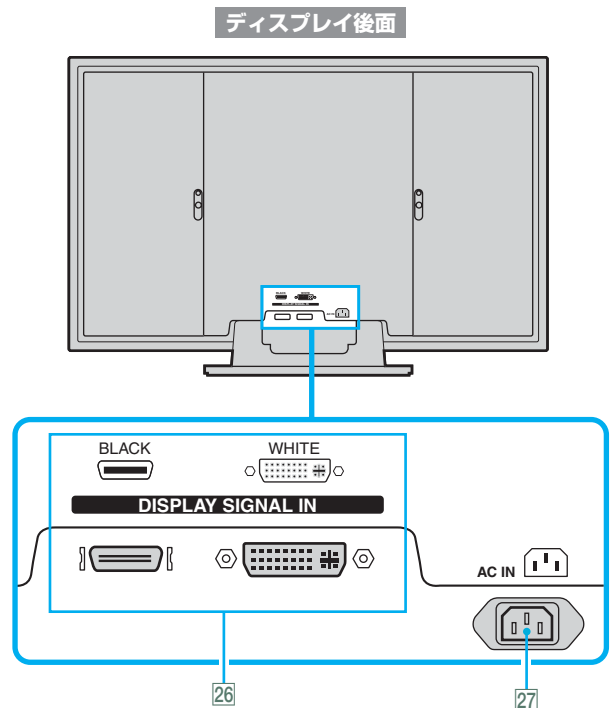
23 i.LINK S400（HDV/DV/TS/MICROMV）端子（☞66ページ）

MICROMV方式またはDV方式のデジタルビデオカメラレコーダーなどのi.LINK対応機器とつなぎます。
デジタル信号を入出力します。詳しくは、「i.LINK（アイリンク）機器をつなぐ」（☞66ページ）をご覧ください。

24 “メモリースティック”挿入口/アクセスランプ

詳しくは、☞「操作・困ったときは編」の「静止画を楽しむ」をご覧ください。

25 （USB）端子

サイバーショットなどのデジタルカメラのUSB端子につなぎます。写真（静止画）を、テレビに映せます。
詳しくは、☞「操作・困ったときは編」の「静止画を楽しむ」をご覧ください。

☞のページに詳しい説明があります。

26 DISPLAY SIGNAL IN（ディスプレイ信号入力）端子（☞23ページ）

付属のディスプレイケーブルでメディアレシーバーのディスプレイ信号出力端子とつなぎます。

27 AC IN（電源入力）端子（☞34ページ）

付属の電源コードをつなぎます。

索引（設置・接続編）

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

ら行

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

SONY

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

ホームページ ● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

「ソニードライブ」は、ソニーの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「良くあるご質問」「修理情報」「ショッピング情報」は、ホームページをご活用ください。

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル*……………………… 0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は*……… 03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX………………………………… 0466-31-2595

受付時間：月〜金曜日 9:00〜20:00　土・日・祝日 9:00〜17:00

*お電話は自動音声応答にてお受けし, 内容に応じて専門の相談員が対応します。
はじめにご用件を下記より、次に音声案内にそって商品カテゴリーの番号を押してください。
選択番号は変更になることがありますので、ご容赦願います。
1：修理受付
2：使用方法や故障と思われるご相談
3：お買物相談
4：業務用・プロ用商品に関するご相談全般
5：その他のご相談

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

2-515-593-01 (3)

S-master Digital Amplifier

eco info この説明書は100%古紙再生紙を使用しています。